

和歌山県高齢者等生活意識調査 (要支援・要介護者調査)

報 告 書

令和5年3月

和歌山県 福祉保健部
福祉保健政策局 長寿社会課

〈 目 次 〉

1. 調査の概要	1
(1) 調査対象	1
(2) 回収状況	1
2. 要支援・要介護者調査の結果	3
(1) 回答者	3
(2) 回答者の属性	4
(3) 住まい、住み替えなどについて	12
(4) 介護サービスの利用状況などについて	17
(5) 買い物など日常の状況について	28
(6) 身体状況や医療などについて	35
(7) リハビリなどについて	39
(8) 自宅での看取りの考え方などについて	42
(9) 介護保険制度などについて	47
(10) 介護者について	50
(11) 自由意見	74
3. 調査間の比較	76
(1) 回答者の属性	76
(2) 日常生活について	78
(3) 医療等の状況について	81
(4) 住まい、住み替えなどについて	82
(5) 看取りなどについて	84
(6) 介護保険制度について	86
(7) 認知症について	88
参考資料：アンケート調査票	89

1 調査の概要

(1) 調査対象

本調査は、和歌山県在住の以下の3種類の対象者に調査を行いました。調査対象者の抽出にあたっては、市町村別に一定の標本数を確保するために、市町村単位の層化を行い、標本数を配分したうえで、各市町村において無作為抽出を行いました。

調査は郵送により配布・留置し、郵送で回収しました。（第2号被保険者調査はWEB回答を併用）

高齢者一般調査	令和4年8月1日現在、県内在住の65歳以上で、介護保険の要介護認定で「要支援」または「要介護」と認定されていない人	合計3,000人を抽出
要支援・要介護者調査	令和4年8月1日現在、県内在住の65歳以上で、介護保険の要介護認定で「要支援」または「要介護」と認定されている人	合計2,000人を抽出
第2号被保険者調査	令和4年8月1日現在、県内在住の40～64歳の人	合計2,000人を抽出

(2) 回収状況

調査票の回収状況は以下のとおりです。

	高齢者一般調査	要支援・要介護者調査	第2号被保険者調査
配布・発送数	3,000	2,000	2,000
配布実数※	2,983	1,988	1,992
回収数	1,935	894	871 (内WEB回答170)
回収率	64.9%	45.0%	43.7%

※未達分を除く有効配布数

本報告書は、上記3種類の調査のうち、**要支援・要介護者調査**について報告するものです。

(調査結果の見方)

- ◆集計にあたっては、令和2年国勢調査人口を基準人口として、市町村別の標本数の補正を行っています。
- ◆集計値はすべて%表示です。なお、四捨五入により小数点以下第1位までの表示としており、見かけの合計値が100%にならない場合があります。
- ◆複数回答の質問は、回答比率の合計が100.0%を超えます。
- ◆図表中、帯グラフでは、表示が煩雑になるため、3.0%未満の比率については数値表示を省略しています。
- ◆標本数(回答者数)は図表中に「N=」と表示しています。それ以外の数値は回答比率の百分率(%)です。表示が煩雑になるため、%等の単位表示は省略しています。

(集計における「地域区分別」の対象地域)

- ◆県内において、比較的人口の集中している地域と、人口の少ない地域における地域特性の分析等を行うため、県内市町村を以下のように「都市地域」と「都市地域以外」の категорияに区分し、「地域区分別」の集計を行いました。

都市地域	都市地域以外
和歌山市	田辺市(旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町)
海南市	新宮市(旧熊野川町)
橋本市	紀の川市(旧粉河町・那賀町・桃山町)
有田市	紀美野町
御坊市	かつらぎ町
田辺市(旧田辺市)	九度山町
新宮市(旧新宮市)	高野町
紀の川市(旧打田町・貴志川町)	湯浅町
岩出市	広川町
	有田川町
	美浜町
	日高町
	由良町
	印南町
	みなべ町
	日高川町
	白浜町
	上富田町
	すさみ町
	那智勝浦町
	太地町
	古座川町
	北山村
	串本町

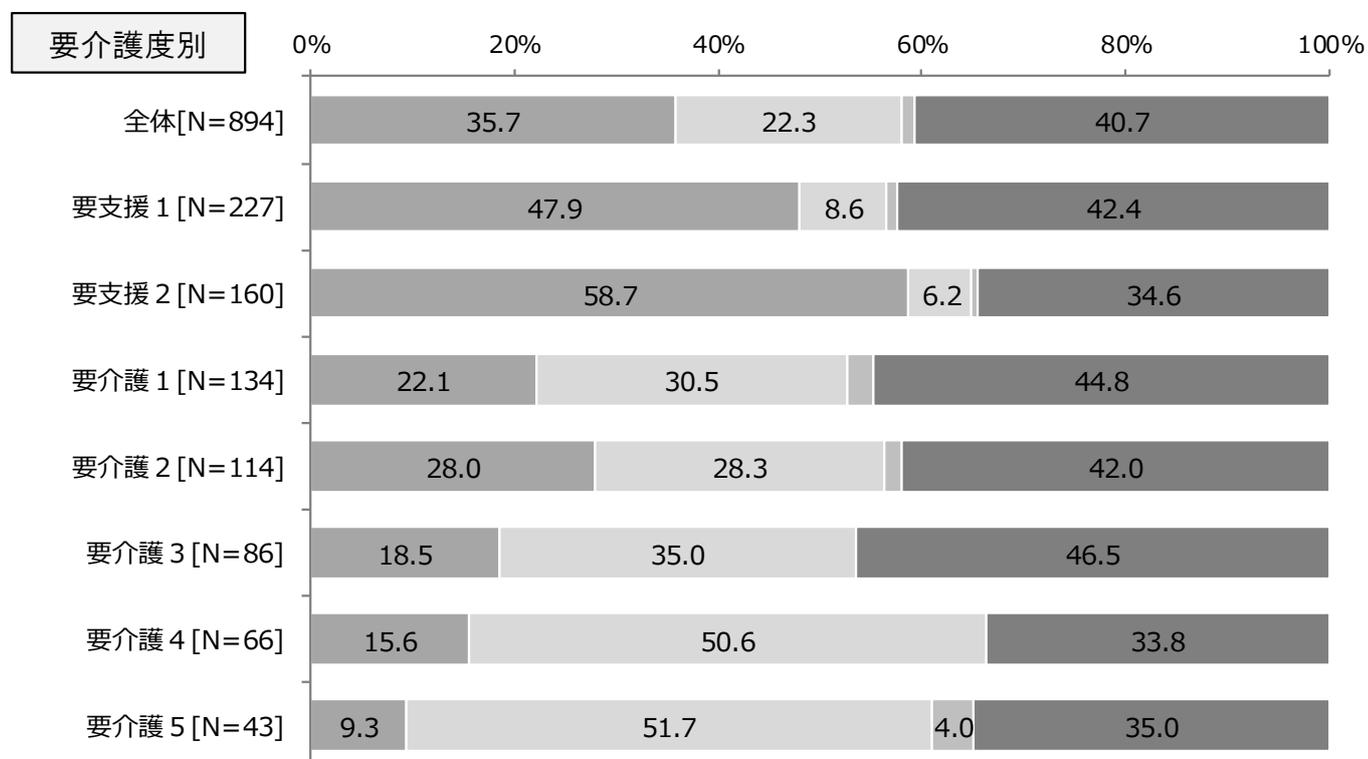
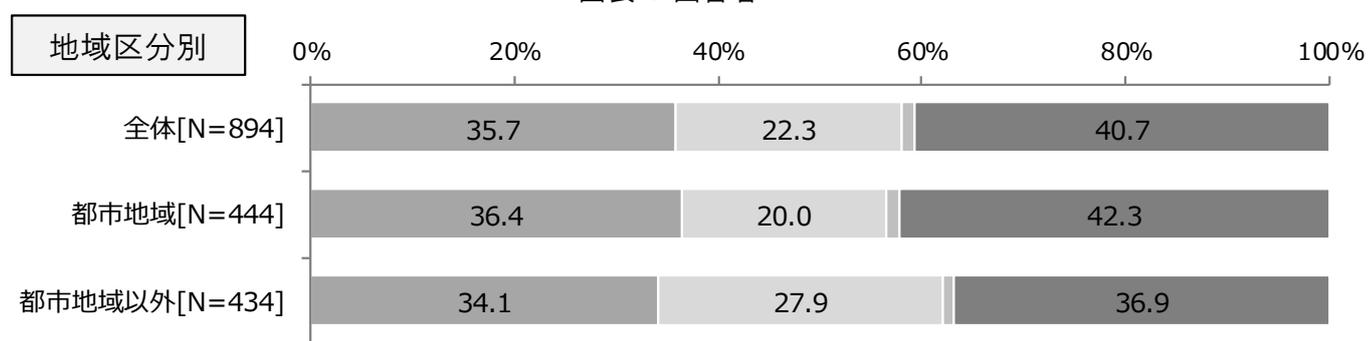
2 要支援・要介護者調査の結果

(1) 回答者

この調査票にご回答いただいた方は、どなたですか。(あてはまるもの1つに○)

調査票の回答者は、「あて名のご本人が回答（ご本人が回答して他の方が代筆した場合も含む）」が35.7%となっています。

図表 1 回答者



- あて名のご本人が回答（ご本人が回答して他の方が代筆した場合も含む）
- ご家族がご本人の代わりに回答
- ご家族以外の方がご本人の代わりに回答
- 無回答

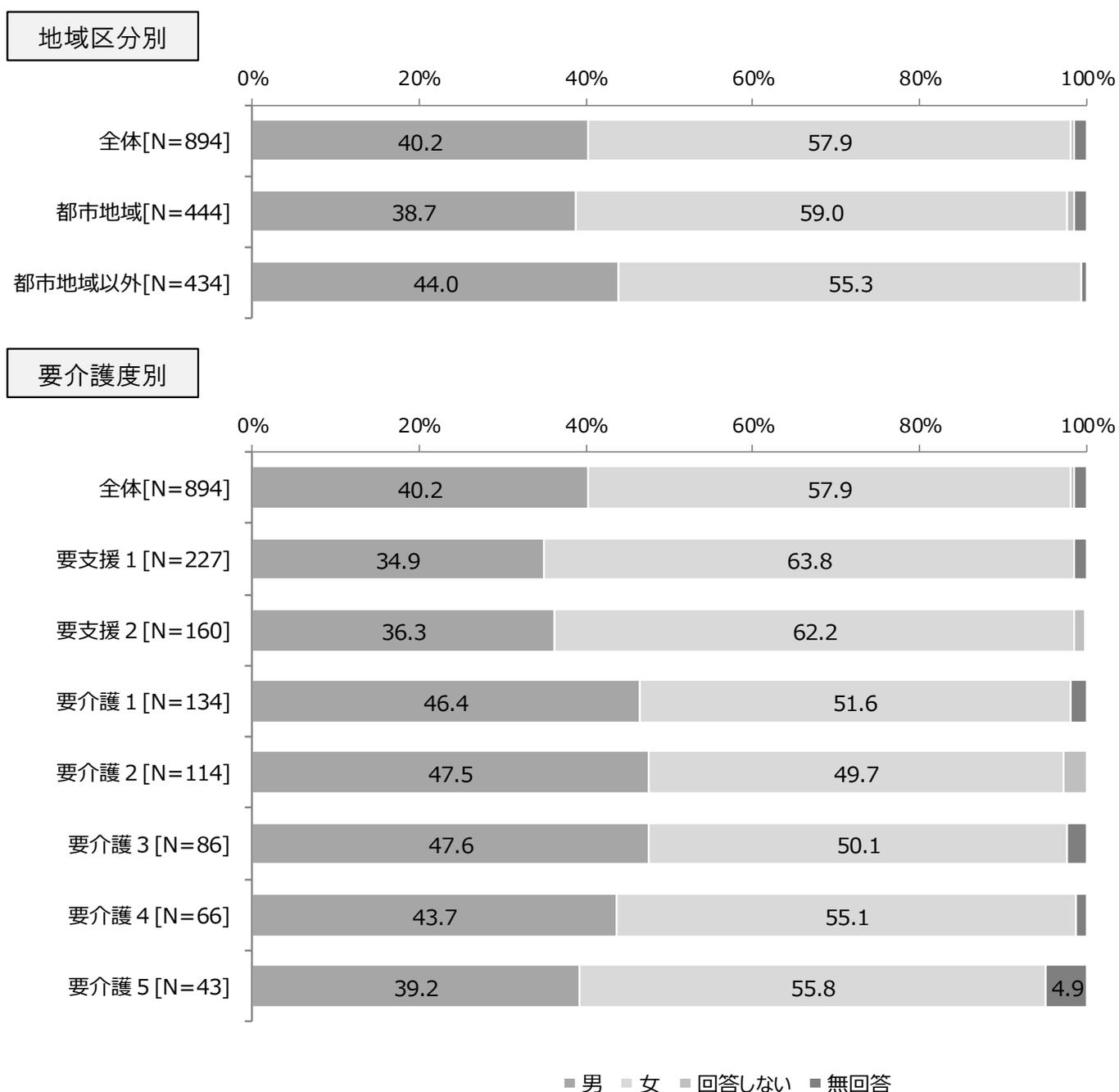
(2) 回答者の属性

①性別

問1 あなたの性別をお答えください。(いずれか1つに○)

回答者の性別は、「女」が57.9%、「男」が40.2%となっています。

図表 2 性別

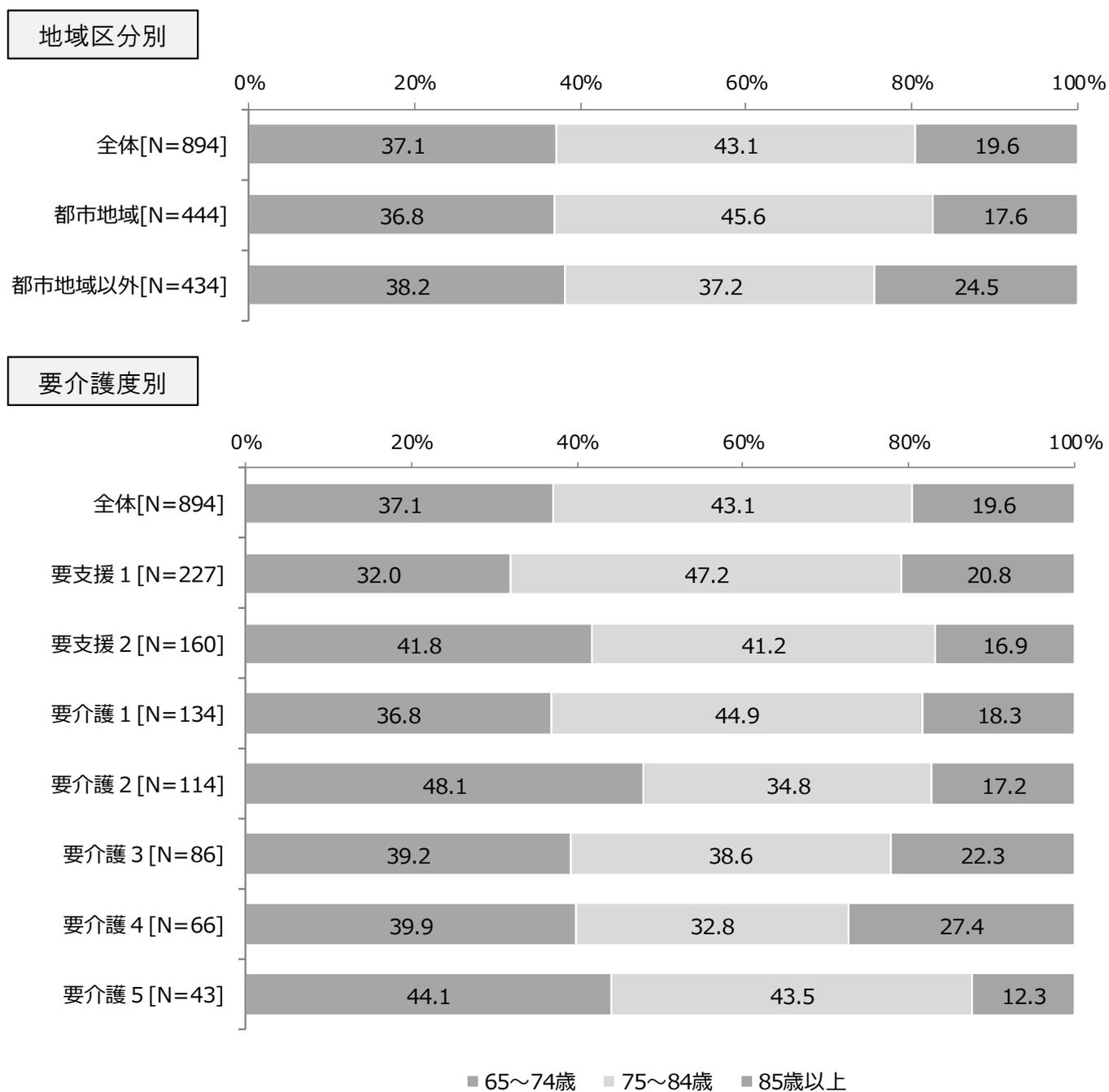


②年齢区分

問2 あなたの生まれた年月、年齢をお答えください。(ご記入ください)

回答者の年齢区分は、「75～84歳」が43.1%、「65～74歳」が37.1%、「85歳以上」が19.6%となっています。

図表 3 年齢区分



③ 居住市町村

問3 あなたがお住まいの市町村をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

居住市町村については、以下のとおりとなっています。

図表 4 居住市町村

全体[N=894]			
和歌山市	36.0	広川町	0.8
海南市	5.8	有田川町	2.7
橋本市	6.6	美浜町	0.8
有田市	3.0	日高町	0.8
御坊市	2.4	由良町	0.7
田辺市(旧田辺市)	6.2	印南町	0.9
田辺市(旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町)	1.5	みなべ町	1.3
新宮市(旧新宮市)	3.1	日高川町	1.1
新宮市(旧熊野川町)	0.2	白浜町	2.6
紀の川市(旧打田町・貴志川町)	3.3	上富田町	1.3
紀の川市(旧粉河町・那賀町・桃山町)	3.1	すさみ町	0.6
岩出市	4.2	那智勝浦町	2.0
紀美野町	1.3	太地町	0.4
かつらぎ町	2.1	古座川町	0.4
九度山町	0.6	北山村	0.1
高野町	0.4	串本町	2.3
湯浅町	1.3		

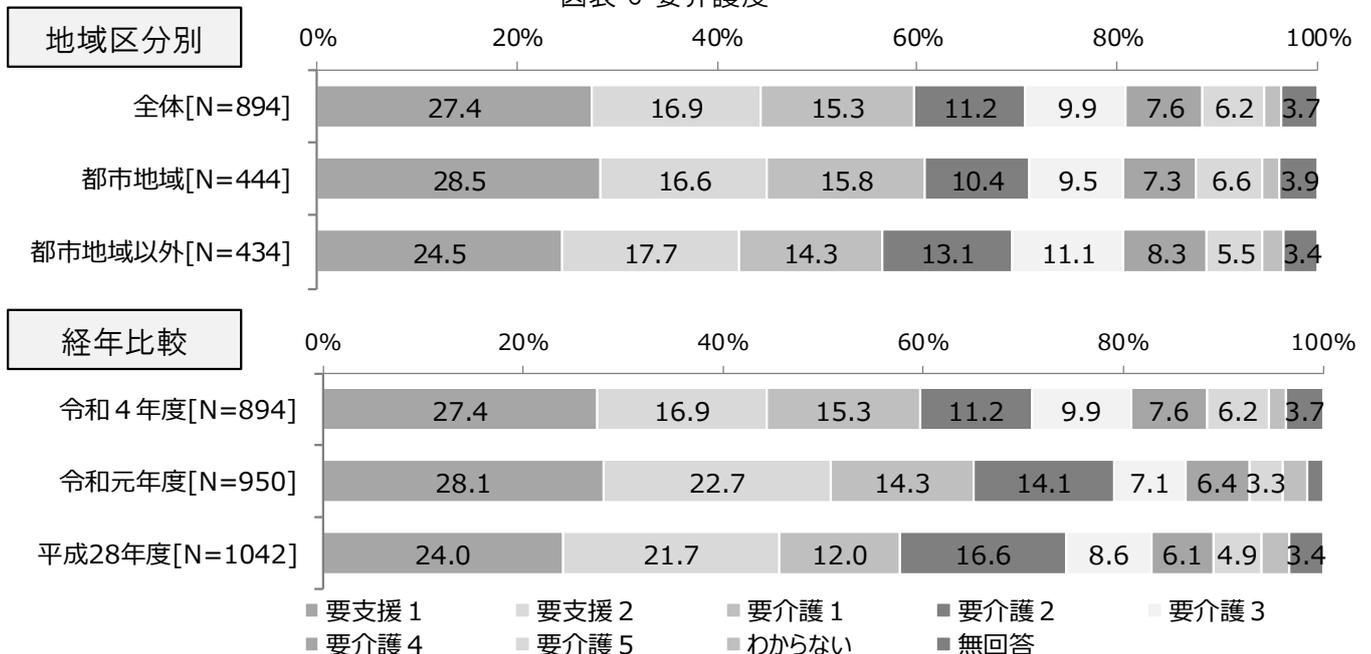
④ 要介護度

問4 あなたの要介護度は、次のうちどれですか。(あてはまるもの1つに○)

回答者の要介護度は、「要支援1」が27.4%、「要支援2」が16.9%、「要介護1」が15.3%等となっています。

地域区分別では、都市地域は都市地域以外に比べて「要支援1」の割合が多くなっています。

図表 5 要介護度



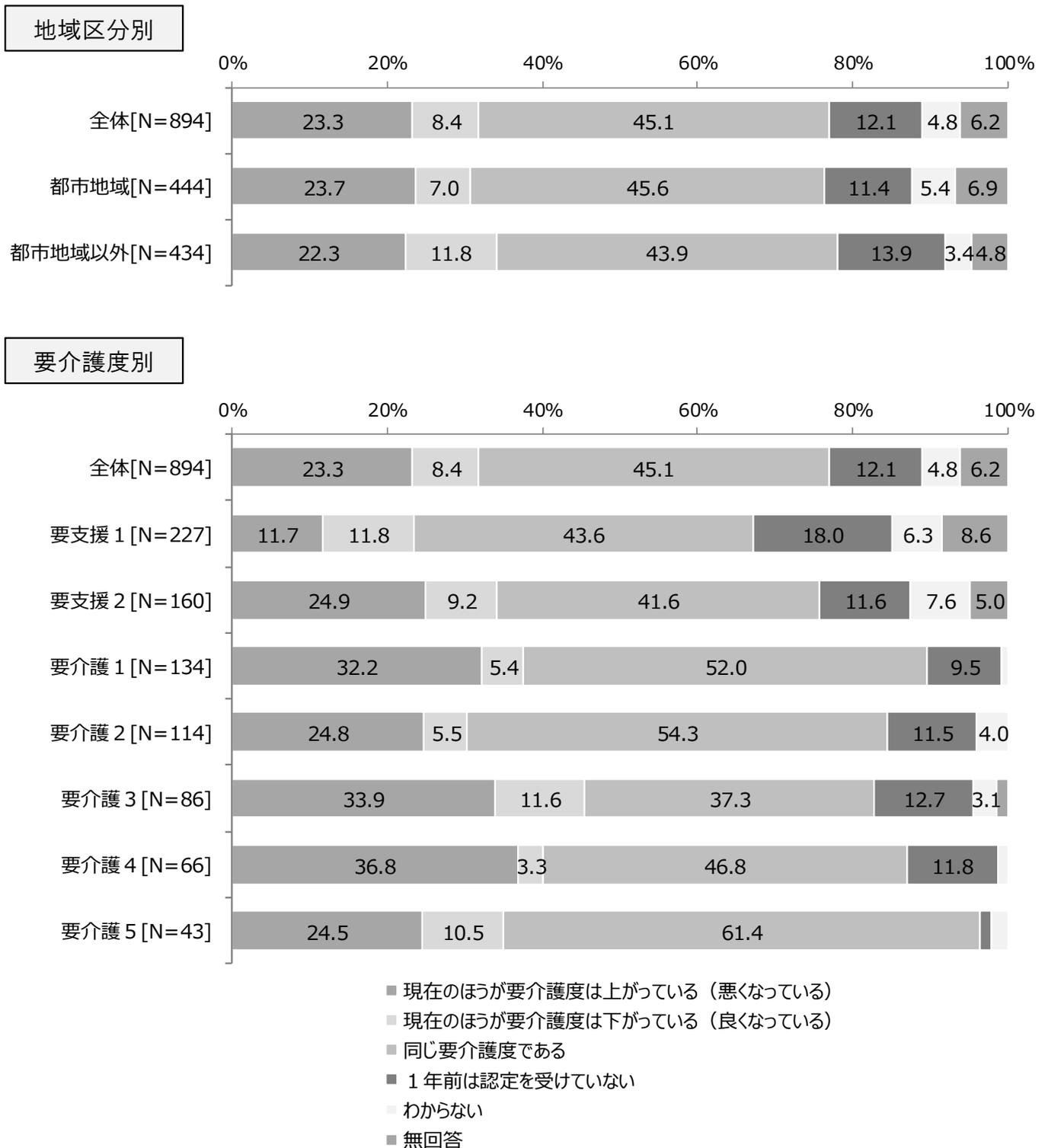
⑤ 1年前と比べた要介護度の変化

問5 あなたの要介護度は、1年前と比べて、どのように変化していますか。(あてはまるもの1つに○)

1年前と比べた要介護度の変化は、「同じ要介護度である」が45.1%、「現在のほうが要介護度は上がっている（悪くなっている）」が23.3%等となっています。

要介護度別では、要介護1や要介護3～4で「現在のほうが要介護度は上がっている（悪くなっている）」が多くなっています。

図表 6 1年前と比べた要介護度の変化



⑥現在の住まい

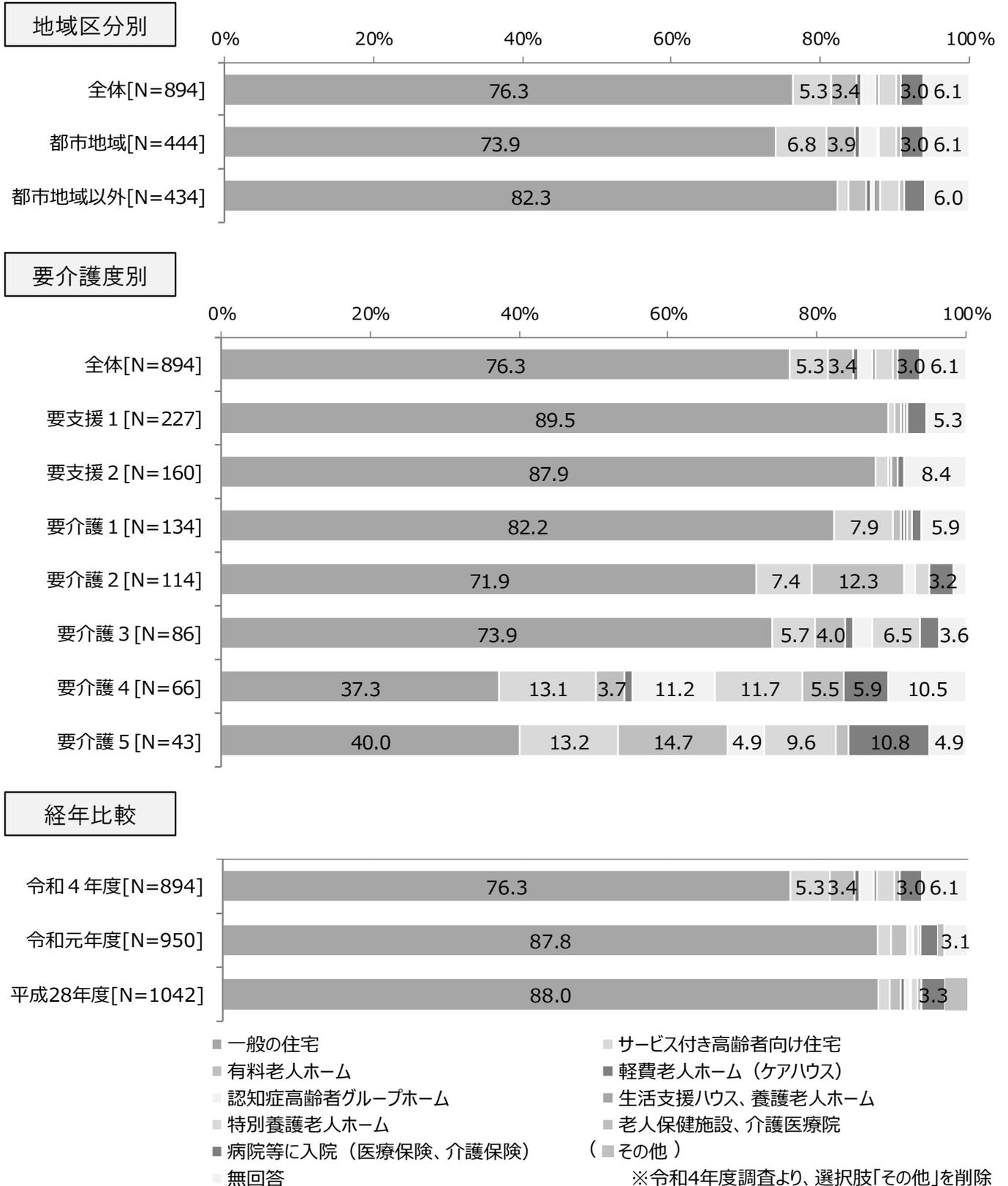
問6 あなたは現在、どちらにいらっしゃいますか。(あてはまるもの1つに○)

現在の住まいは、「一般の住宅」が76.3%と多くなっています。

要介護度別では、要介護5で「病院等に入院（医療保険、介護保険）」の人が多くなっています。

経年比較では、令和元年度に比べて「一般の住宅」が減って、「サービス付き高齢者向け住宅」や「有料老人ホーム」が増えています。

図表 7 現在の住まい



⑦世帯構成

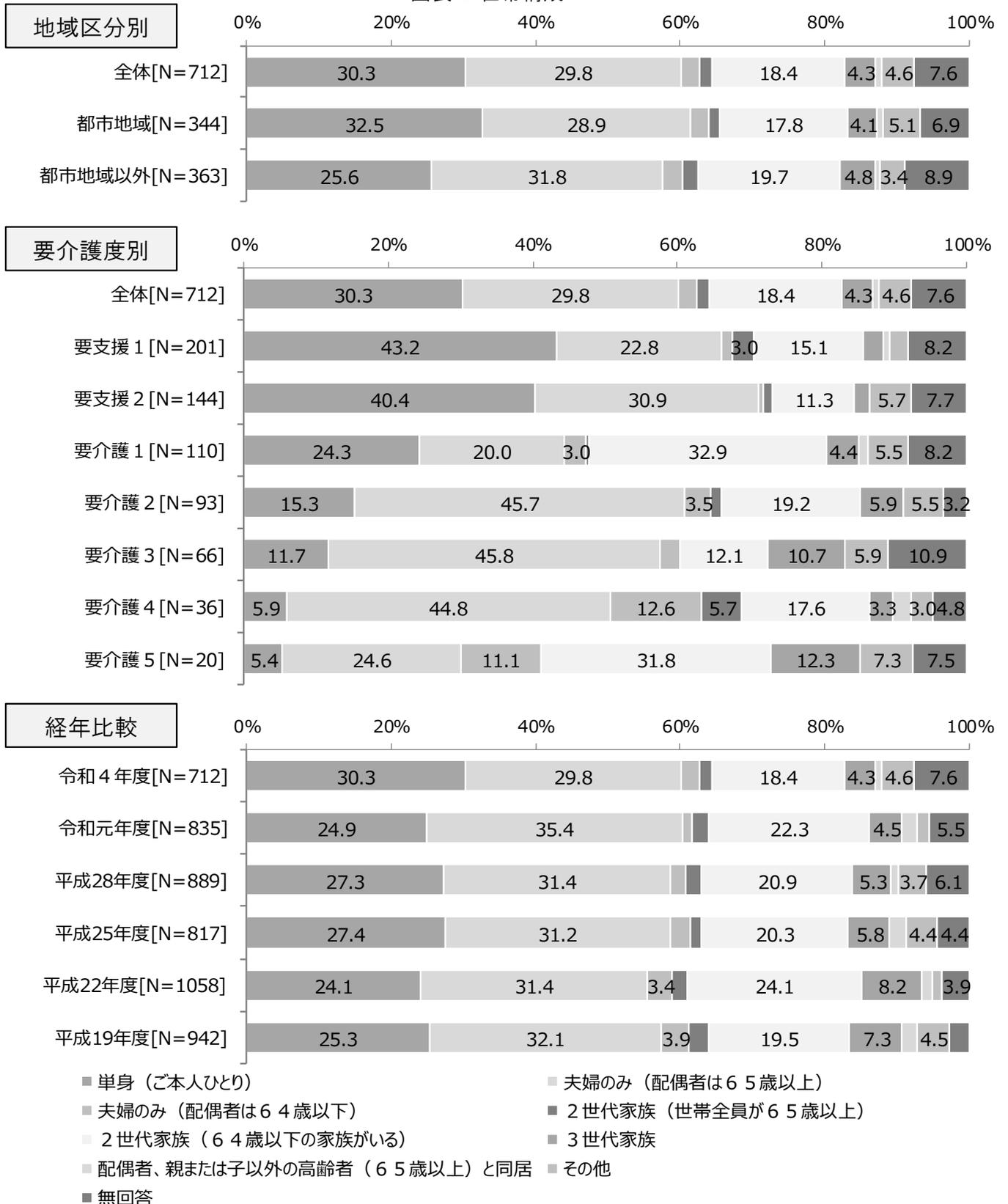
問7 あなたの世帯は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

回答者の世帯構成は、「単身」が30.3%、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」が29.8%、「2世代家族（64歳以下の家族がいる）」が18.4%等となっています。

要介護度別では、要支援1・2で「単身（ご本人ひとり）」の割合が多くなっています。

経年比較では、「単身（ご本人ひとり）」が増えています。

図表 8 世帯構成



⑧ 昼間ひとりきりになることの有無

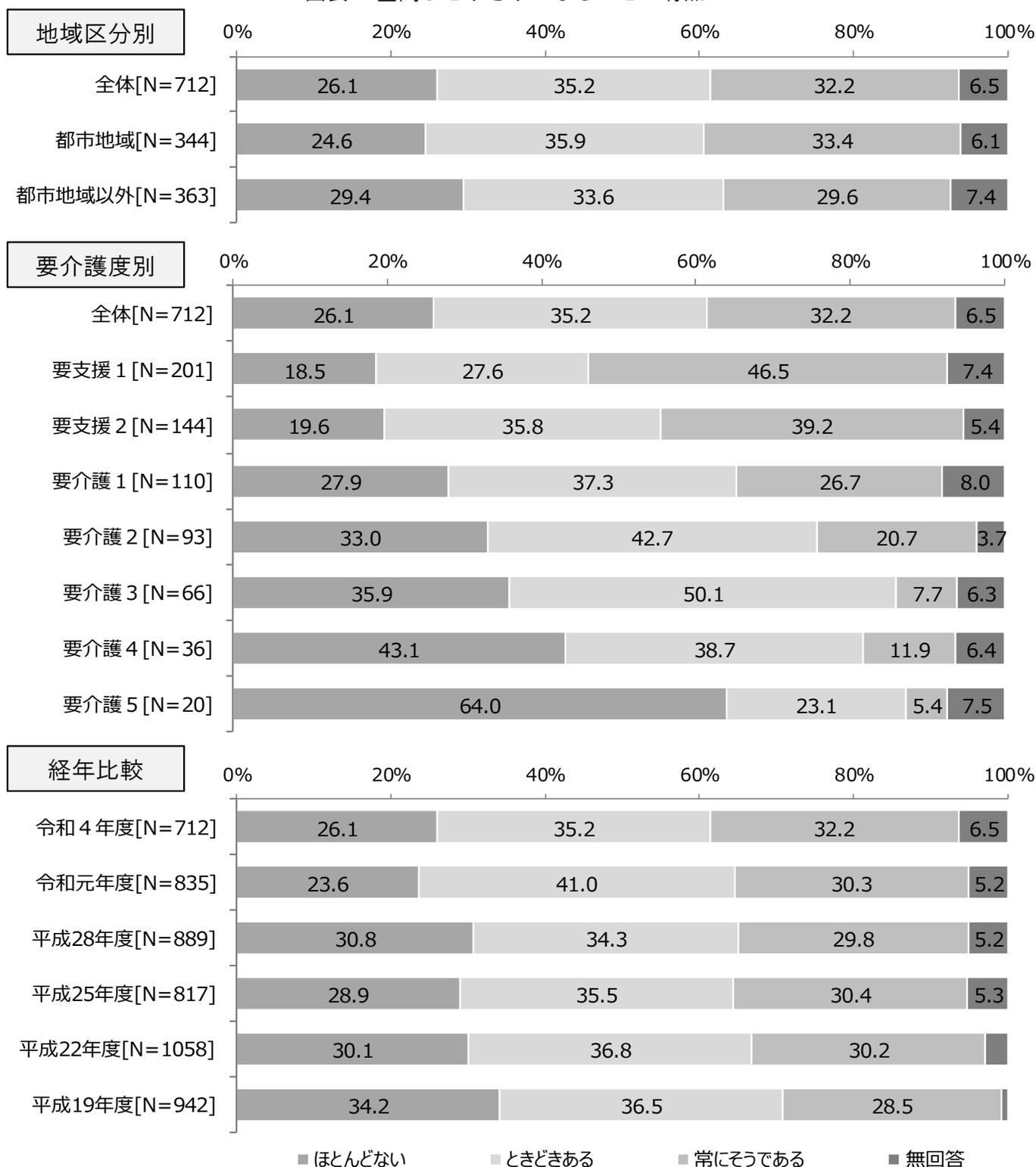
問8 あなたは、昼間、ひとりきりになることがありますか。(あてはまるもの1つに○)

昼間ひとりきりになることの有無について聞いたところ、「ときどきある」が35.2%、「常にそうである」が32.2%、「ほとんどない」が26.1%となっています。

地域区別では、都市地域以外は都市地域に比べて「ほとんどない」が多くなっています。要介護度別では、要支援1・2で「常にそうである」の割合が多くなっています。

経年比較では、令和元年度と比べて、「ほとんどない」が増え、「ときどきある」が減っています。

図表9 昼間ひとりきりになることの有無



⑨別居で生活を支援してくれる子や孫、親せきなどの有無

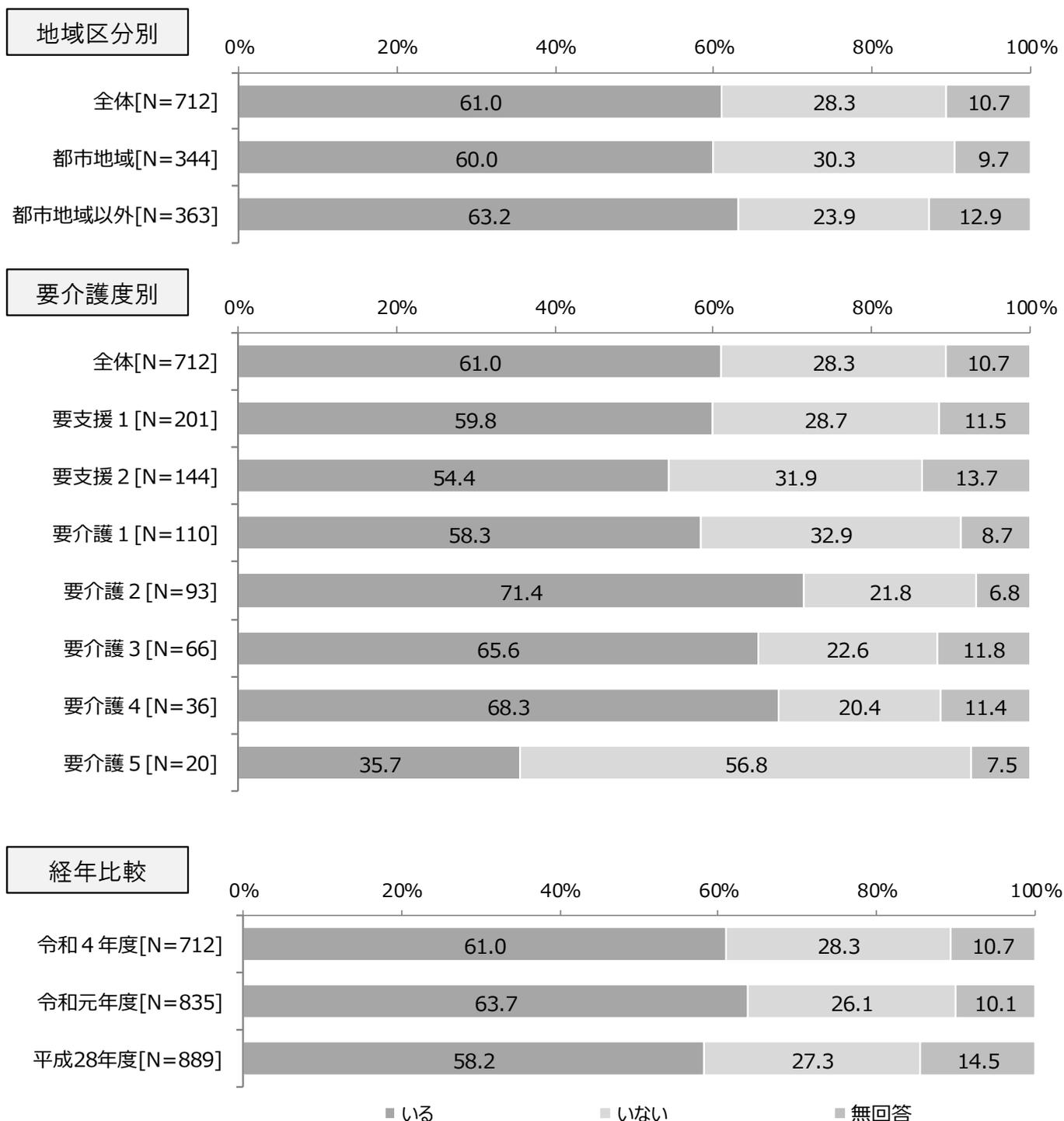
問9 あなたには、同居はしていないけれども生活を支援してくれる子や孫、親せきなどはいますか。
(いずれか1つに○)

別居で生活を支援してくれる子や孫、親せきなどの有無について聞いたところ、「いる」が61.0%、「いない」が28.3%となっています。

地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「いる」が多くなっています。要介護度別では、要支援2、要介護1で「いない」の割合が多くなっています。

経年比較では、「いない」がやや増えています。

図表 10 別居で生活を支援してくれる子や孫、親せきなどの有無



(3) 住まい、住み替えなどについて

①現在の住まいの種類

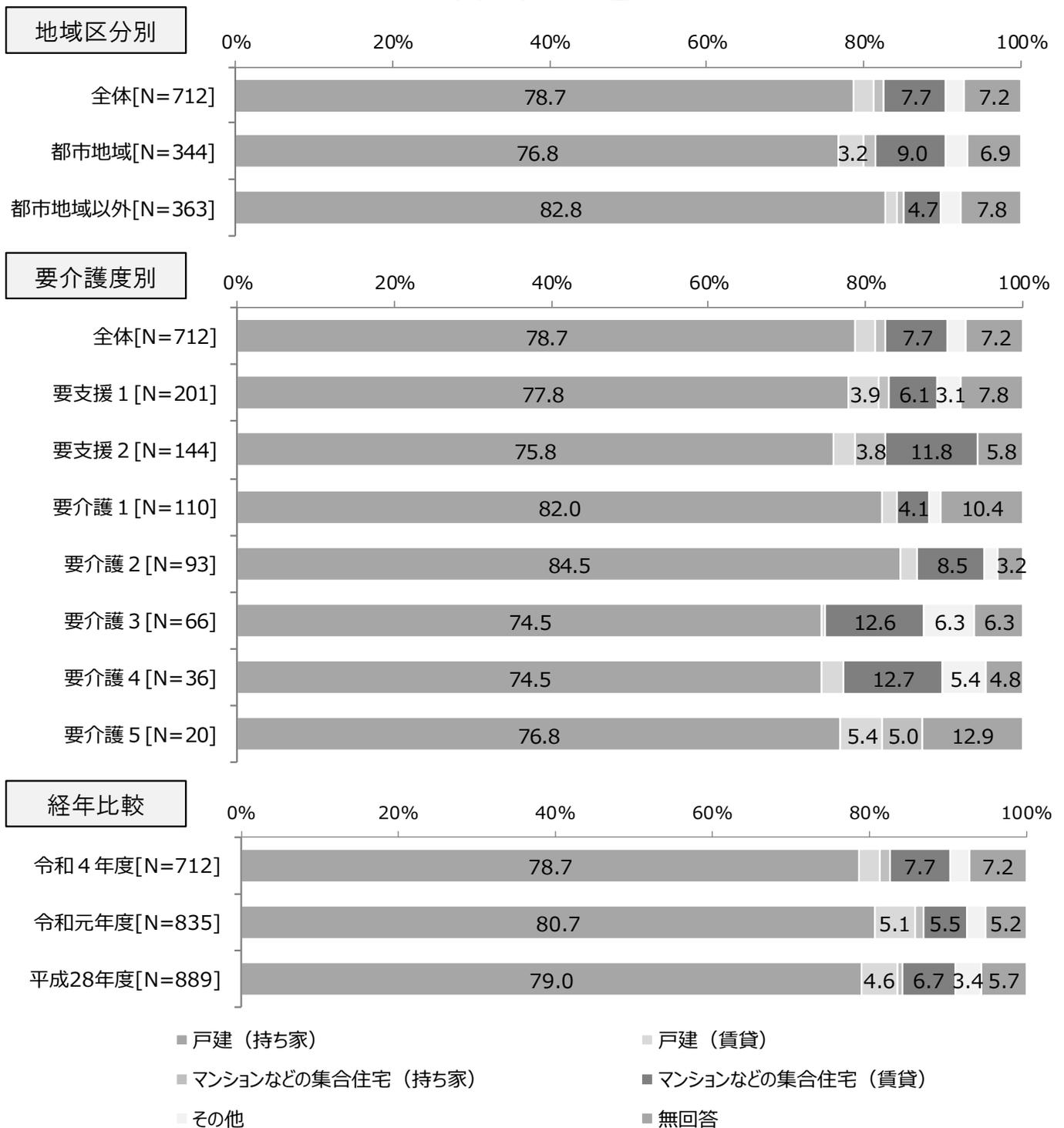
問10 あなたの現在のお住まいの種類は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

一般の住宅に住んでいる人の、現在の住まいの種類について聞いたところ、「戸建（持ち家）」が78.7%となっています。

地域区別では、都市地域以外で都市地域に比べて「戸建（持ち家）」が多くなっています。要介護度別では、要介護1~2で「戸建（持ち家）」の割合が多くなっています。

経年比較では、「戸建（持ち家）」がやや減っています。

図表 11現在の住まいの種類



②介護サービスが付いている住宅・施設等への住み替え意向

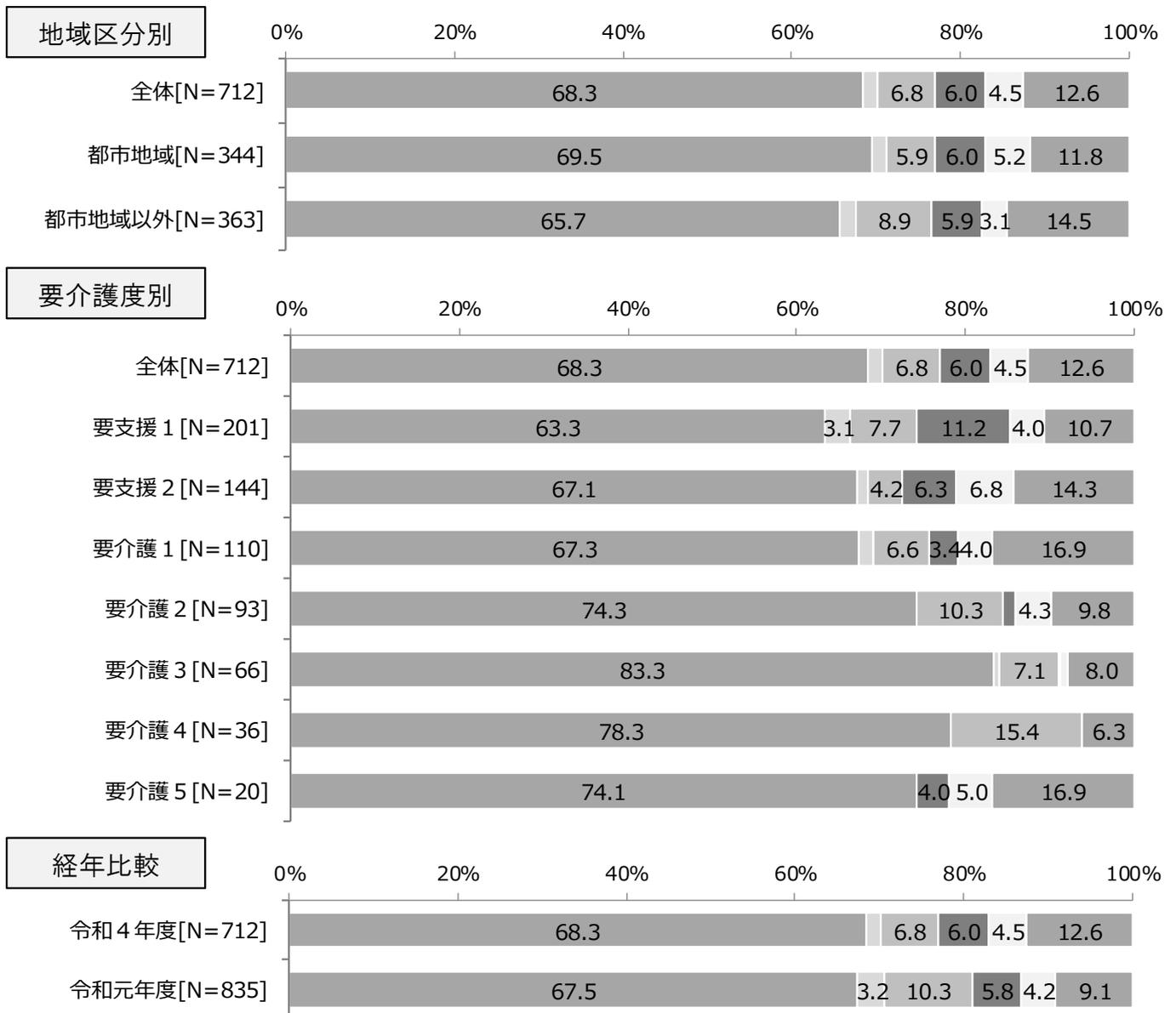
問11 あなたは、今後、現在のお住まいから介護サービスが付いている住宅・施設等に住み替えたいと思いますか。(そう思うもの1つに○)

現在の住まいから、介護サービスが付いている住宅・施設等への住み替え意向については、「自宅で、在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う」が68.3%となっています。

地域区分別では、都市地域以外で「自宅で、在宅サービスを利用しながら住み続けようと思う」がやや少なくなっています。要介護度別の要介護2～5で「自宅で、在宅サービスを利用しながら住み続けようと思う」が多くなっています。

経年比較では、「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所しようと思う」人が減っています。

図表 12 介護サービスが付いている住宅・施設等への住み替え意向



- 自宅で、在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う
- 子や孫、親類宅へ移り住むか、同居してもらおうと思う
- 介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所しようと思う
- 介護保険施設までは考えていないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居しようと思う
- その他
- 無回答

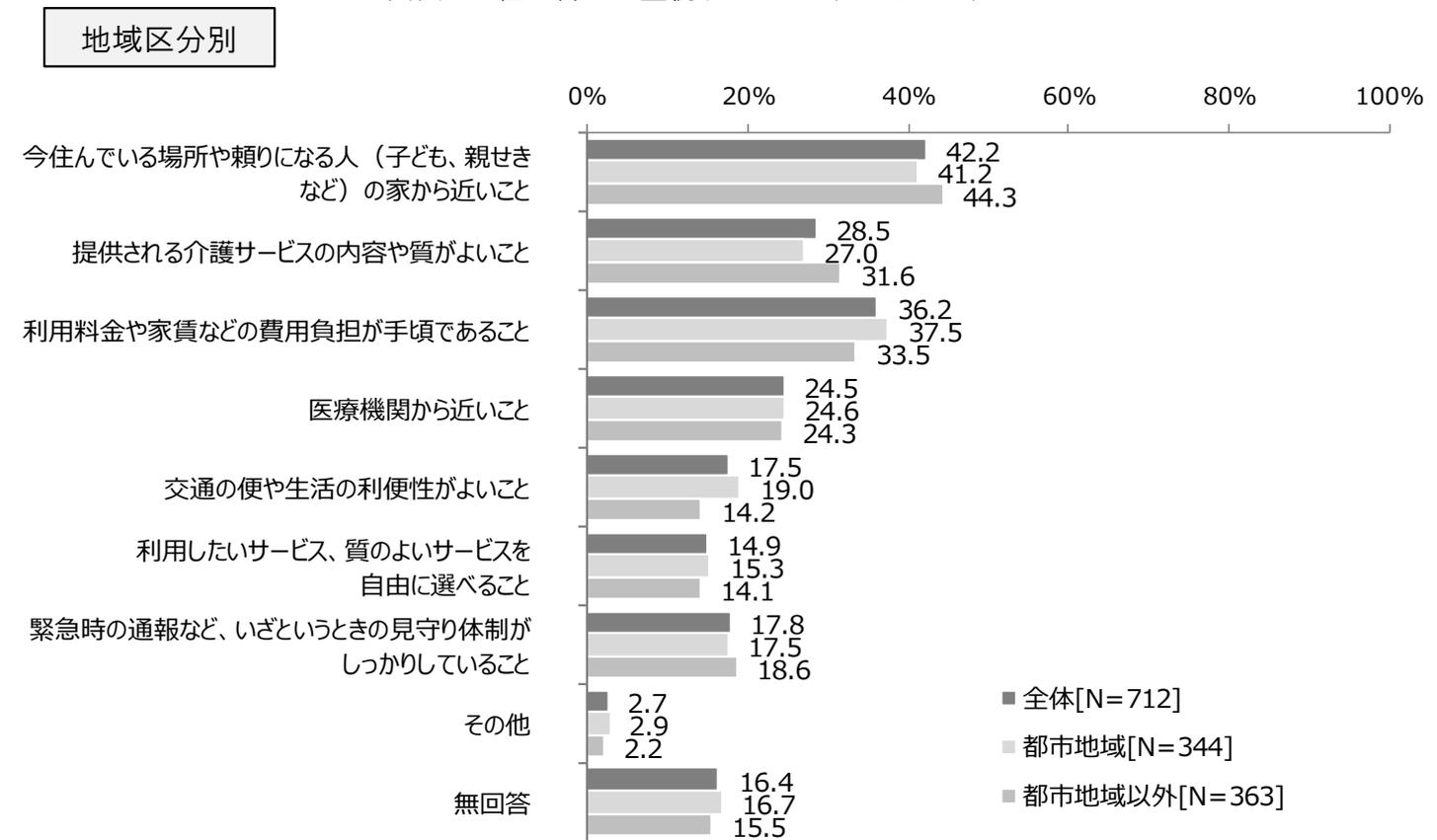
③ 住み替えで重視すること

問12 もし、住み替えを考えるとすれば、重視することは何でしょうか。（重視する項目3つ以内に○）

住み替えを考える場合に、重視することについて聞いたところ、「今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと」が42.2%、「利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること」が36.2%、「提供される介護サービスの内容や質がよいこと」が28.5%、「医療機関から近いこと」が24.5%等と多くなっています。

地域区分別では、都市地域以外で「提供される介護サービスの内容や質がよいこと」が多くなっています。要介護度別の要介護1～4で「今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと」がやや多くなっています。

図表 13 住み替えで重視すること（3つまで○）



要介護度別	全体 [N=712]	要支援1 [N=201]	要支援2 [N=144]	要介護1 [N=110]	要介護2 [N=93]	要介護3 [N=66]	要介護4 [N=36]	要介護5 [N=20]
今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと	42.2	39.8	38.8	45.5	44.7	55.1	48.6	20.6
提供される介護サービスの内容や質がよいこと	28.5	27.4	22.9	22.8	35.0	41.5	33.0	71.5
利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること	36.2	36.9	29.0	47.4	35.6	37.7	36.9	44.4
医療機関から近いこと	24.5	26.8	28.7	17.3	26.0	13.0	27.8	26.0
交通の便や生活の利便性がよいこと	17.5	19.7	23.9	15.6	10.5	13.0	10.3	12.2
利用したいサービス、質のよいサービスを自由に選べること	14.9	13.1	16.6	17.7	20.1	5.4	18.4	14.3
緊急時の通報など、いざというときの見守り体制がしっかりしていること	17.8	16.6	17.7	20.8	17.8	16.1	17.6	33.0
その他	2.7	3.4	3.6	1.7	0.6	4.9	1.9	0.0
無回答	16.4	18.8	13.4	16.7	13.5	12.7	11.2	12.9

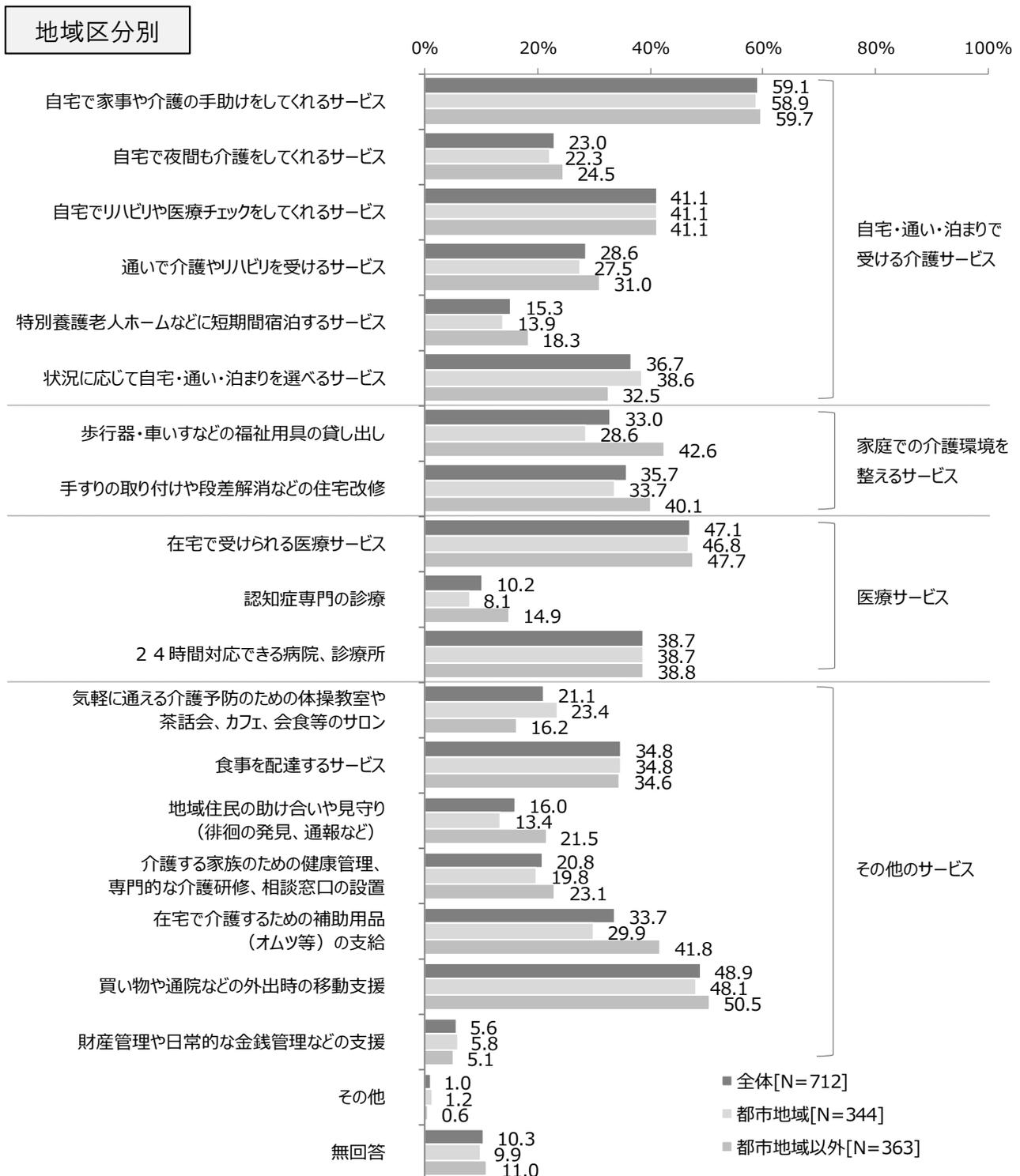
④住み替えずに現在の住宅で生活を続けていくために必要なサービス

問13 住み替えずに現在の住宅で生活を続けていくためには、どんなサービスが必要だと思いますか。
(必要と思うものすべてに○)

住み替えずに現在の住宅で生活を続けていくために、必要なサービスについて聞いたところ、「自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス」が59.1%と最も多く、次いで、「買い物や通院などの外出時の移動支援」が48.9%、「在宅で受けられる医療サービス」が47.1%、「自宅でリハビリや医療チェックをしてくれるサービス」が41.1%等と続いています。

地域区別では、都市地域以外で都市地域に比べて「歩行器・車いすなどの福祉用具の貸し出し」の割合が多くなっています。

図表 14 住み替えずに現在の住宅で生活を続けていくために必要なサービス（複数回答）



要介護度別		全体 [N=712]	要支援1 [N=201]	要支援2 [N=144]	要介護1 [N=110]	要介護2 [N=93]	要介護3 [N=66]	要介護4 [N=36]	要介護5 [N=20]
自宅・通い・泊まりで受ける介護サービス	自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス	59.1	60.5	63.7	51.0	65.6	53.5	65.2	64.1
	自宅で夜間も介護をしてくれるサービス	23.0	20.4	20.9	24.2	26.7	25.8	26.4	40.9
	自宅でリハビリや医療チェックをしてくれるサービス	41.1	37.1	39.9	39.1	44.1	48.1	52.6	57.6
	通いで介護やリハビリを受けるサービス	28.6	22.7	37.6	26.8	42.4	24.3	31.9	27.2
	特別養護老人ホームなどに短期間宿泊するサービス	15.3	11.8	7.7	18.1	22.9	22.9	27.4	38.0
	状況に応じて自宅・通い・泊まりを選べるサービス	36.7	41.2	26.8	43.9	34.8	34.4	39.9	40.2
家庭での介護環境を整えるサービス	歩行者・車いすなどの福祉用具の貸し出し	33.0	27.0	32.2	33.4	48.7	36.3	45.1	27.4
	手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修	35.7	30.9	32.9	42.2	44.4	45.9	42.8	12.4
医療サービス	在宅で受けられる医療サービス	47.1	48.1	50.1	33.6	56.8	42.7	62.8	72.2
	認知症専門の診療	10.2	6.2	5.2	19.5	13.5	10.1	12.2	7.7
	24時間対応できる病院、診療所	38.7	33.9	35.3	41.9	46.1	38.4	44.9	53.9
その他のサービス	気軽に通える介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロン	21.1	26.1	26.0	18.2	16.5	19.3	7.1	5.4
	食事を配達するサービス	34.8	40.3	40.1	27.0	37.3	26.1	30.7	12.5
	地域住民の助け合いや見守り（徘徊の発見、通報など）	16.0	15.9	14.0	16.2	18.0	21.5	6.7	14.3
	介護する家族のための健康管理、専門的な介護研修、相談窓口の設置	20.8	16.7	14.5	21.9	30.0	30.5	21.0	52.4
	在宅で介護するための補助用品（オムツ等）の支給	33.7	24.5	26.4	31.2	51.0	44.1	57.3	70.3
	買い物や通院などの外出時の移動支援	48.9	49.9	55.1	51.2	43.3	45.4	48.0	34.8
	財産管理や日常的な金銭管理などの支援	5.6	5.9	0.9	7.5	10.0	10.7	6.7	0.0
その他	1.0	1.8	0.0	0.0	0.0	1.8	1.7	0.0	
無回答	10.3	11.3	8.2	11.5	4.7	11.7	6.4	12.9	

(4) 介護サービスの利用状況などについて

①介護認定を受けた理由

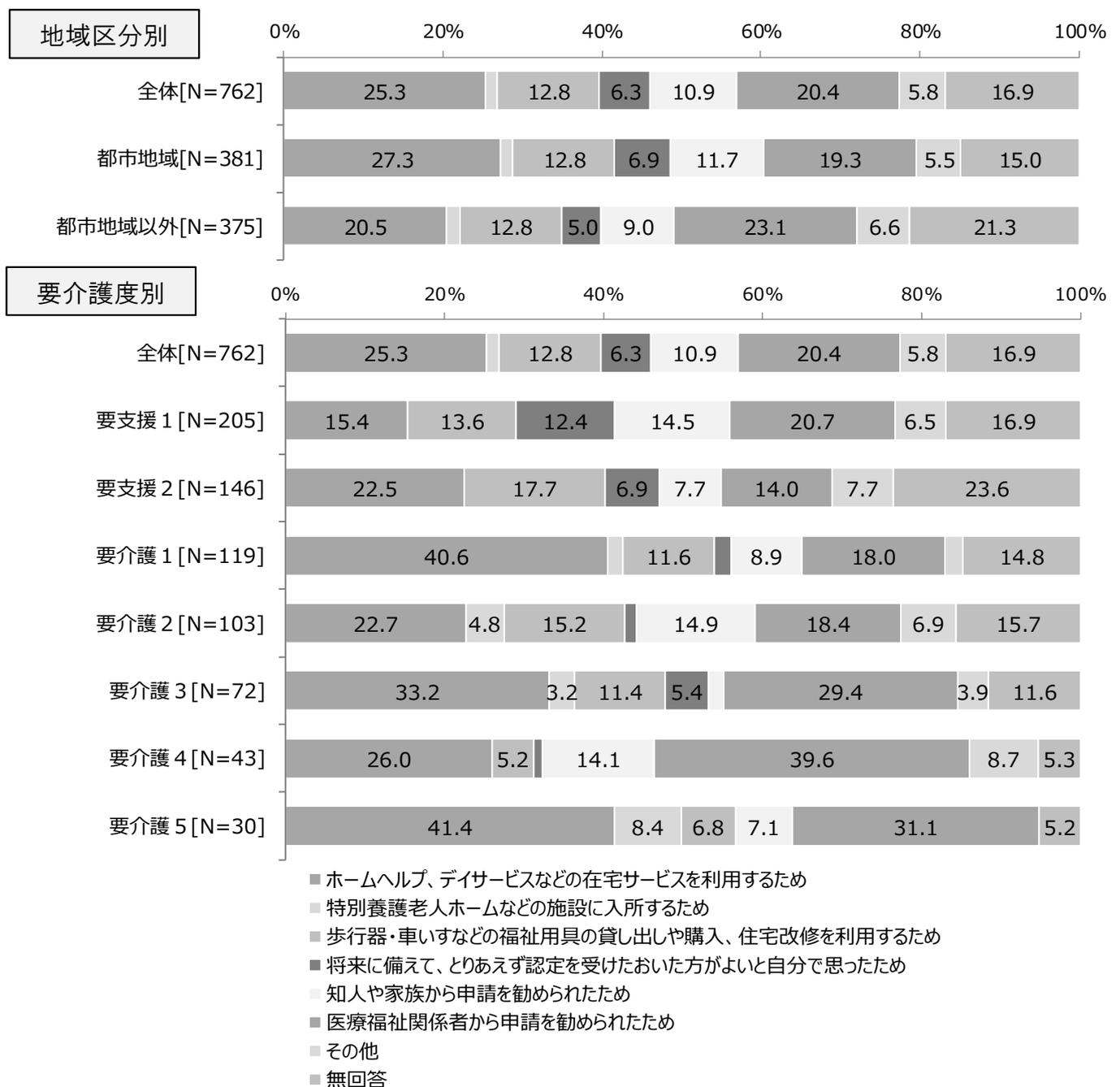
問14 あなたが、要介護認定を受けられたのは、どのような理由からですか。(主にあてはまるもの1つに○)

介護認定を受けた理由について聞いたところ、「ホームヘルプ、デイサービスなどの在宅サービスを利用するため」が25.3%と最も多く、次いで、「医療福祉関係者から申請を勧められたため」が20.4%、「歩行器・車いすなどの福祉用具の貸し出しや購入、住宅改修を利用するため」が12.8%等と続いています。

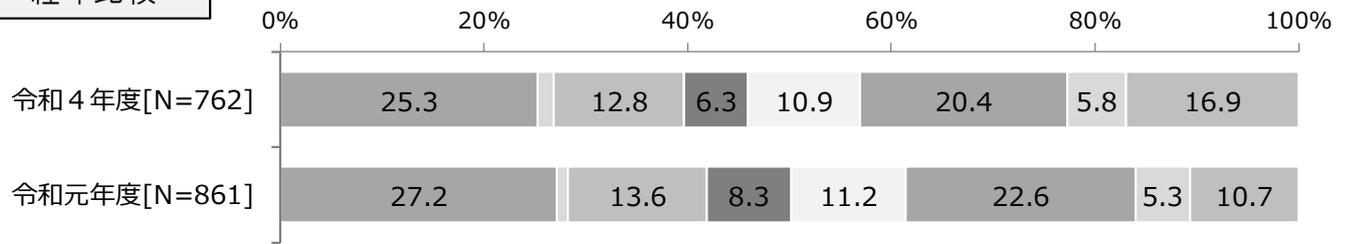
地域区分別では、都市地域以外で「ホームヘルプ、デイサービスなどの在宅サービスを利用するため」が少なくなっています。要介護度別の要介護1・3・5で「ホームヘルプ、デイサービスなどの在宅サービスを利用するため」が多くなっています。

経年比較では、大きな違いは見受けられません。

図表 15 介護認定を受けた理由



経年比較



- ホームヘルプ、デイサービスなどの在宅サービスを利用するため
- 特別養護老人ホームなどの施設に入所するため
- 歩行器・車いすなどの福祉用具の貸し出しや購入、住宅改修を利用するため
- 将来に備えて、とりあえず認定を受けたおいた方がよいと自分で思ったため
- 知人や家族から申請を勧められたため
- 医療福祉関係者から申請を勧められたため
- その他
- 無回答

②この1か月の間に利用した介護保険のサービス

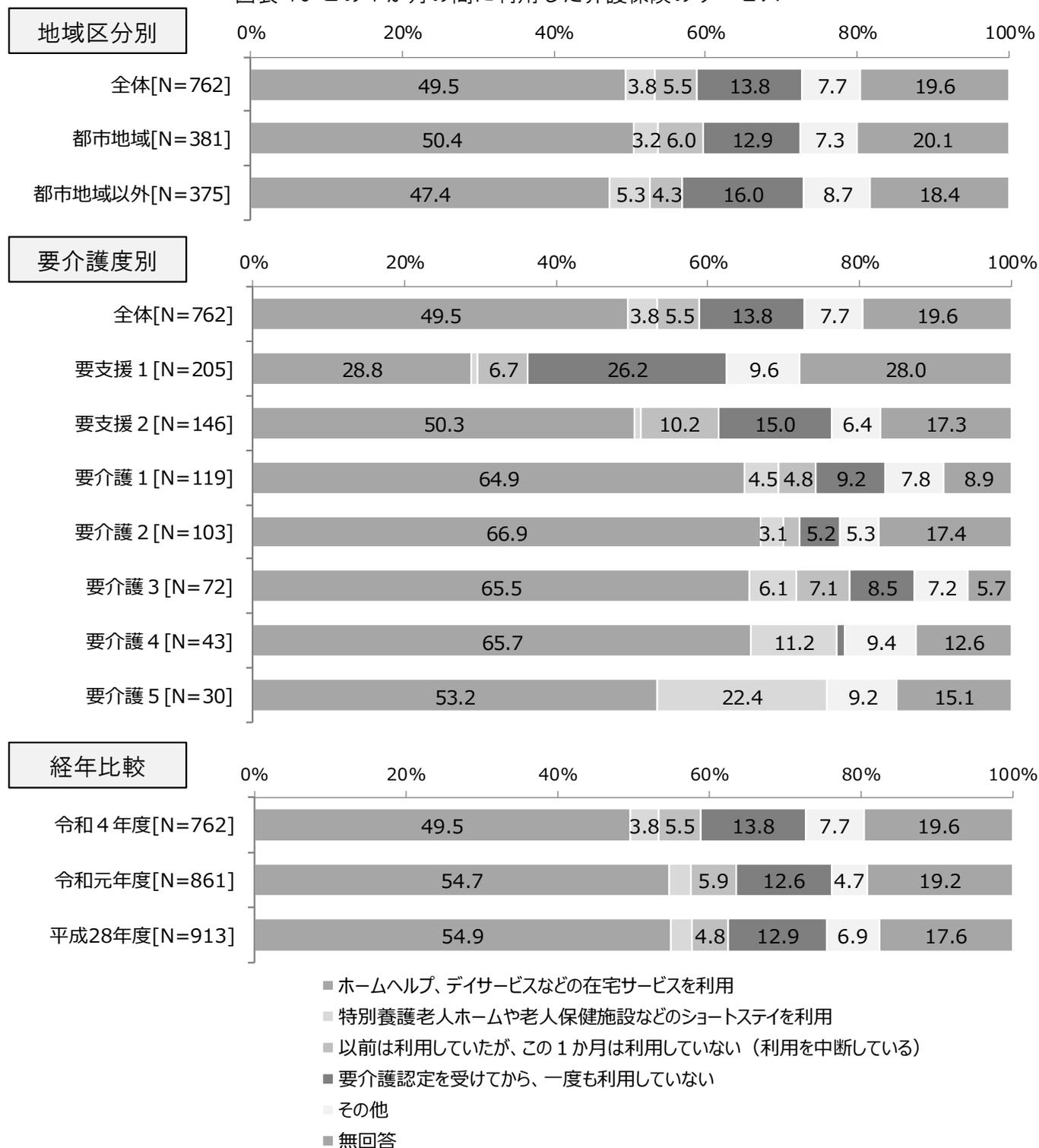
問15 あなたは、この1か月の間に、介護保険のサービスを利用しましたか。また、どのようなサービスを利用しましたか。(もっとも利用日数の多かったもの1つに○)

この1か月の間に利用した介護保険のサービスとしては、「ホームヘルプ、デイサービスなどの在宅サービスを利用」が49.5%、一方、「要介護認定を受けてから、一度も利用していない」は13.8%となっています。

地域区分別では、都市地域以外で都市地域に比べて「ホームヘルプ、デイサービスなどの在宅サービスを利用」が少なくなっています。要介護度別では、要支援1の人で「ホームヘルプ、デイサービスなどの在宅サービスを利用」が少なくなっています。

経年比較では、「ホームヘルプ、デイサービスなどの在宅サービスを利用」が減っています。

図表 16 この1か月の間に利用した介護保険のサービス



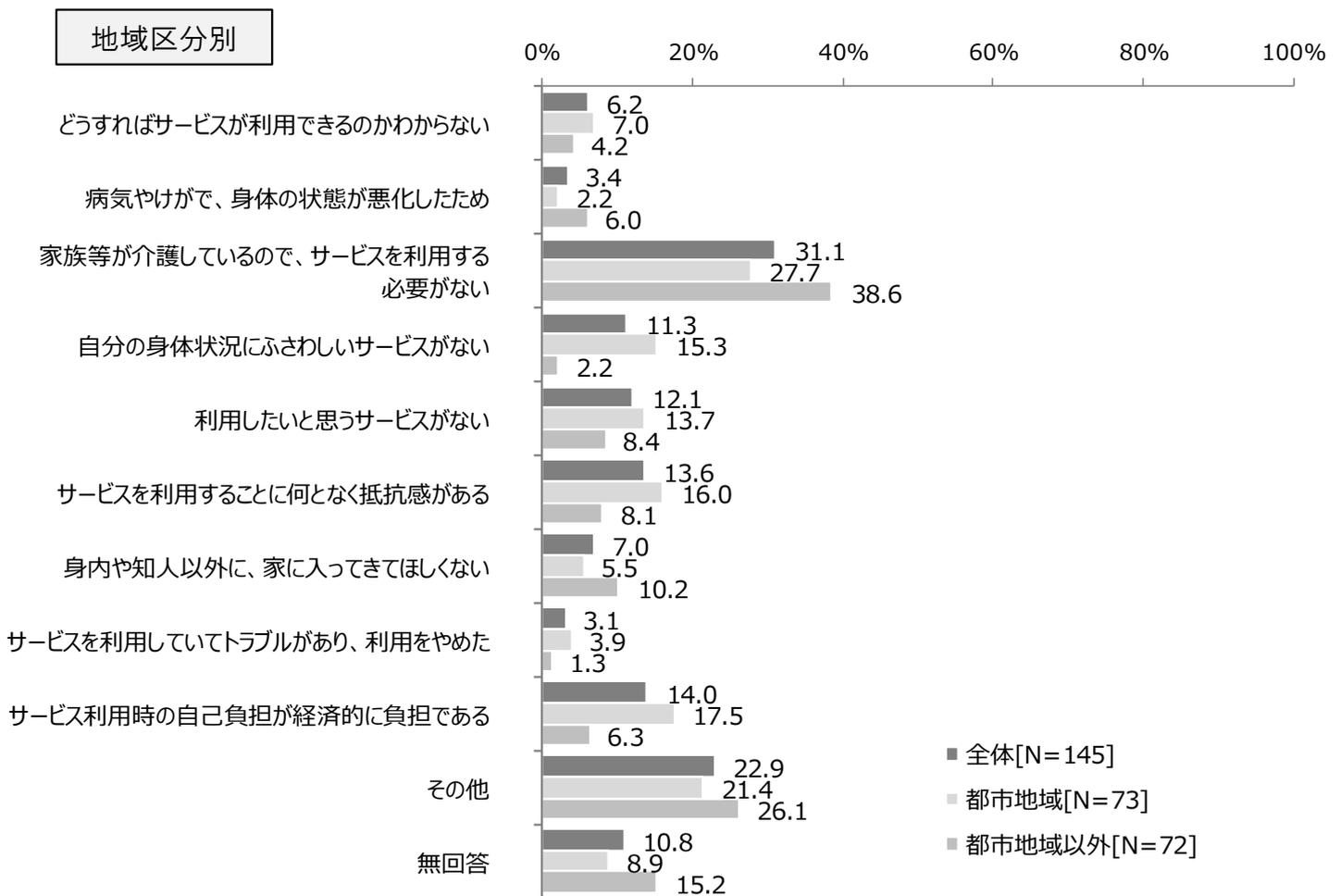
③介護保険のサービスを利用していない理由

問16 前の問で「3. 以前は利用していたが、この1か月は利用していない(利用を中断している)」または「4. 要介護認定を受けてから、一度も利用していない」と答えた方におたずねします。
あなたが介護保険のサービスを利用していないのはどのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

介護保険のサービスを利用していない人に、その理由について聞いたところ、「家族等が介護しているので、サービスを利用する必要がない」が31.1%と最も多く、次いで、「サービス利用時の自己負担が経済的に負担である」が14.0%、「サービスを利用することに何となく抵抗感がある」が13.6%等となっています。

地域区別では、都市地域以外で都市地域に比べて「家族等が介護しているので、サービスを利用する必要がない」が多くなっています。

図表 17 介護保険のサービスを利用していない理由（複数回答）



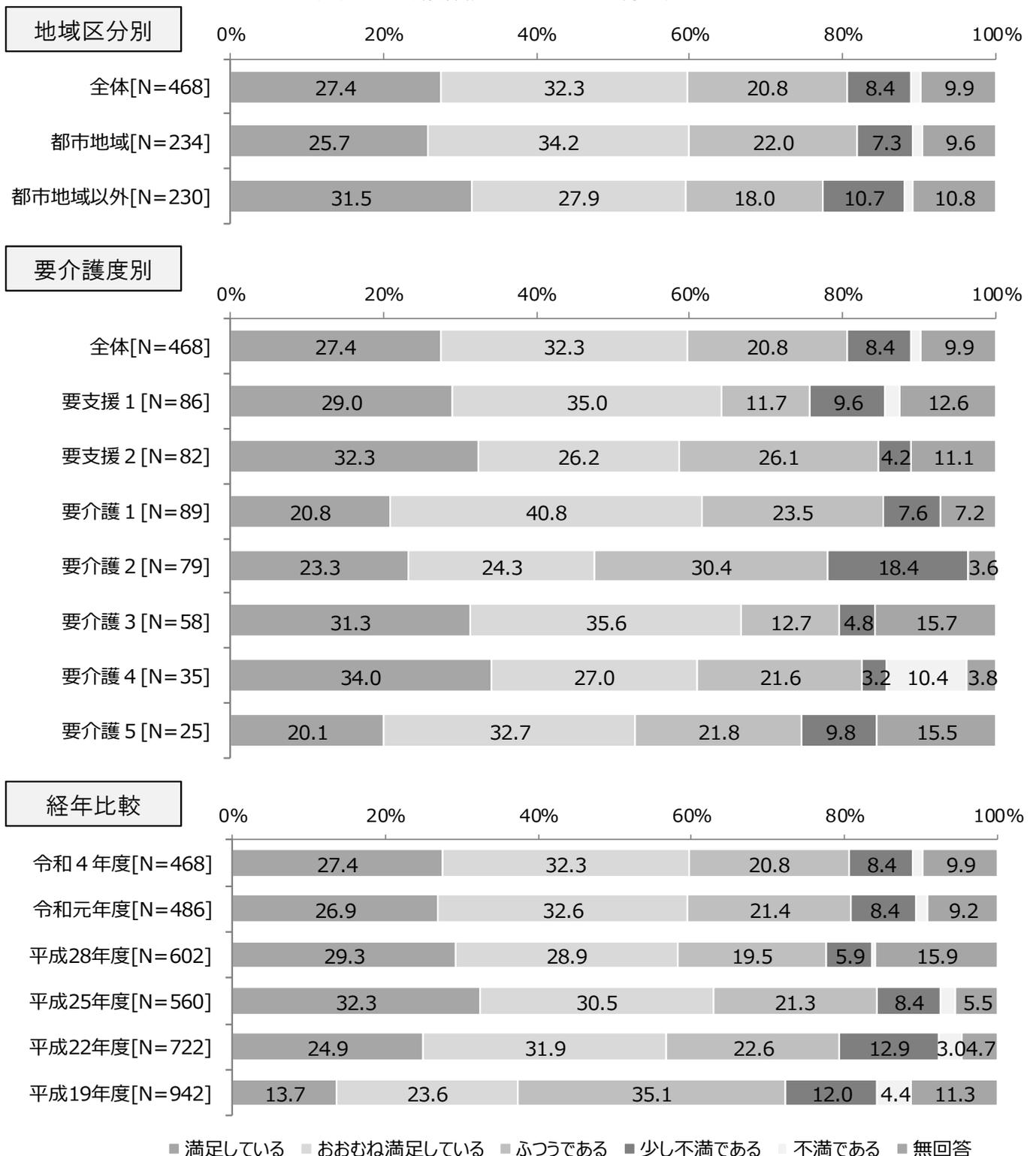
④介護保険のサービスの満足度

問17 問15で「1. ホームヘルプ、デイサービスなどの在宅サービスを利用」または「2. 特別養護老人ホームや老人保健施設などのショートステイを利用」と答えた方におたずねします。
あなたは、介護保険のサービスに満足していますか。(あてはまるもの1つに○)

介護保険のサービスを利用している人に、サービスの満足度について聞いたところ、「満足している」が27.4%、「おおむね満足している」が32.3%等となっています。

地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「満足している」が多くなっています。要介護度別では、要介護2で「満足している」「おおむね満足している」の合計が少なくなっています。

図表 18 介護保険のサービスの満足度



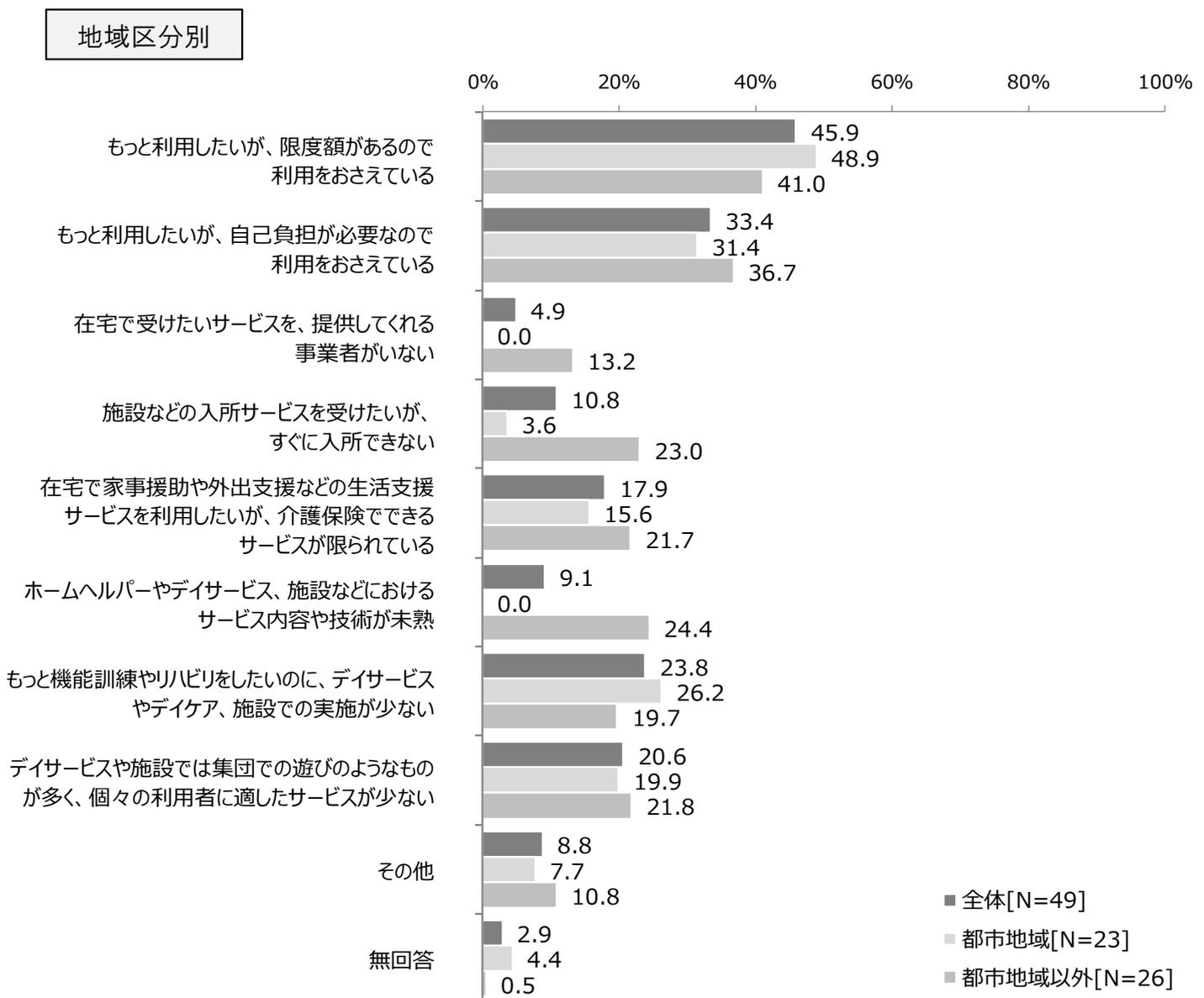
⑤介護保険のサービスに満足していない理由

問18 前の間で「4. 少し不満である」「5. 不満である」と答えた方におたずねします。介護保険サービスに満足していないのはどのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

介護保険サービスに満足していないと回答した人に、その理由について聞いたところ、「もっと利用したいが、限度額があるので利用をおさえている」が45.9%と最も多く、次いで、「もっと利用したいが、自己負担が必要なので利用をおさえている」が33.4%、「もっと機能訓練やリハビリをしたいのに、デイサービスやデイケア、施設での実施が少ない」が23.8%等となっています。

地域区分別で、都市地域以外で「もっと利用したいが、限度額があるので利用をおさえている」が少なくなっている一方、「施設などの入所サービスを受けたいが、すぐに入所できない」「ホームヘルパーやデイサービス、施設などにおけるサービス内容や技術が未熟」等が都市地域に比べて多くなっています。

図表 19 介護保険のサービスに満足していない理由（複数回答）



⑥体操教室など介護予防のためのサービス利用の有無

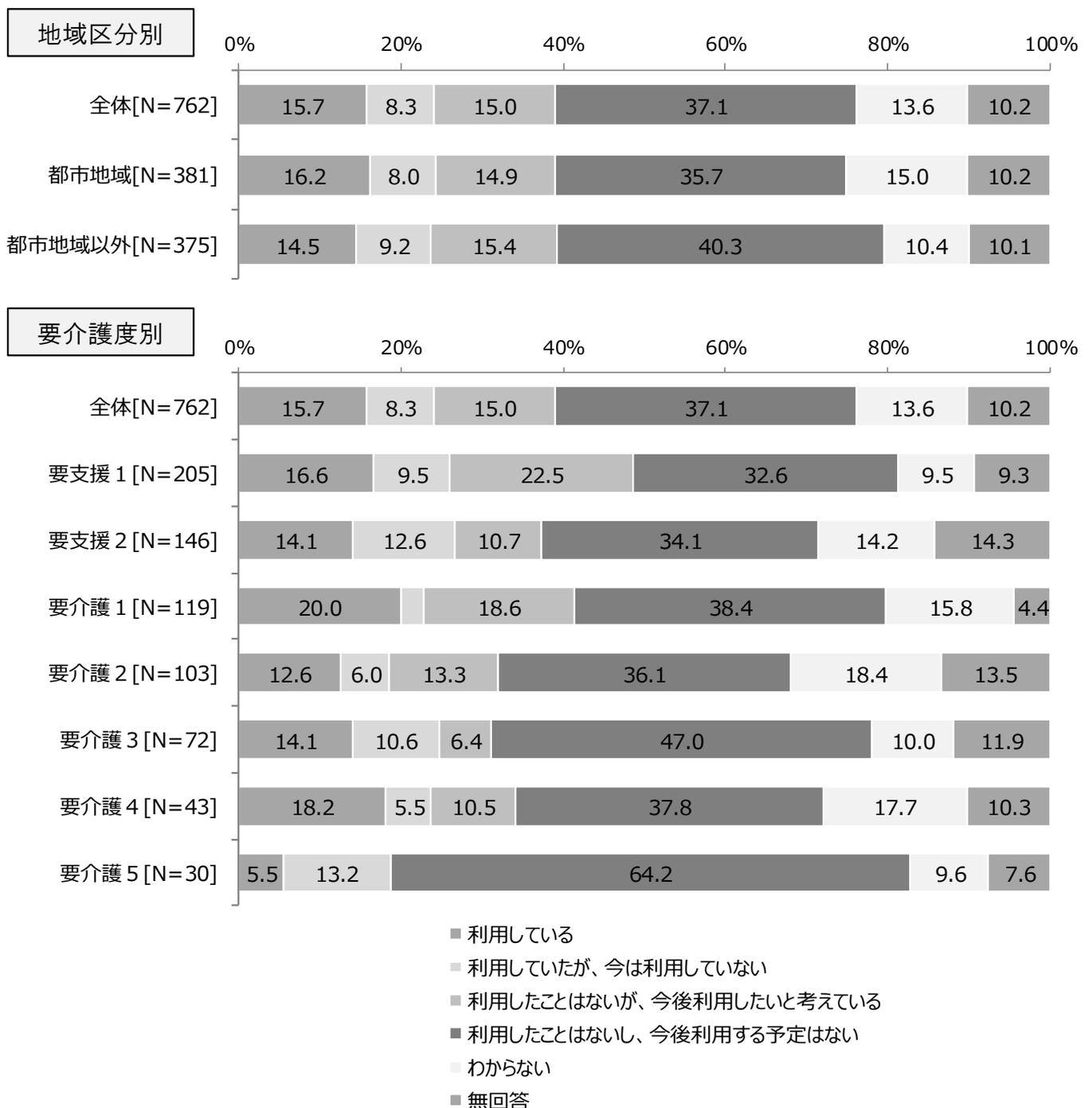
問19 あなたは、介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロンを利用している、または利用していましたか。(あてはまるもの1つに○)

体操教室など介護予防のためのサービス利用の有無は、「利用したことはないし、今後利用する予定はない」が37.1%、「利用している」15.7%、「利用したことはないが、今後利用したいと考えている」が15.0%、「利用していたが、今は利用していない」8.3%となっています。

地域区分別では、都市地域以外が「利用したことはないし、今後利用する予定はない」の割合が多くなっています。要介護度別では要介護1・4で「利用している」の割合が多くなっています。

経年比較では、「利用している」「利用していたが、今は利用していない」の割合の合計が多くなっています。

図表 20 体操教室など介護予防のためのサービス利用の有無



経年比較



- 利用している
- 利用していたが、今は利用していない
- 利用したことはないが、今後利用したいと考えている
- 利用したことはないし、今後利用する予定はない
- わからない
- 無回答

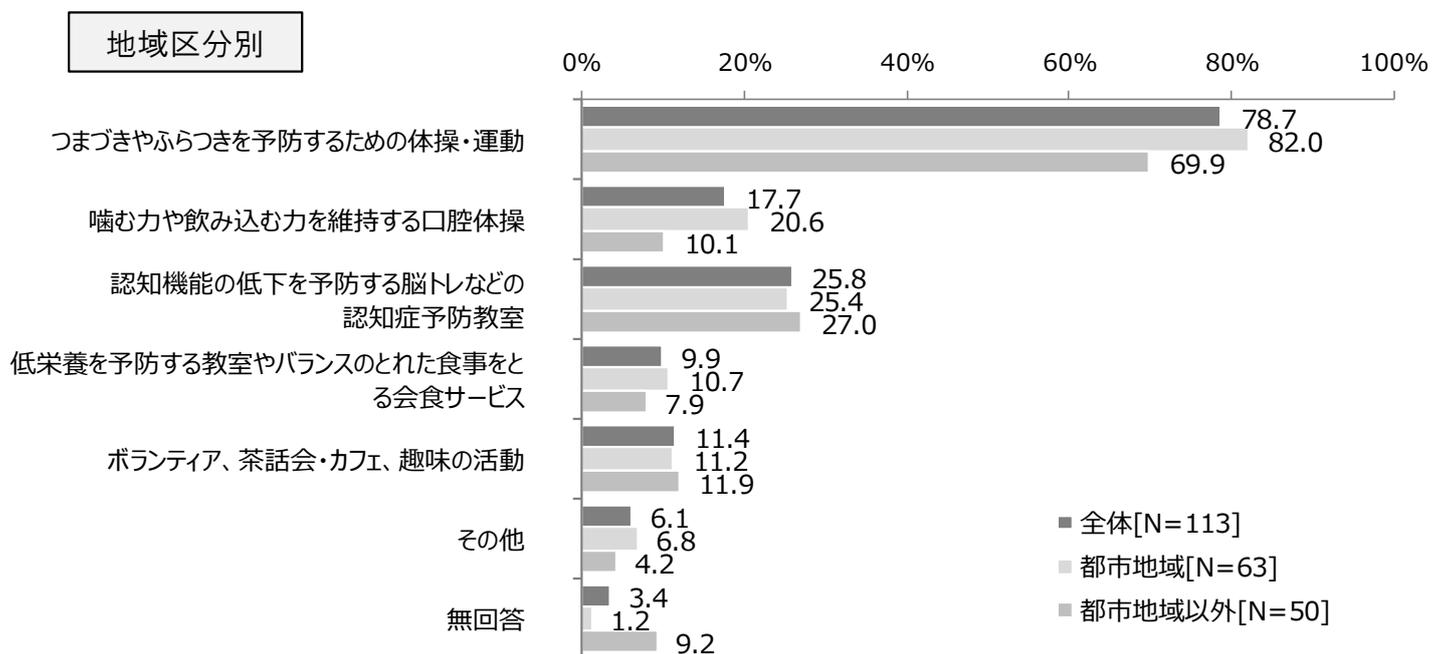
⑦利用している介護予防サービス

問20 前の問で「1. 利用している」と答えた方にお聞きします。次の(1)、(2)をご回答ください。
 (1)現在、どのようなサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

利用している介護予防サービスとしては、「つまづきやふらつきを予防するための体操・運動」が78.7%、「認知機能の低下を予防する脳トレなどの認知症予防教室」が25.8%等となっています。

地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「つまづきやふらつきを予防するための体操・運動」「嚙む力や飲み込む力を維持する口腔体操」の割合が少なくなっています。

図表 21 利用している介護予防サービス（複数回答）



⑧介護予防サービスの利用頻度

問20 前の問で「1. 利用している」と答えた方にお聞きします。次の(1)、(2)をご回答ください。
 (2)現在利用している回数をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

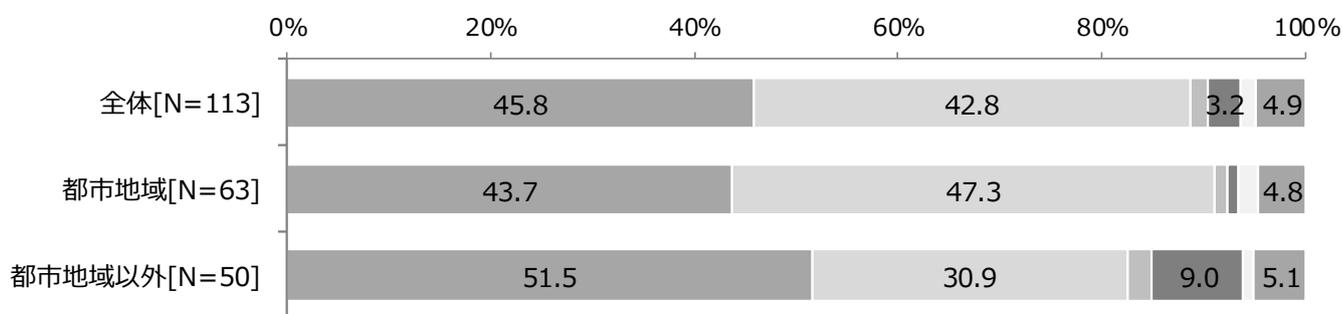
介護予防サービスの利用頻度は、「週に2回以上」が45.8%、次いで、「週に1回程度」が42.8%等となっています。

地域区分別では、都市地域以外で「週に2回以上」の割合が多く、「週に1回程度」の割合が少なくなっています。

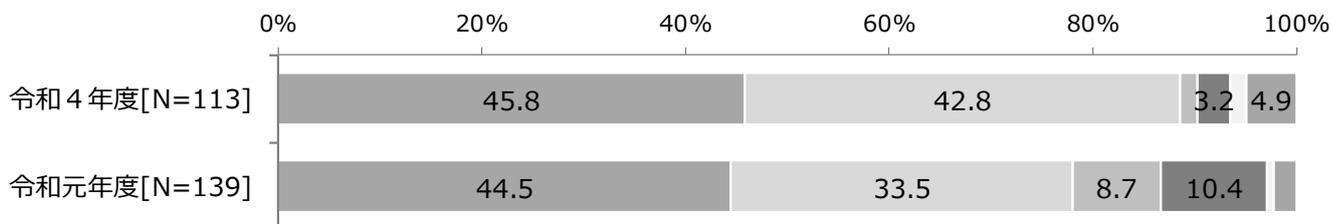
経年比較では、「週に1回程度」が増えています。

図表 22 介護予防サービスの利用頻度

地域区分別



経年比較



■ 週に2回以上 ■ 週に1回程度 ■ 月に2~3回程度 ■ 月に1回程度 ■ その他 ■ 無回答

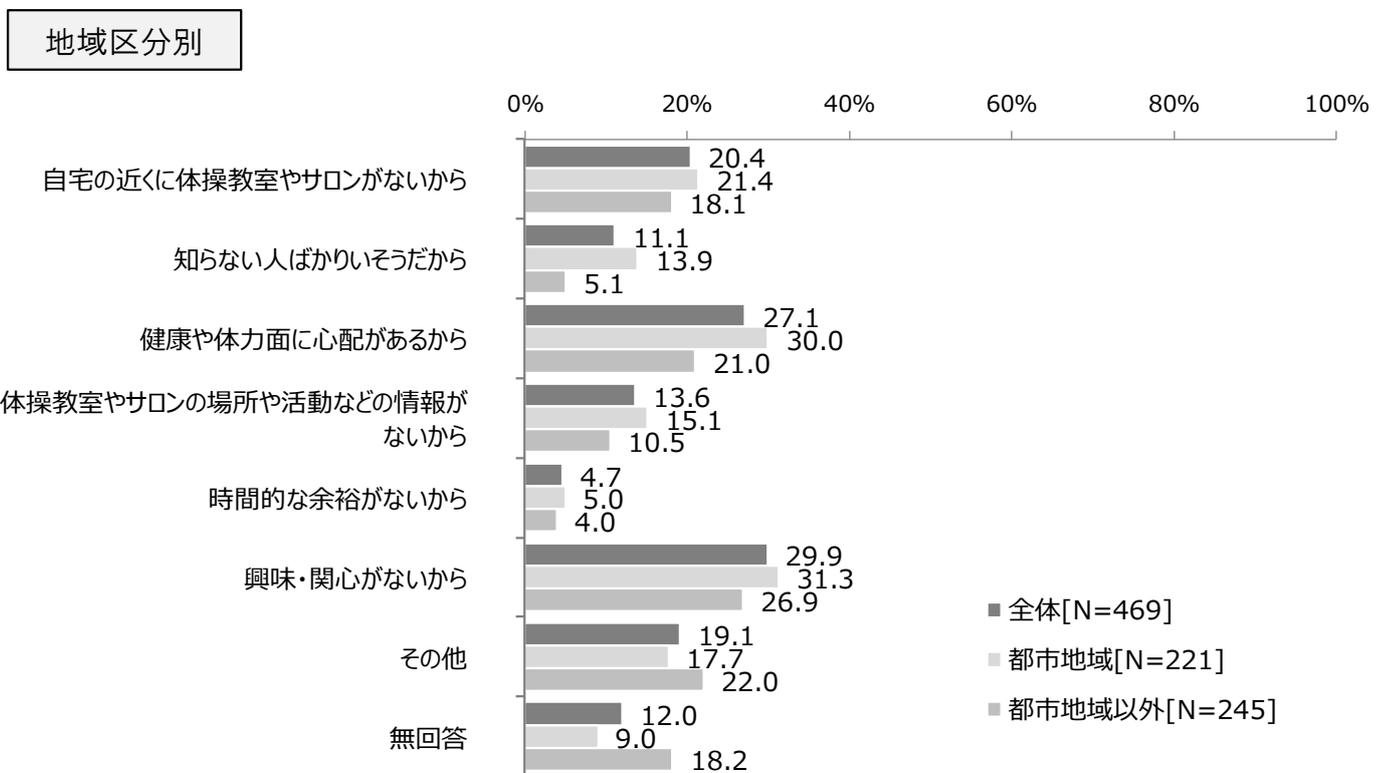
⑨介護予防サービスを利用しない理由

問21 問19で「2. 利用していたが、今は利用していない」、「3. 利用したことはないが、今後利用したいと考えている」、「4. 利用したことはないし、今後利用する予定はない」と答えた方にお聞きします。体操教室やサロンを利用しない、または利用していない理由をご回答ください。（あてはまるものすべてに○）

介護予防サービスを利用しない理由について聞いたところ、「興味・関心がないから」が29.9%、「健康や体力面に心配があるから」が27.1%等が多くなっています。

地域区分別では、都市地域で「健康や体力面に心配があるから」「興味・関心がないから」の割合が多くなっています。要介護度別では、要介護1で「自宅の近くに体操教室やサロンがないから」の割合が、要介護1・2・4・5で「興味・関心がないから」の割合が多くなっています。

図表 23 介護予防サービスを利用しない理由（複数回答）



要介護度別	全体 [N=469]	要支援1 [N=127]	要支援2 [N=85]	要介護1 [N=78]	要介護2 [N=63]	要介護3 [N=52]	要介護4 [N=25]	要介護5 [N=23]
自宅の近くに体操教室やサロンがないから	20.4	20.1	18.8	35.9	19.4	9.6	7.3	5.7
知らない人ばかりいそうだから	11.1	10.0	7.9	15.4	9.4	7.0	10.3	20.8
健康や体力面に心配があるから	27.1	23.5	22.4	24.4	35.0	35.9	40.6	23.3
体操教室やサロンの場所や活動などの情報がないから	13.6	15.6	16.7	14.1	14.1	8.3	0.0	0.0
時間的な余裕がないから	4.7	5.5	6.6	0.0	4.0	2.8	6.3	9.4
興味・関心がないから	29.9	26.4	21.9	35.3	39.6	26.4	46.2	48.3
その他	19.1	16.6	28.9	6.6	15.0	28.5	12.1	33.3
無回答	12.0	14.7	11.2	12.5	2.9	12.0	3.1	8.1

(5) 買い物など日常の状況について

①日頃の外出頻度

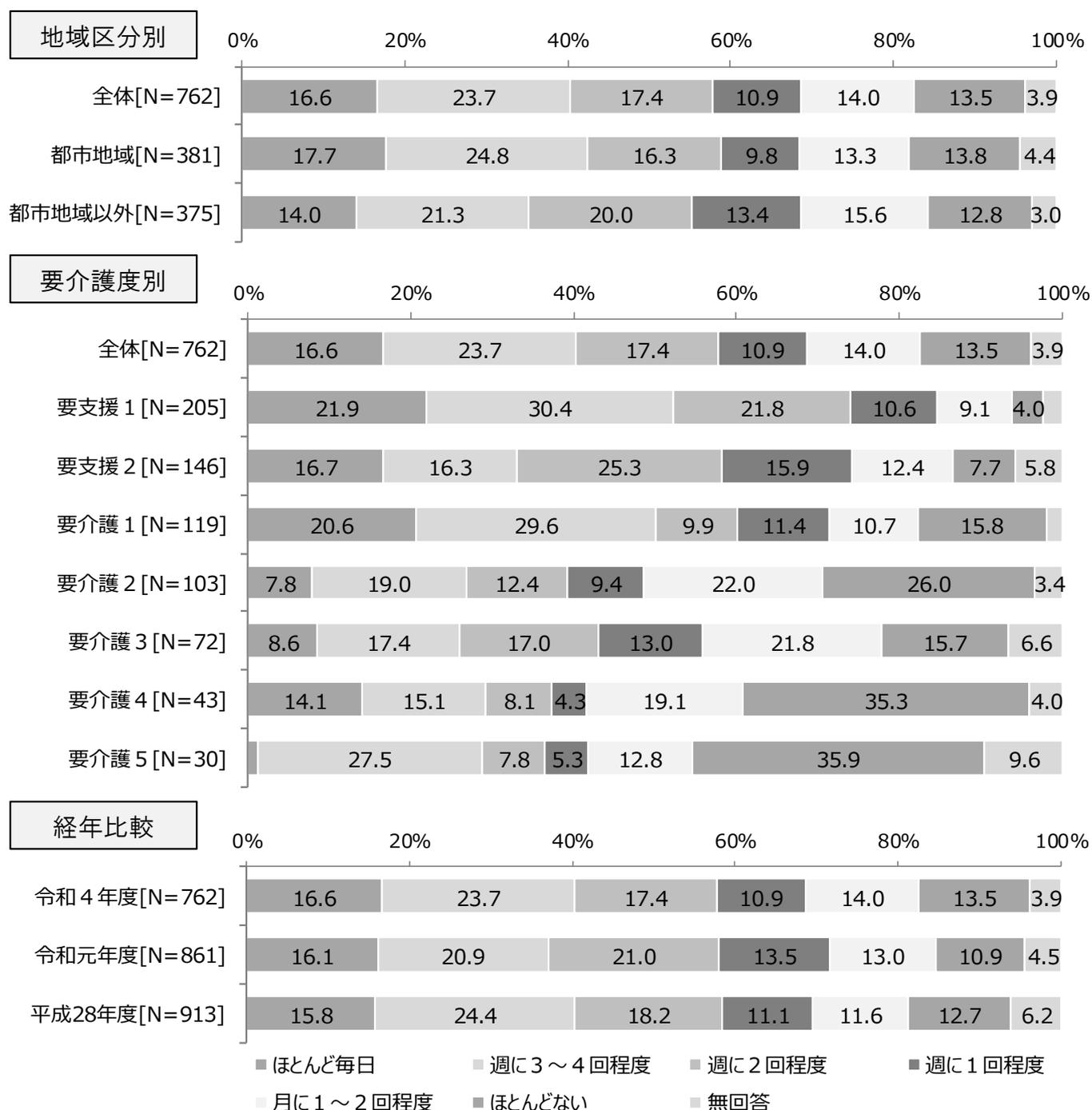
問22 あなたは、日頃、どの程度外出をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

日頃の外出頻度については、「週に3～4回程度」が23.7%、「週に2回程度」が17.4%、「ほとんど毎日」が16.6%等となっています。

地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「ほとんど毎日」の割合がやや少なくなっています。要介護度別では、要介護度が重くなるにつれて「週1回以上」の外出頻度が低くなる傾向が見られます。

経年比較では、大きな違いは見受けられません。

図表 24 日頃の外出頻度



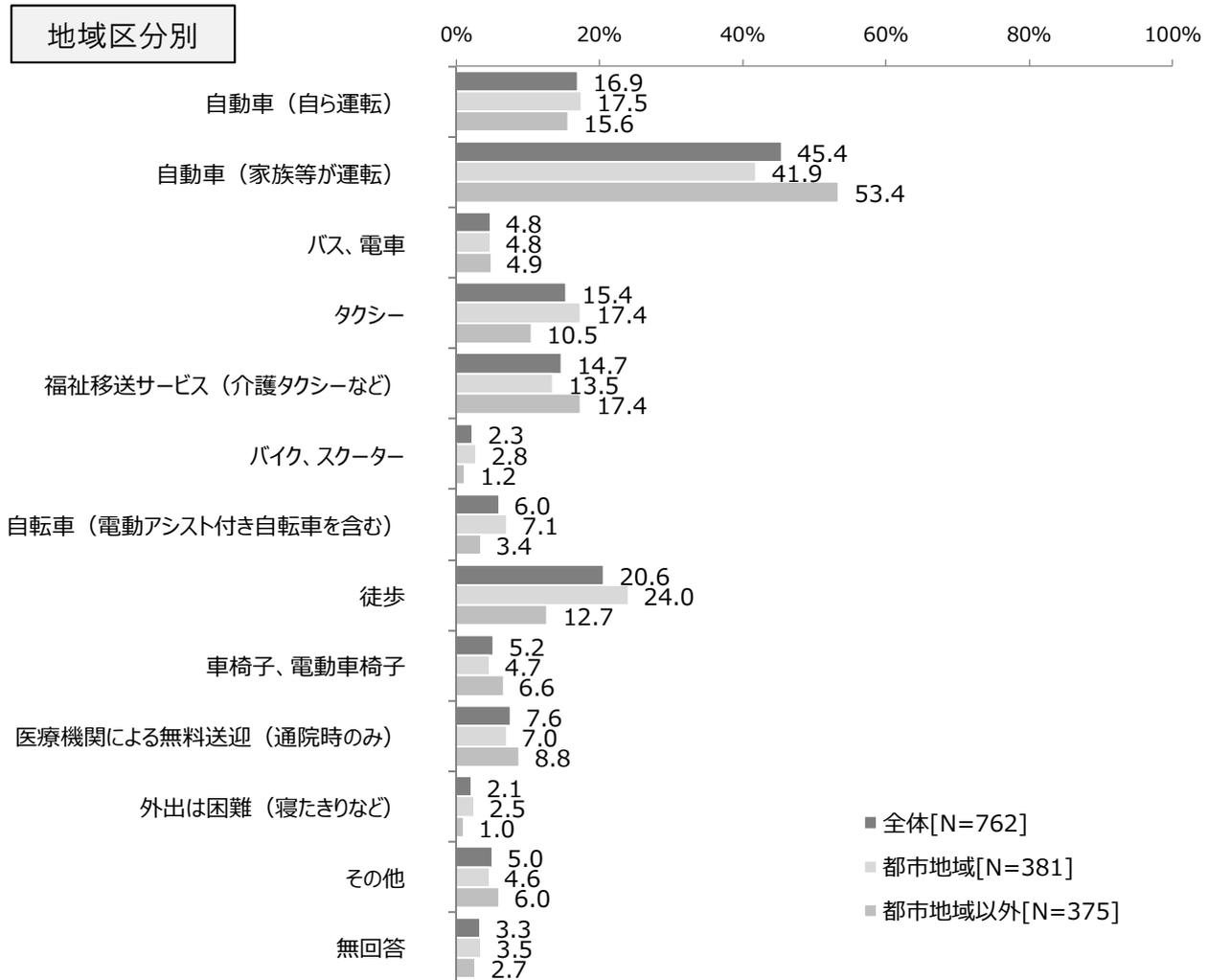
②日頃の外出方法

問23 あなたは、日頃、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに○)

日頃の外出方法としては、「自動車（家族等が運転）」が45.4%と多くなっています。次いで、「徒歩」が20.6%、「自動車（自ら運転）」が16.9%、「タクシー」が15.4%等となっています。

地域区別では、都市地域以外で「タクシー」の割合が少なくなっています。要介護度別では、要介護1～4の人で「自動車（家族等が運転）」の割合が多くなっています。

図表 25 日頃の外出方法（複数回答）



要介護度別	全体 [N=762]	要支援1 [N=205]	要支援2 [N=146]	要介護1 [N=119]	要介護2 [N=103]	要介護3 [N=72]	要介護4 [N=43]	要介護5 [N=30]
自動車（自ら運転）	16.9	29.9	22.4	11.8	4.4	0.6	0.0	12.7
自動車（家族等が運転）	45.4	39.3	37.4	55.7	54.9	58.2	60.5	28.9
バス、電車	4.8	8.6	6.8	0.0	2.2	1.4	0.0	0.0
タクシー	15.4	20.6	18.9	12.6	11.5	11.4	1.6	1.1
福祉移送サービス（介護タクシーなど）	14.7	3.5	10.2	22.9	20.8	24.4	26.0	35.7
バイク、スクーター	2.3	4.1	3.4	1.0	0.0	0.0	0.0	3.2
自転車（電動アシスト付き自転車を含む）	6.0	11.0	3.4	4.4	4.0	3.7	0.0	0.0
徒歩	20.6	30.5	23.3	25.9	9.2	5.3	5.5	2.0
車椅子、電動車椅子	5.2	3.9	3.3	4.4	5.2	4.7	13.4	11.7
医療機関による無料送迎（通院時のみ）	7.6	5.5	6.7	7.8	13.1	15.8	0.0	4.4
外出は困難（寝たきりなど）	2.1	0.0	0.6	0.0	4.0	1.3	4.2	21.6
その他	5.0	3.2	8.3	6.8	5.6	1.7	5.5	6.9
無回答	3.3	0.5	6.8	1.5	6.7	3.5	2.8	7.6

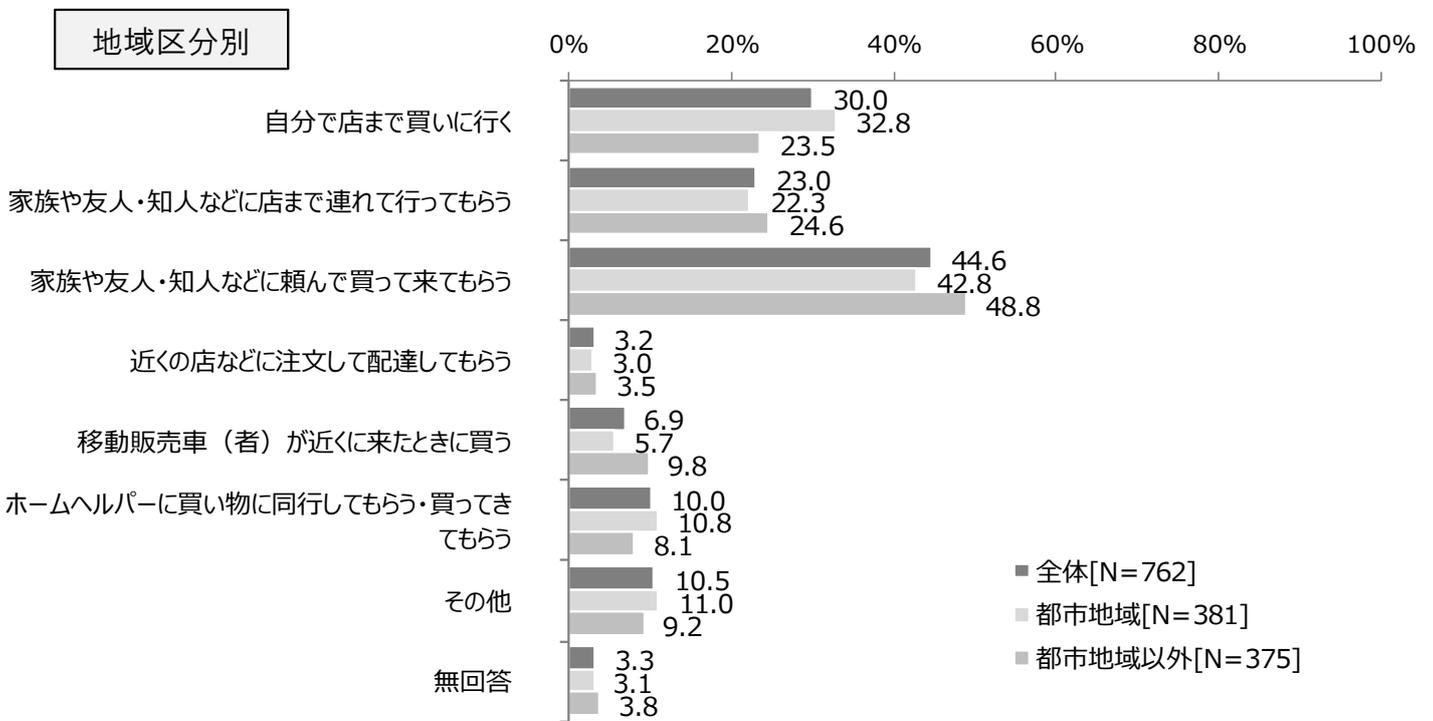
③食料品や日用品など生活に必要な物の購入方法

問24 あなたは、日頃、食料品や日用品など生活に必要な買い物は、どのような方法で購入していますか。
(よく使う方法すべてに○)

食料品や日用品など生活に必要な物の購入方法について聞いたところ、「家族や友人・知人などに頼んで買って来てもらう」が44.6%と最も多く、次いで、「自分で店まで買いに行く」が30.0%、「家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう」が23.0%等と続いています。

地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「家族や友人・知人などに頼んで買って来てもらう」が多くなっています。要介護度別では、要介護2～5で「家族や友人・知人などに頼んで買って来てもらう」の割合が多くなっています。

図表 26 食料品や日用品など生活に必要な物の購入方法（複数回答）



要介護度別	全体 [N=762]	要支援1 [N=205]	要支援2 [N=146]	要介護1 [N=119]	要介護2 [N=103]	要介護3 [N=72]	要介護4 [N=43]	要介護5 [N=30]
自分で店まで買いに行く	30.0	55.8	38.4	16.4	5.0	5.3	0.0	11.5
家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう	23.0	29.3	21.0	24.5	19.1	20.5	17.2	3.0
家族や友人・知人などに頼んで買って来てもらう	44.6	36.1	37.8	44.8	61.5	53.1	64.1	60.4
近くの店などに注文して配達してもらう	3.2	2.3	3.9	2.6	1.1	8.7	1.6	4.9
移動販売車（者）が近くに来たときに買う	6.9	6.1	11.1	6.8	5.3	6.2	1.6	2.0
ホームヘルパーに買い物に同行してもらう・買って来てもらう	10.0	5.5	15.1	14.1	11.4	8.9	9.7	7.0
その他	10.5	8.7	6.3	11.1	9.7	16.3	18.3	26.3
無回答	3.3	0.8	6.7	1.1	5.4	1.9	5.1	7.6

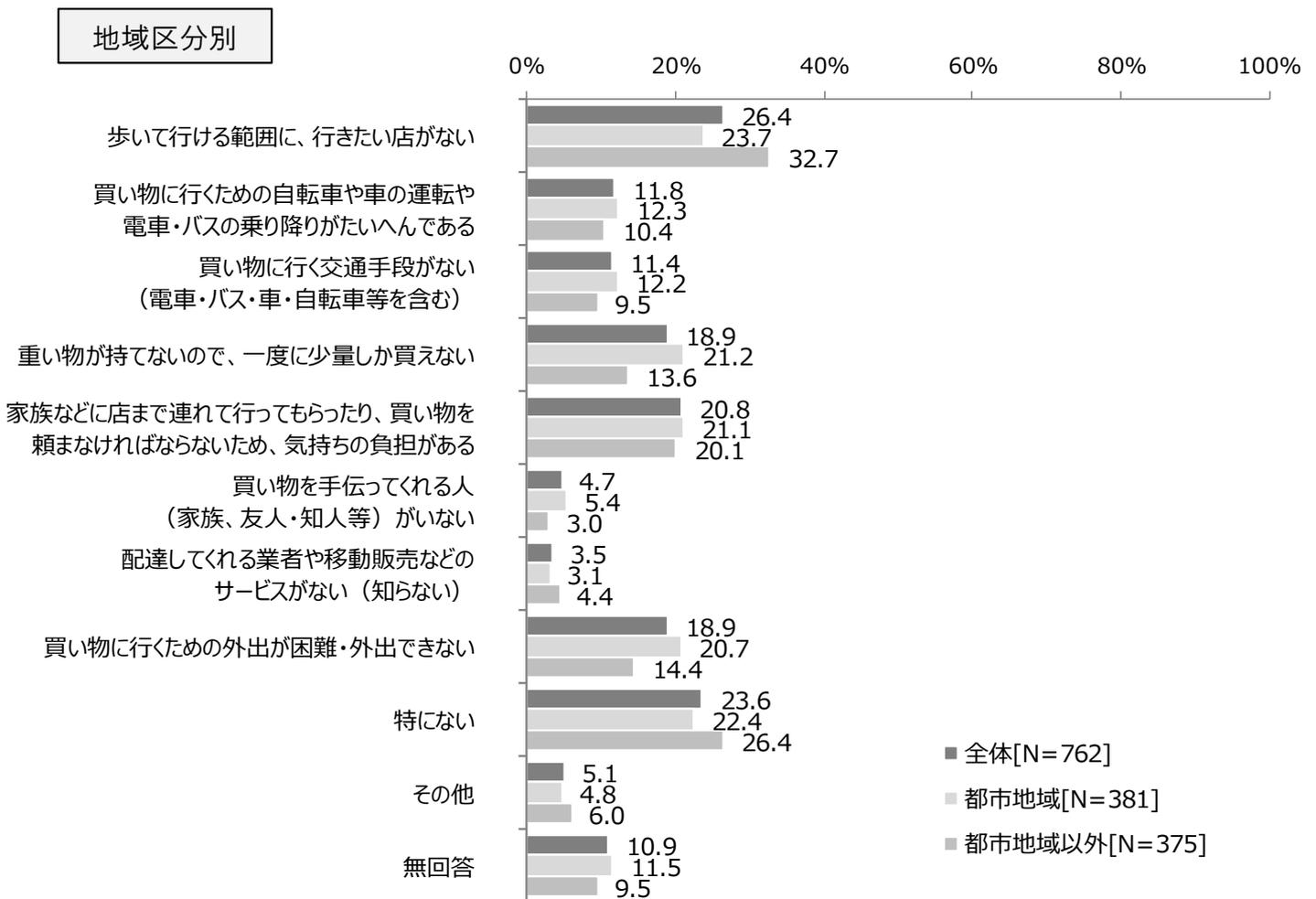
④ふだんの買い物で不便なことや困っていること

問25 ふだんの買い物で不便なことや困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

ふだんの買い物で不便なことや困っていることについては、「歩いて行ける範囲に、行きたい店がない」が26.4%、「家族などに店まで連れて行ってもらったり、買い物を頼まなければならないため、気持ちの負担がある」が20.8%、「買い物に行くための外出が困難・外出できない」「重い物が持てないので、一度に少量しか買えない」がそれぞれ18.9%等となっています。「特にない」が23.6%になっています。

地域区分別では、都市地域以外で「重い物が持てないので、一度に少量しか買えない」が少なくなっています。要介護度別では、「重い物が持てないので、一度に少量しか買えない」は要支援1～2で、「家族などに店まで連れて行ってもらったり、買い物を頼まなければならないため、気持ちの負担がある」は要支援2・要介護1～3でやや多くなっています。

図表 27 ふだんの買い物で不便なことや困っていること（複数回答）



要介護度別	全体 [N=762]	要支援1 [N=205]	要支援2 [N=146]	要介護1 [N=119]	要介護2 [N=103]	要介護3 [N=72]	要介護4 [N=43]	要介護5 [N=30]
歩いていける範囲に、行きたい店がない	26.4	35.7	30.2	27.9	18.7	16.2	9.8	10.7
買い物に行くための自転車や車の運転や電車・バスの乗り降りがたいへんである	11.8	11.4	19.9	14.0	13.1	5.5	1.6	3.2
買い物に行く交通手段がない（電車・バス・車・自転車等を含む）	11.4	11.9	13.7	16.9	13.1	4.8	9.4	1.1
重い物が持てないので、一度に少量しか買えない	18.9	21.7	33.1	19.7	14.4	5.7	4.9	3.2
家族などに店まで連れて行ってもらったり、買い物を頼まなければならないため、気持ちの負担がある	20.8	18.5	22.5	26.0	22.2	27.0	19.3	1.1
買い物を手伝ってくれる人（家族、友人・知人等）がいない	4.7	3.4	13.3	4.7	1.6	2.3	2.3	0.0
配達してくれる業者や移動販売などのサービスがない（知らない）	3.5	2.3	4.6	9.1	1.8	1.6	0.0	1.0
買い物に行くための外出が困難・外出できない	18.9	4.2	20.5	20.1	30.1	35.3	35.1	20.5
特になし	23.6	21.7	16.7	28.1	25.7	19.2	25.6	45.0
その他	5.1	7.4	2.7	5.1	2.7	8.6	5.0	4.9
無回答	10.9	11.3	12.8	4.2	12.0	8.0	12.7	14.7

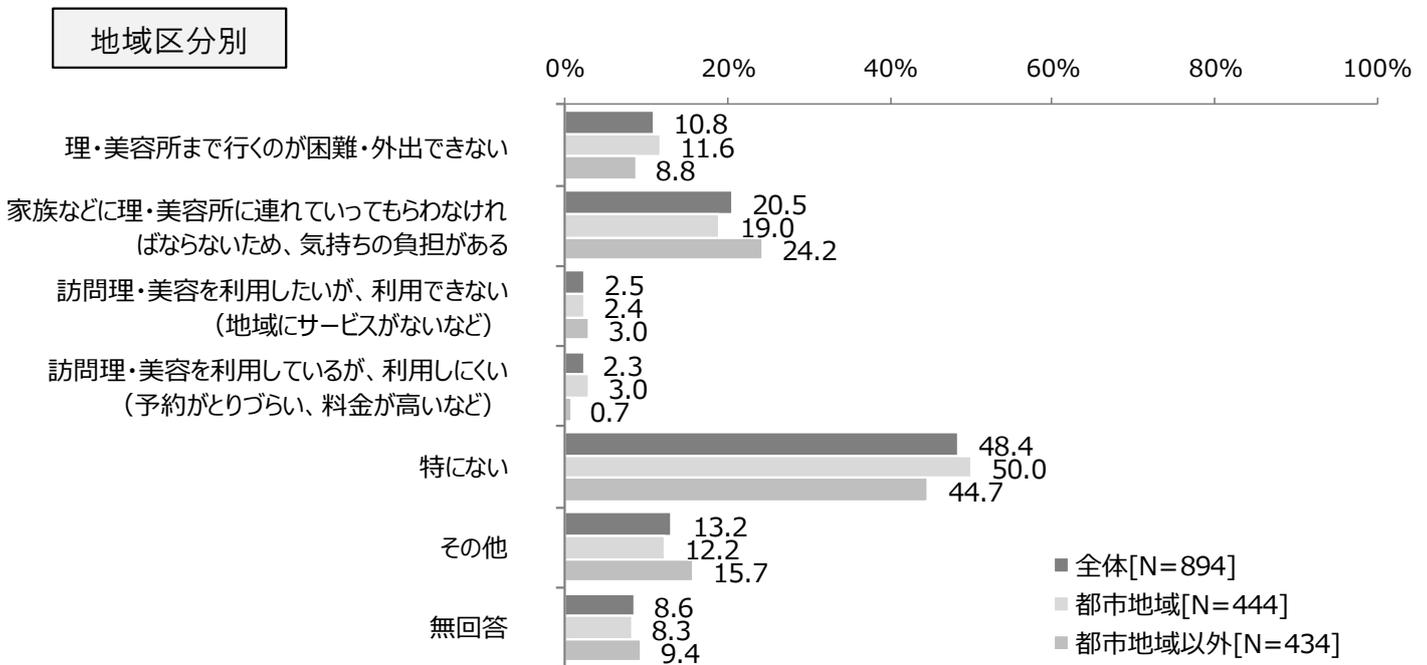
⑤日頃の理・美容で困っていること

問26 あなたは、日頃の理・美容(散髪やカット・パーマ)で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

日頃の理・美容で困っていることについて聞いたところ、「特にない」が48.4%と多くなっています。困っていることとしては、「家族などに理・美容所に連れていってもらわなければならないため、気持ちの負担がある」が20.5%、「理・美容所まで行くのが困難・外出できない」が10.8%等となっています。

地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「家族などに理・美容所に連れていってもらわなければならないため、気持ちの負担がある」が多くなっています。要介護度別では、要支援2・要介護1～3の人で「家族などに理・美容所に連れていってもらわなければならないため、気持ちの負担がある」が多くなっています。

図表 28 日頃の理・美容で困っていること（複数回答）



要介護度別	全体 [N=894]	要支援1 [N=227]	要支援2 [N=160]	要介護1 [N=134]	要介護2 [N=114]	要介護3 [N=86]	要介護4 [N=66]	要介護5 [N=43]
理・美容所まで行くのが困難・外出できない	10.8	5.2	11.8	5.6	15.0	24.3	14.7	16.6
家族などに理・美容所に連れていってもらわなければならないため、気持ちの負担がある	20.5	13.5	25.6	25.6	29.4	26.7	21.5	8.5
訪問理・美容を利用したいが、利用できない(地域にサービスがないなど)	2.5	3.0	1.8	3.8	1.2	3.0	1.2	4.9
訪問理・美容を利用しているが、利用しにくい(予約がとりづらい、料金が高いなど)	2.3	2.0	0.2	3.4	3.6	2.1	1.6	1.9
特にない	48.4	53.8	46.1	52.7	41.3	39.1	48.9	48.9
その他	13.2	12.6	18.1	10.5	15.1	12.9	11.4	15.3
無回答	8.6	12.2	6.0	3.8	3.5	4.2	7.6	12.6

⑥日頃の暮らしについての総合満足度

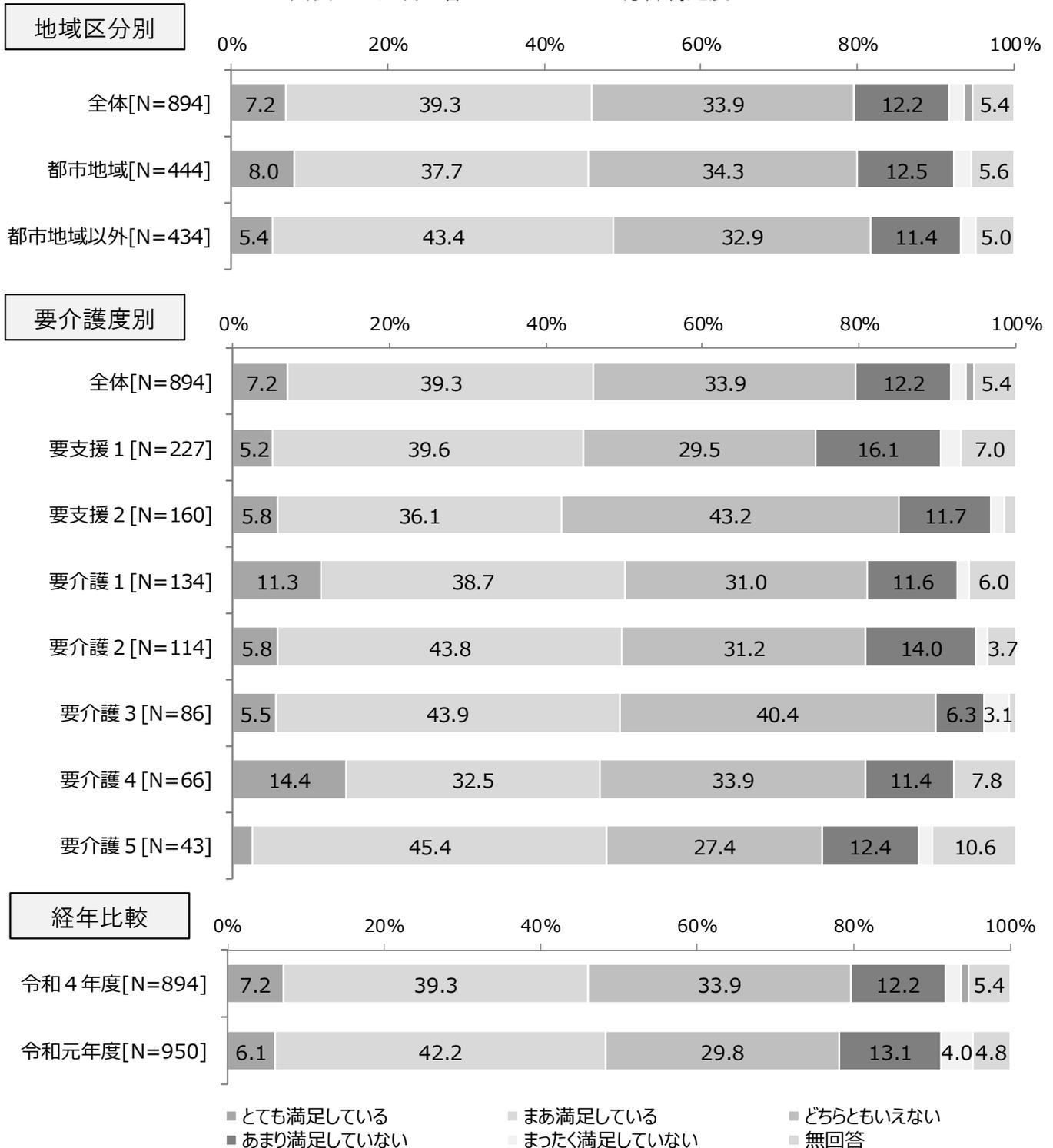
問27 あなたは、現在の暮らしにどの程度満足していますか。今の生活環境や国・県の福祉サービスなどを総合的に考えてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

日頃の暮らしについての総合満足度は、「まあ満足している」が39.3%、「どちらともいえない」が33.9%等となっています。「とても満足している」は7.2%となっています。

地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「まあ満足している」が多くなっています。要介護度別では、要支援の人は要介護の人に比べて「とても満足している」「まあ満足している」の合計はやや少なくなっています。

経年比較では、大きな違いは見受けられません。

図表 29 日頃の暮らしについての総合満足度



(6) 身体状況や医療などについて

①自分の心身の変化への気配り、早めの改善

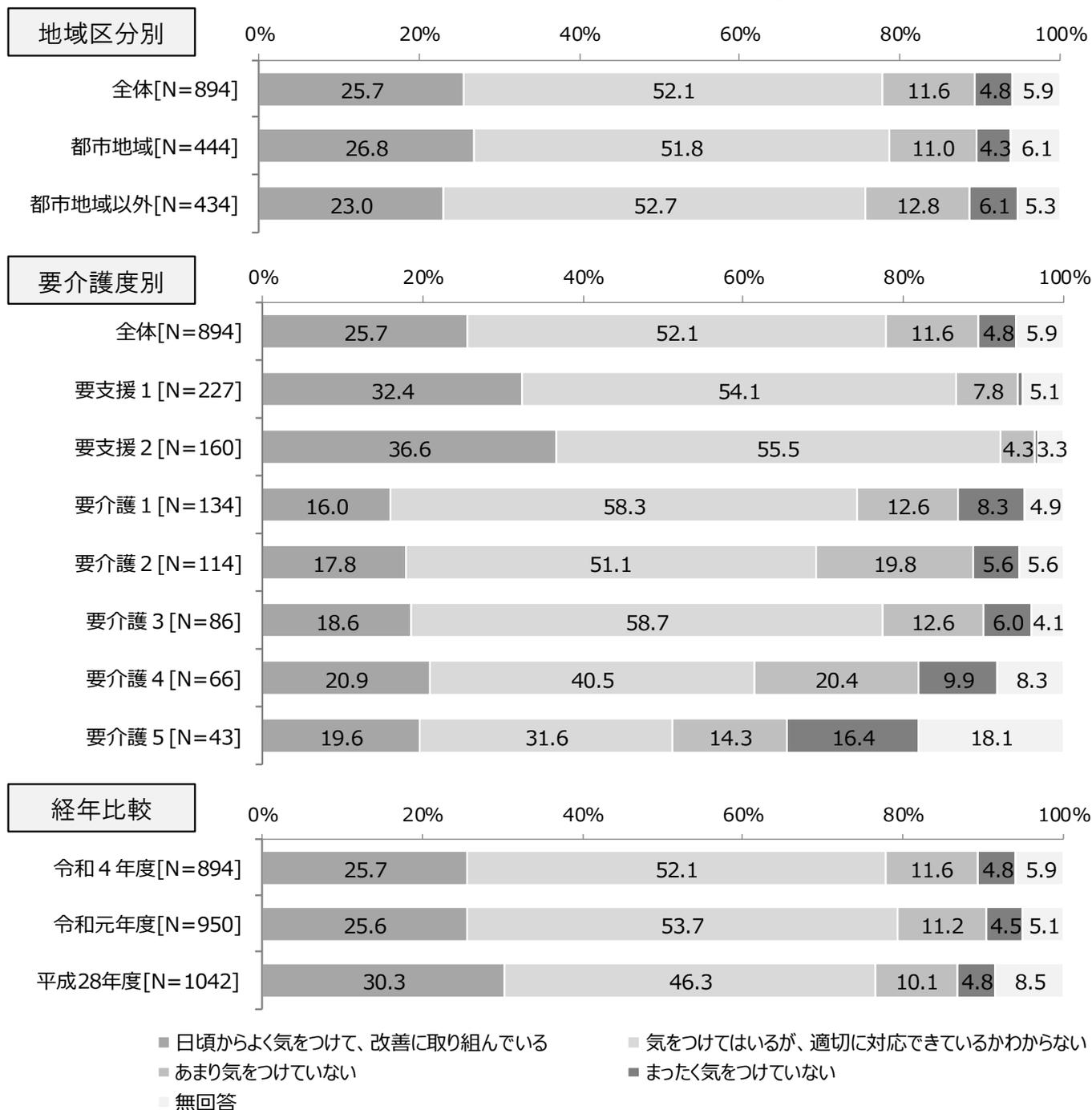
問28 あなたは日頃、ご自分の心身の変化(足腰のおとろえ、気力がわかず何もしたくなくなるなど)に気を配り、早目に改善していますか。(あてはまるもの1つに○)

自分の心身の変化への気配りや、早目の改善への心がけの有無について聞いたところ、「気をつけてはいるが、適切に対応できているかわからない」が52.1%と多くなっています。「日頃からよく気をつけて、改善に取り組んでいる」は25.7%となっています。

地域区分別では、都市地域は都市地域以外に比べて「日頃からよく気をつけて、改善に取り組んでいる」が多くなっています。要介護度別で見ると、要支援1・2の人は「日頃からよく気をつけて、改善に取り組んでいる」の割合が多くなっています。

経年比較では、大きな違いは見受けられません。

図表 30 自分の心身の変化への気配り、早めの改善



②日頃の通院頻度

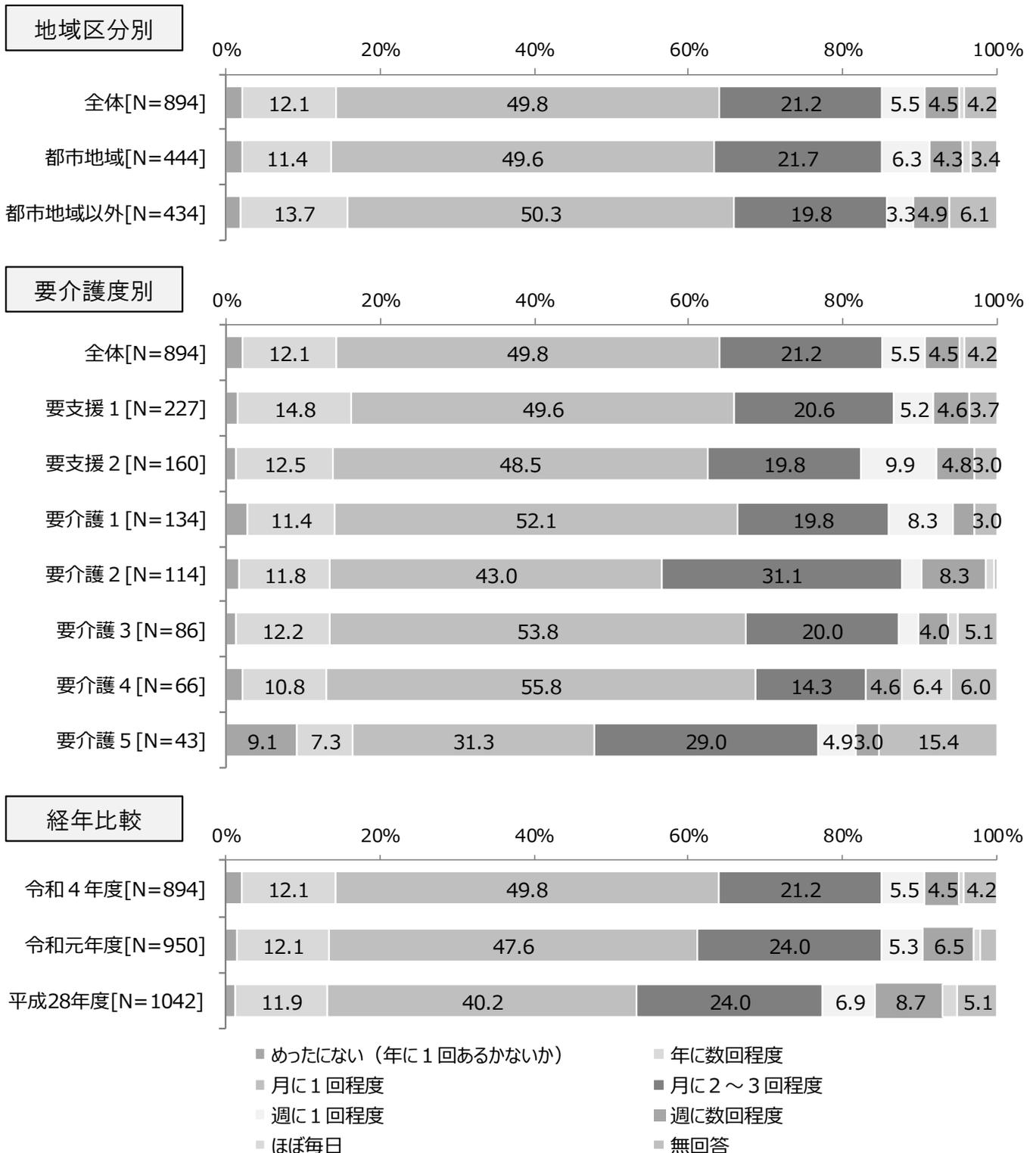
問29 あなたは、日頃、どの程度通院(医療機関の受診)をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

日頃の通院頻度について聞いたところ、「月に1回程度」が49.8%、「月に2～3回程度」が21.2%等となっています。

地域区分別では、大きな違いは見受けられません。要介護度別で見ると、要介護1・3・4の人で「月に1回程度」の割合が多くなっています。

経年比較では、「月に1回程度」がやや増えています。

図表 31 日頃の通院頻度



③ かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無

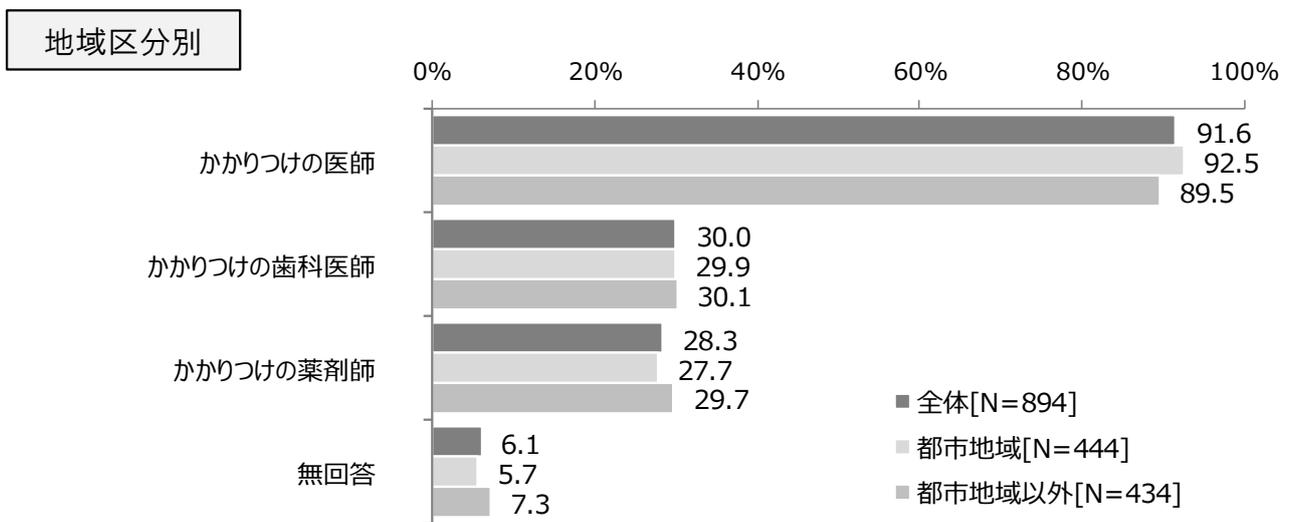
問30 あなたには、日頃から身近に診療、健康相談、薬の説明などを受けることができる、かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師はいますか。(あてはまるものすべてに○)

かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無については、「かかりつけの医師」は91.6%、「かかりつけの歯科医師」は30.0%、「かかりつけの薬剤師」は28.3%の人がいると回答しています。

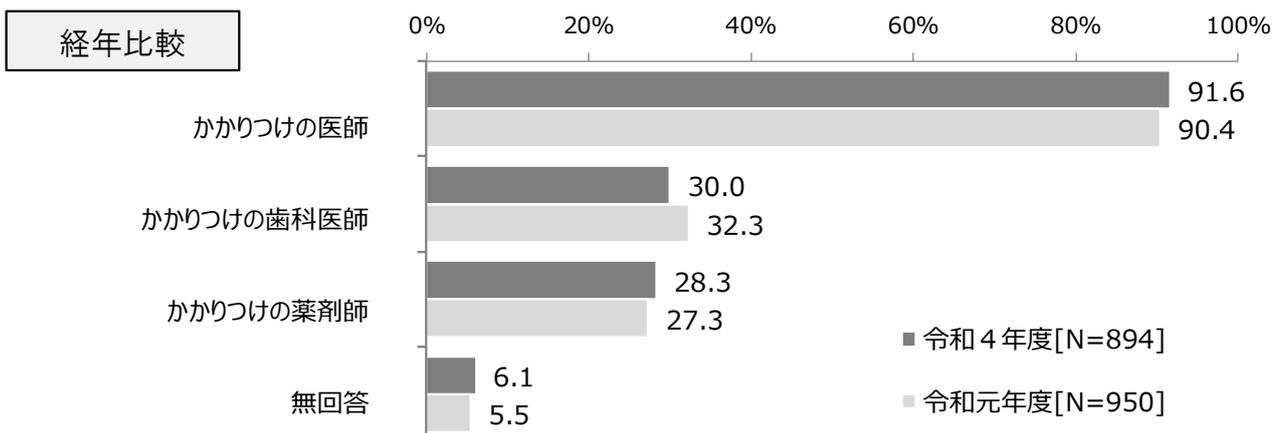
地域区分別で違いは見受けられません。要介護度別では、要支援2・要介護2で「かかりつけの医師」の割合が多くなっています。要介護1・3～5の人で「かかりつけの歯科医師」が少なくなっています。

経年比較では、大きな違いは見受けられません。

図表 32 かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無（複数回答）



要介護度別	全体 [N=894]	要支援1 [N=227]	要支援2 [N=160]	要介護1 [N=134]	要介護2 [N=114]	要介護3 [N=86]	要介護4 [N=66]	要介護5 [N=43]
かかりつけの医師	91.6	89.9	94.8	88.8	96.1	91.7	92.1	86.5
かかりつけの歯科医師	30.0	39.2	31.7	22.7	35.3	21.8	20.4	24.2
かかりつけの薬剤師	28.3	29.1	24.4	25.9	36.3	25.9	25.0	27.7
無回答	6.1	6.5	3.9	9.2	2.7	6.3	6.0	13.5



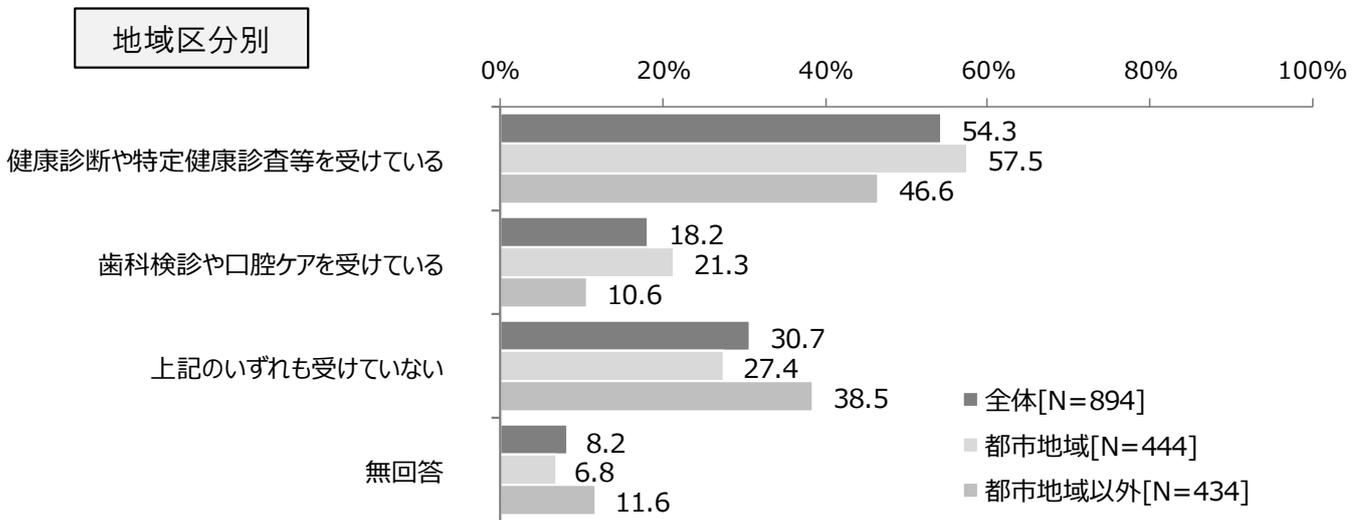
④健康診断の受診状況について

問31 あなたは、定期的(年に1回以上)に健康診断等を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

健康診断の受診状況について、「健康診断や特定健康診査等を受けている」は54.3%、「歯科検診や口腔ケアを受けている」は18.2%の人が回答しています。「いずれも受けていない」は30.7%となっています。

地域区別では都市地域以外は都市地域に比べて「健康診断や特定健康診査等を受けている」「歯科検診や口腔ケアを受けている」の割合が少なくなっています。要介護度別では、要介護3～5で「健康診断や特定健康診査等を受けている」の割合が少なくなっています。要支援2・要介護1・3～5で「歯科検診や口腔ケアを受けている」が少なくなっています。

図表 33 健康診断の受診状況について（複数回答）



要介護度別	全体 [N=894]	要支援1 [N=227]	要支援2 [N=160]	要介護1 [N=134]	要介護2 [N=114]	要介護3 [N=86]	要介護4 [N=66]	要介護5 [N=43]
健康診断や特定健康診査等を受けている	54.3	66.1	56.0	52.6	51.2	43.0	30.0	42.7
歯科検診や口腔ケアを受けている	18.2	25.5	10.6	16.6	21.0	15.2	16.4	11.2
上記のいずれも受けていない	30.7	19.3	31.8	33.1	34.6	44.1	48.8	41.3
無回答	8.2	6.2	8.6	7.9	7.9	4.4	9.4	12.0

(7) リハビリなどについて

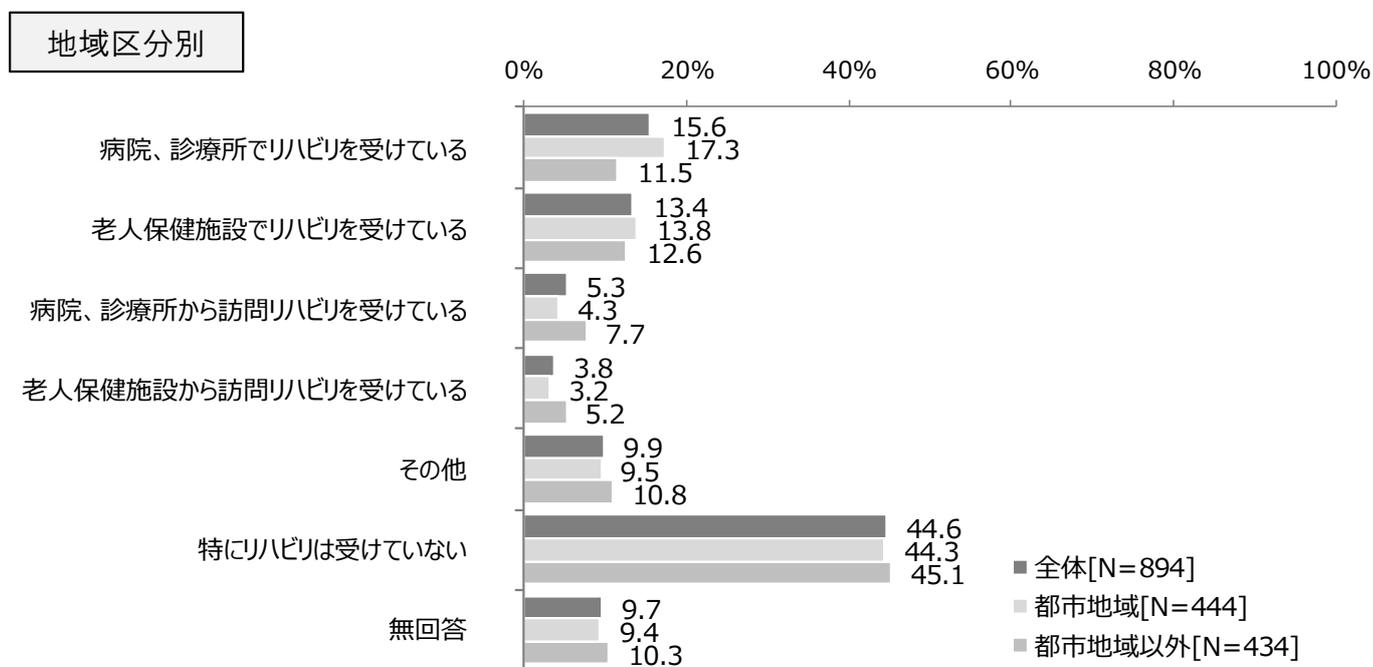
①リハビリによる機能回復などの実施状況について

問32 あなたは現在、リハビリによる機能回復などを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

リハビリによる機能回復などの実施状況について聞いたところ、「特にリハビリは受けていない」が44.6%と多くなっています。「病院、診療所でリハビリを受けている」が15.6%、「老人保健施設でリハビリを受けている」が13.4%等となっています。

地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「病院、診療所でリハビリを受けている」の割合が少なくなっています。要介護度別では、要介護2～4で「老人保健施設でリハビリを受けている」の割合が多くなっています。

図表 34 リハビリによる機能回復などの実施状況について（複数回答）



要介護度別	全体 [N=894]	要支援1 [N=227]	要支援2 [N=160]	要介護1 [N=134]	要介護2 [N=114]	要介護3 [N=86]	要介護4 [N=66]	要介護5 [N=43]
病院、診療所でリハビリを受けている	15.6	15.8	17.4	18.0	14.6	10.1	15.6	12.8
老人保健施設でリハビリを受けている	13.4	8.0	3.4	13.8	21.5	28.7	22.0	10.5
病院、診療所から訪問リハビリを受けている	5.3	1.3	6.4	6.0	6.7	7.6	10.5	8.3
老人保健施設から訪問リハビリを受けている	3.8	2.7	1.4	3.1	5.9	7.9	8.0	4.5
その他	9.9	10.4	12.9	7.4	15.3	9.1	8.3	6.8
特にリハビリは受けていない	44.6	49.8	50.0	44.9	38.0	40.1	29.4	47.0
無回答	9.7	13.4	9.7	8.3	4.0	3.3	6.9	10.2

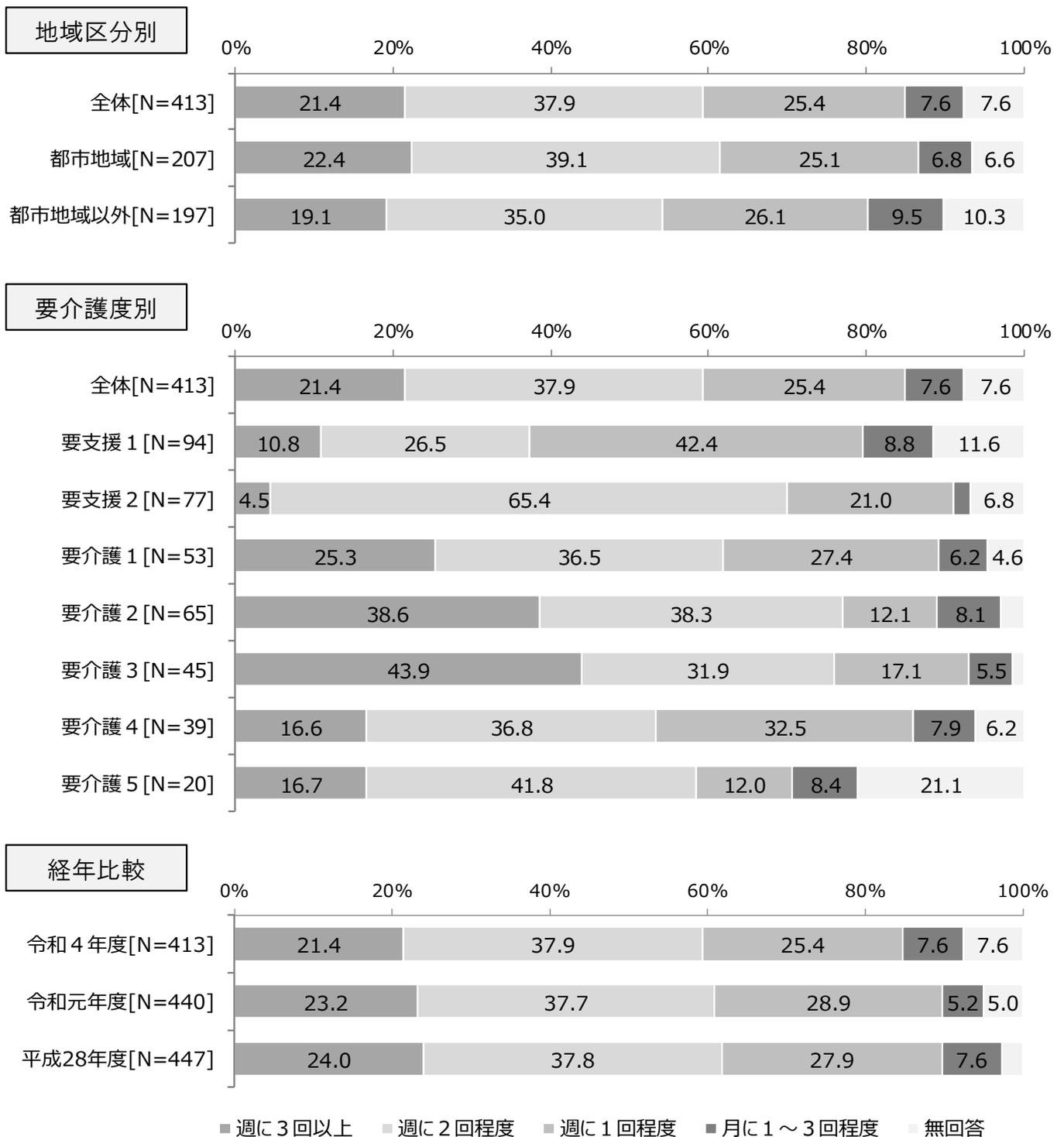
②現在受けているリハビリの頻度

問33 現在受けているリハビリの回数をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

現在受けているリハビリの回数について聞いたところ、「週に2回程度」が37.9%、「週に1回程度」が25.4%、「週に3回以上」が21.4%、「月に1～3回程度」が7.6%となっています。

地域区分別では、都市地域は都市地域以外に比べて「週に3回以上」「週に2回程度」の割合が多くなっています。要介護度別では、要介護2～3で「週に3回以上」の割合が多くなっています。

図表 35 現在受けているリハビリの頻度



③現在受けているリハビリの満足度

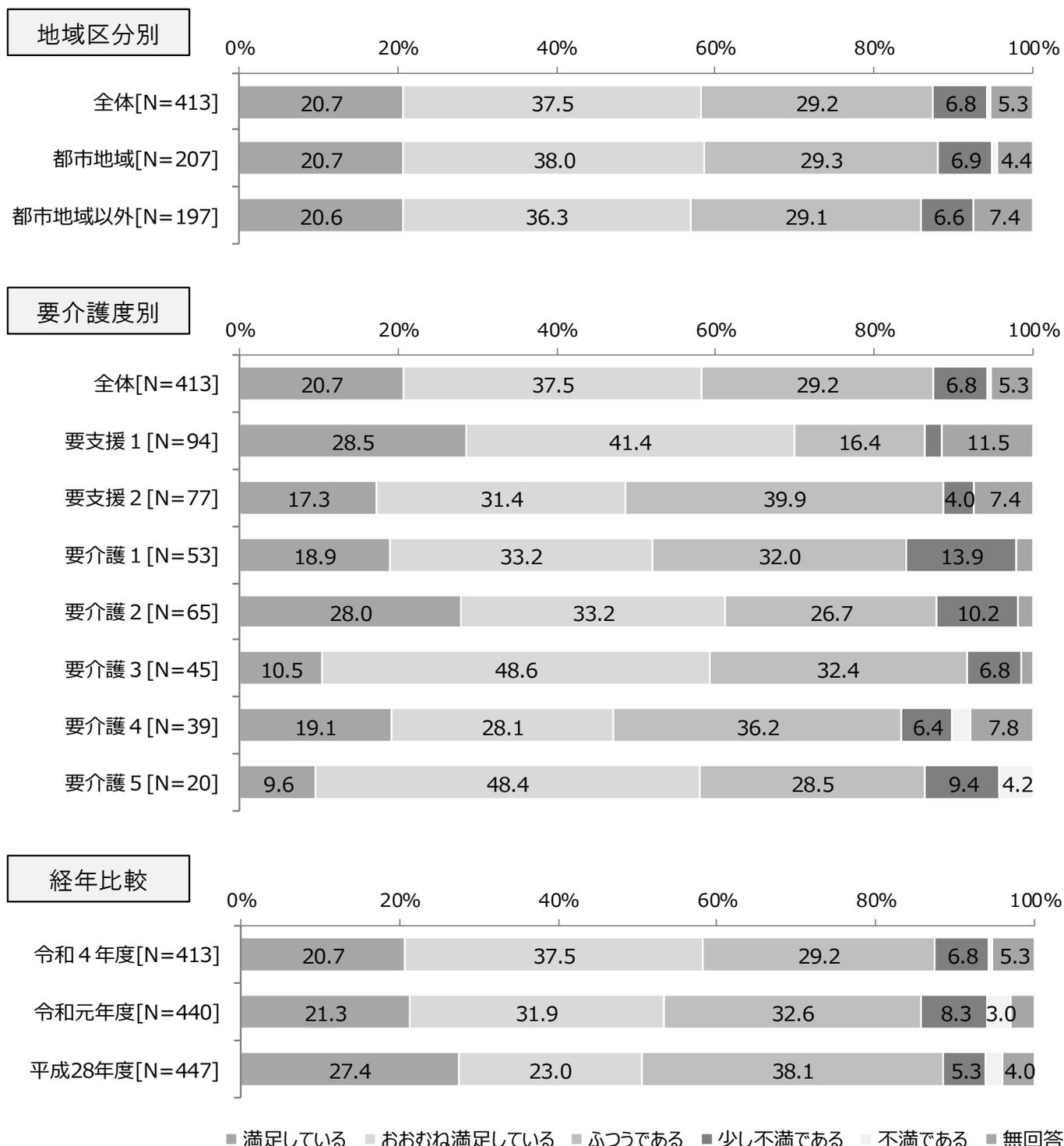
問34 あなたは、現在受けているリハビリに満足していますか。(あてはまるもの1つに○)

現在受けているリハビリの満足度については、「おおむね満足している」が37.5%、「ふつうである」が29.2%、「満足している」が20.7%等となっています。

地域区別では違いは見受けられません。要介護度別では、要支援1・要介護2で「満足している」の割合が多くなっています。

経年比較では、「おおむね満足している」が増えて、「普通である」が減っています。

図表 36 現在受けているリハビリの満足度



(8) 自宅での看取りの考え方などについて

①自宅での看取り・最期を迎えることなどについて

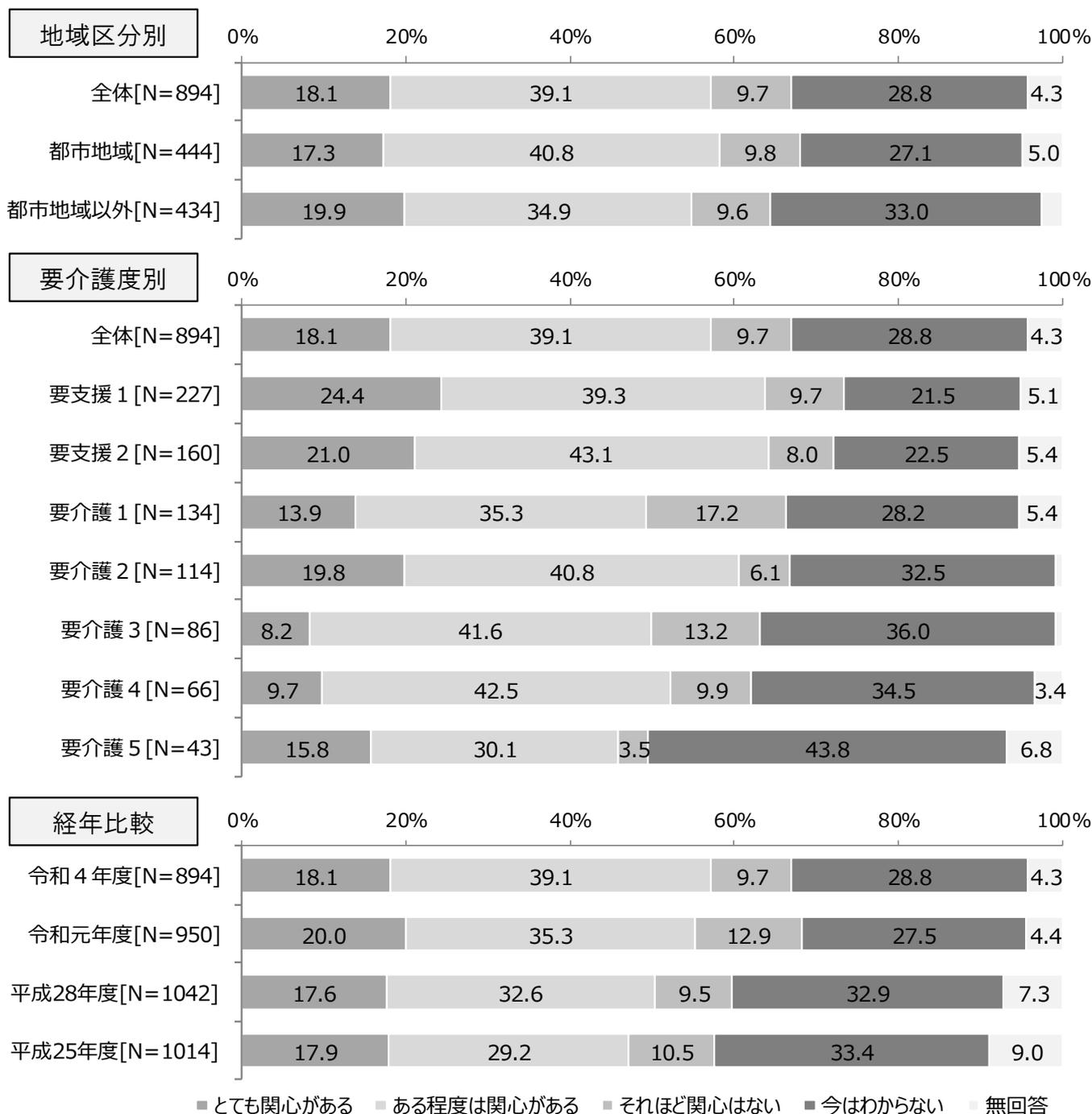
問35 現在、わが国では、多くの人が病院で亡くなっていますが、近年、延命治療の是非や、住み慣れた自宅での看取り・最期を迎えることなどについて、関心が高まっています。あなたは、こうしたことについて、関心がありますか。(最も近いもの1つに○)

自宅での看取り・最期を迎えることなどについての考え方としては、「ある程度は関心がある」が39.1%、「今はわからない」が28.8%、「とても関心がある」が18.1%、「それほど関心はない」が9.7%となっています。

地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「今はわからない」の割合が多くなっています。要介護度別では、要支援1～2で「とても関心がある」「ある程度は関心がある」の合計が多くなっています。

経年比較では、大きな違いは見受けられません。

図表 37 自宅での看取り・最期を迎えることなどについて



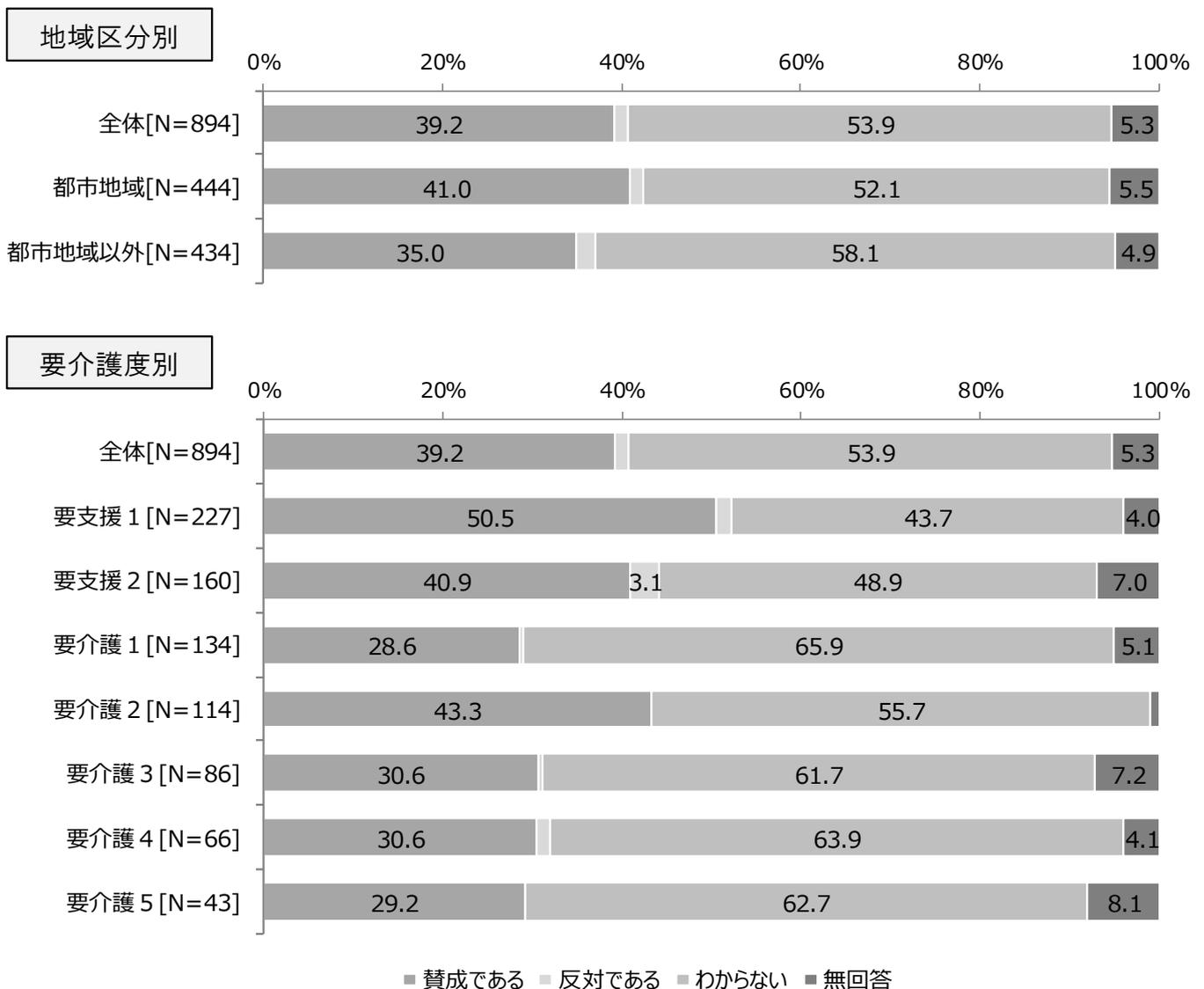
②リビング・ウィルに対する意見

問36 あなたは、自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくこと(リビング・ウィル)について、どう思いますか。(最も近いもの1つに○)

リビング・ウィルについて聞いたところ、「賛成である」が39.2%、「わからない」が53.9%等となっています。

地域区分別では、都市地域は都市地域以外に比べて「賛成である」の割合が多くなっています。要介護度別では、要支援1で約半数が「賛成である」となっています。一方、要介護1・3～5では「わからない」が多くなっています。

図表 38 リビング・ウィルに対する意見



③死期が迫っている状態になった場合に延命治療を望むか

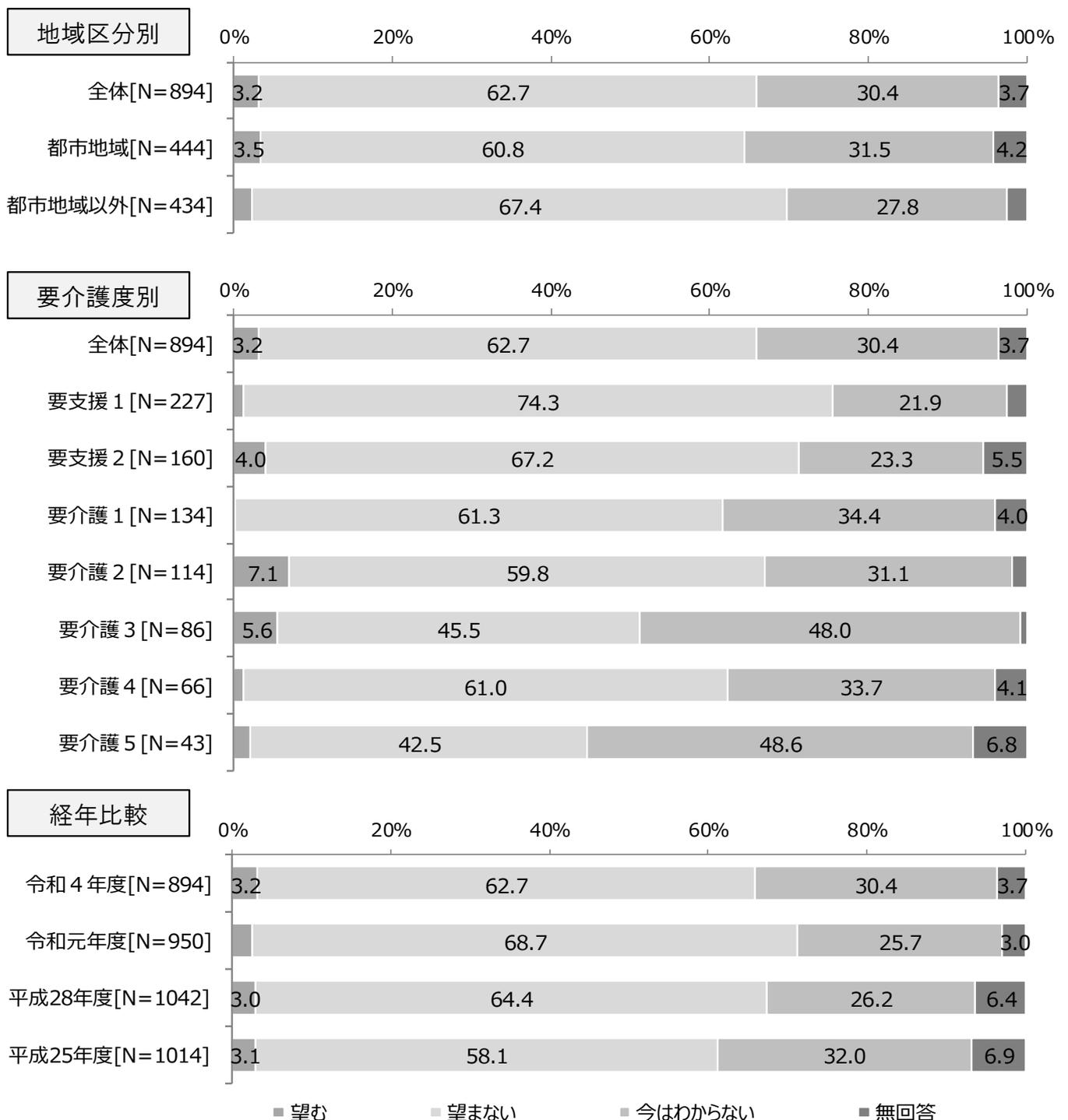
問37 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、延命治療を望みますか。(最も近いもの1つに○)

死期が迫っている状態になった場合に延命治療を望むかどうかについて聞いたところ、「望まない」が62.7%、「今はわからない」が30.4%、「望む」が3.2%となっています。

地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「望まない」の割合が多くなっています。要介護度別では、要介護3・5の人で「今はわからない」の割合が多くなっています。要支援1～2では「望まない」が多くなっています。

経年比較では、令和元年度と比べて、「今はわからない」の割合が増えています。

図表 39 死期が迫っている状態になった場合に延命治療を望むか



④死期が迫っている状態になった場合に最期を迎えたい場所

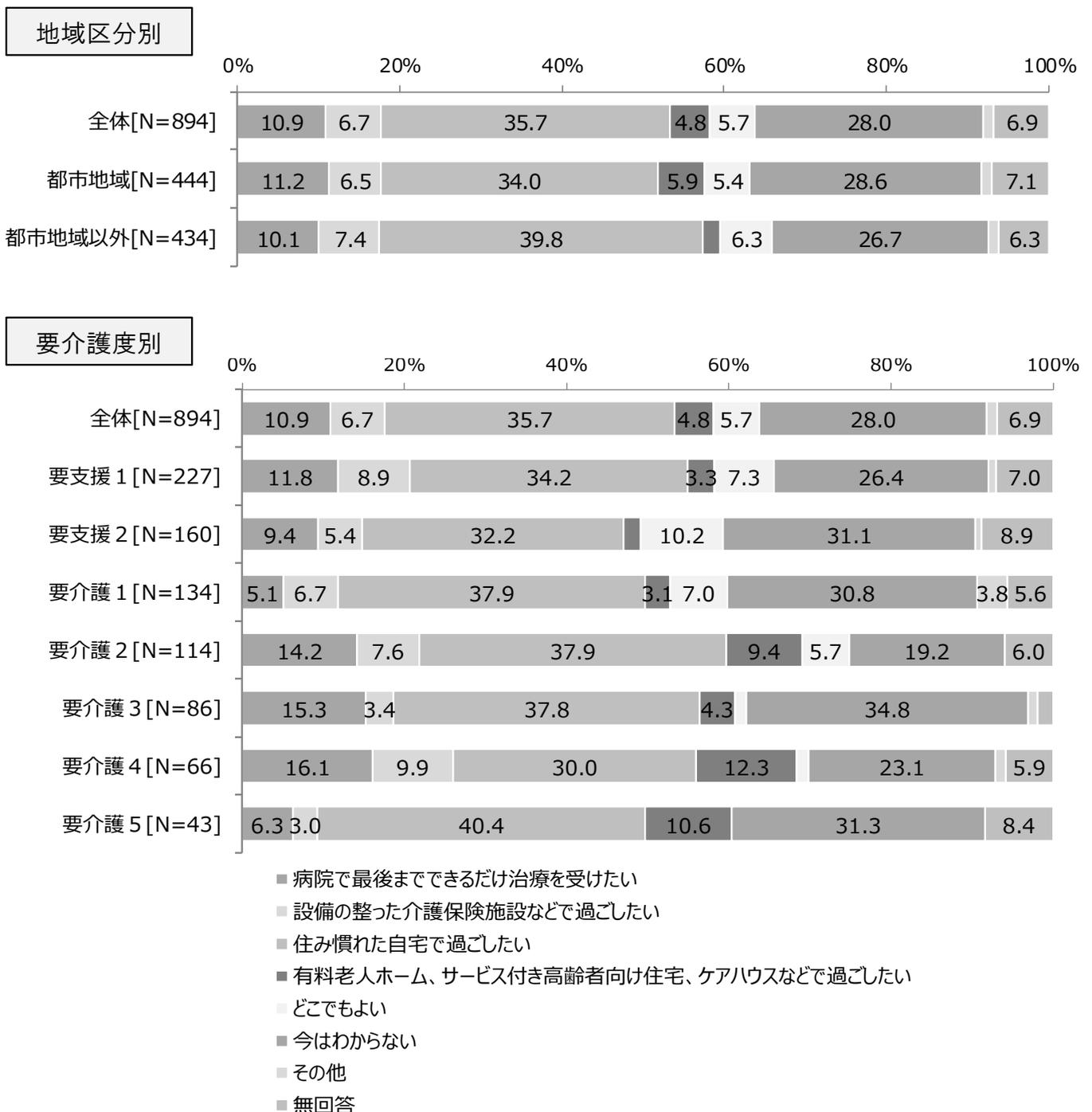
問38 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、最期をどこで迎えたいと思われますか。(最も近いもの1つに○)

死期が迫っている状態になった場合に、最期をどこで迎えたいと思うかを聞いたところ、「住み慣れた自宅で過ごしたい」が35.7%、「今はわからない」が28.0%等となっています。

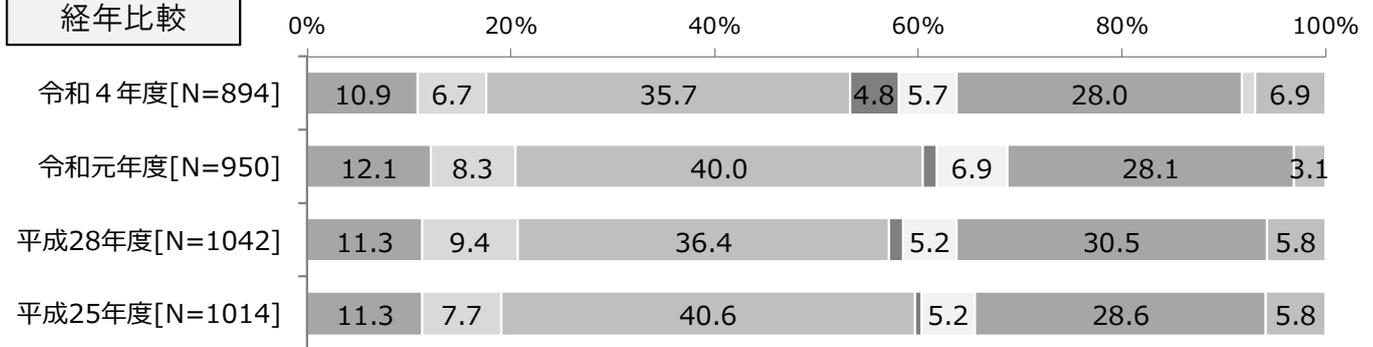
地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「住み慣れた自宅で過ごしたい」が多くなっています。要介護度別では、要介護1～3・5の人で「住み慣れた自宅で過ごしたい」が多くなっています。

経年比較では、「有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、ケアハウスなどで過ごしたい」の割合が増えている。

図表 40 死期が迫っている状態になった場合に最期を迎えたい場所



経年比較



- 病院で最後までできるだけ治療を受けたい
- 設備の整った介護保険施設などで過ごしたい
- 住み慣れた自宅で過ごしたい
- 有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、ケアハウスなどで過ごしたい
- どこでもよい
- 今はわからない
- その他
- 無回答

※令和4年度調査より、選択肢「その他」を追加

(9) 介護保険制度などについて

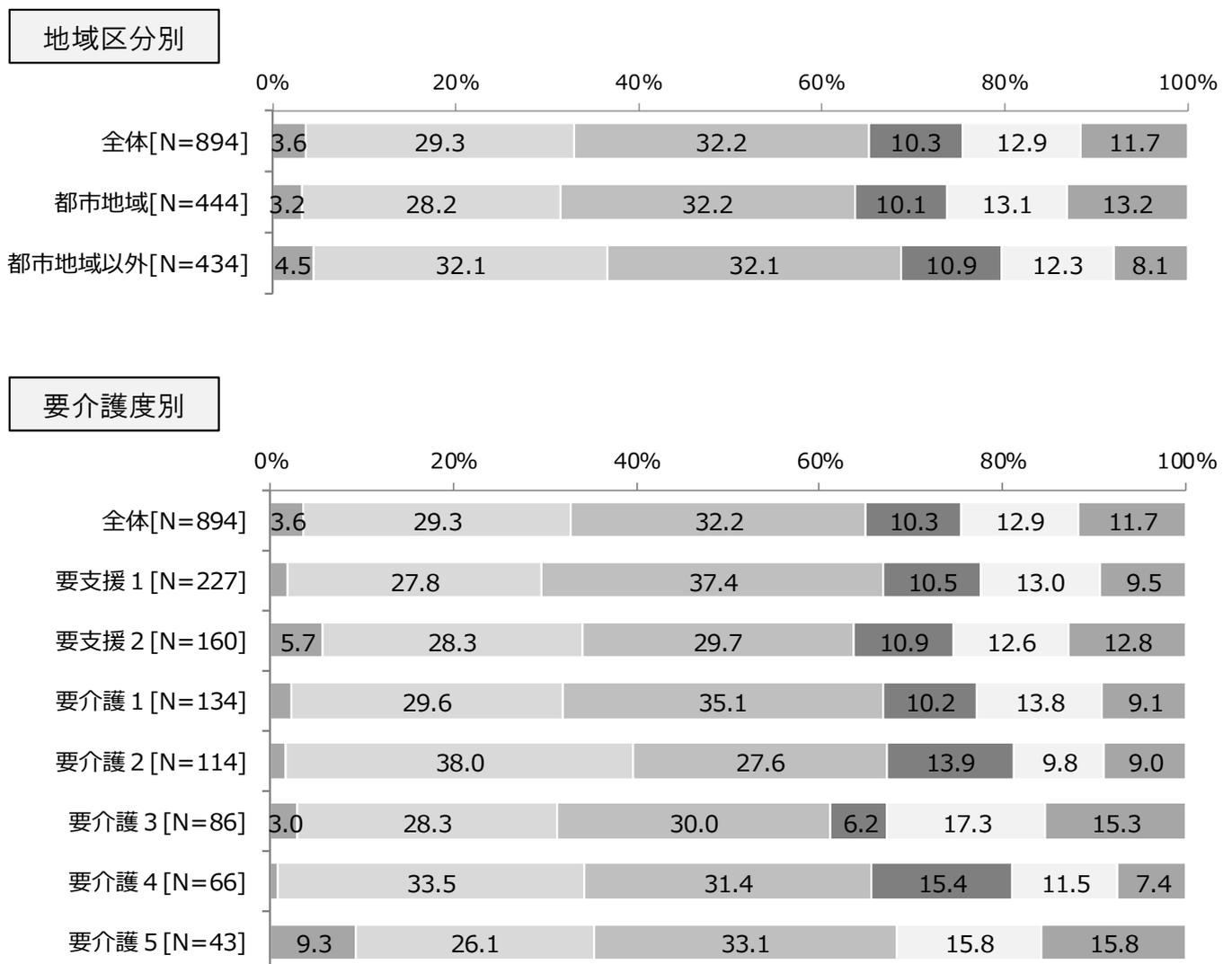
①介護保険のサービスと介護保険料の負担について

問39 今後、さらに高齢化が進み、介護保険制度を支えるための負担が増えていくことが予想されます。あなたは、介護保険のサービスと介護保険料の負担について、どのように考えますか。(あてはまるもの1つに○)

介護保険のサービスと介護保険料の負担について聞いたところ、「さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない」が32.2%、「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」が29.3%等となっています。

要介護度別では、要介護2・4で「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」の割合が多くなっています。

図表 41 介護保険のサービスと介護保険料の負担について



- 今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実するべき
- さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
- さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスの利用が制限されても仕方がない
- サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くするべき
- その他
- 無回答

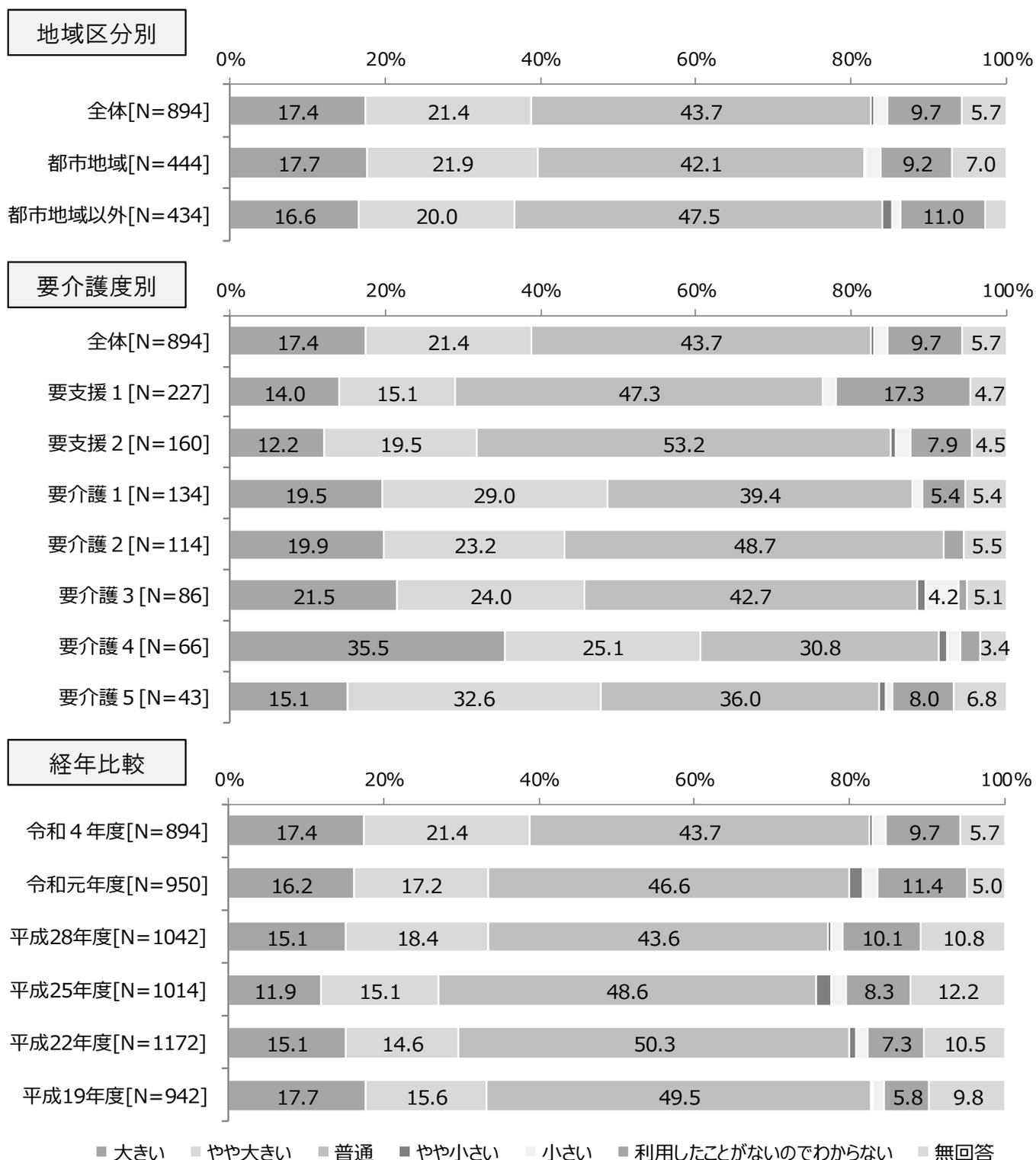
②介護保険のサービス利用時の利用料の負担感

問40 介護保険のサービスを利用する時に支払う利用者の負担割合(1～3割負担)についておたずねします。あなたにとって利用料の負担感はどうですか。(あてはまるもの1つに○)

介護保険のサービス利用時の利用料の負担感について聞いたところ、「普通」が43.7%と多くなっています。地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「普通」が多くなっています。要介護度別では、要介護4で「大きい」が多くなっています。

経年比較では、「大きい」「やや大きい」が増えています。

図表 42 介護保険のサービス利用時の利用料の負担感



③ 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」の認知状況

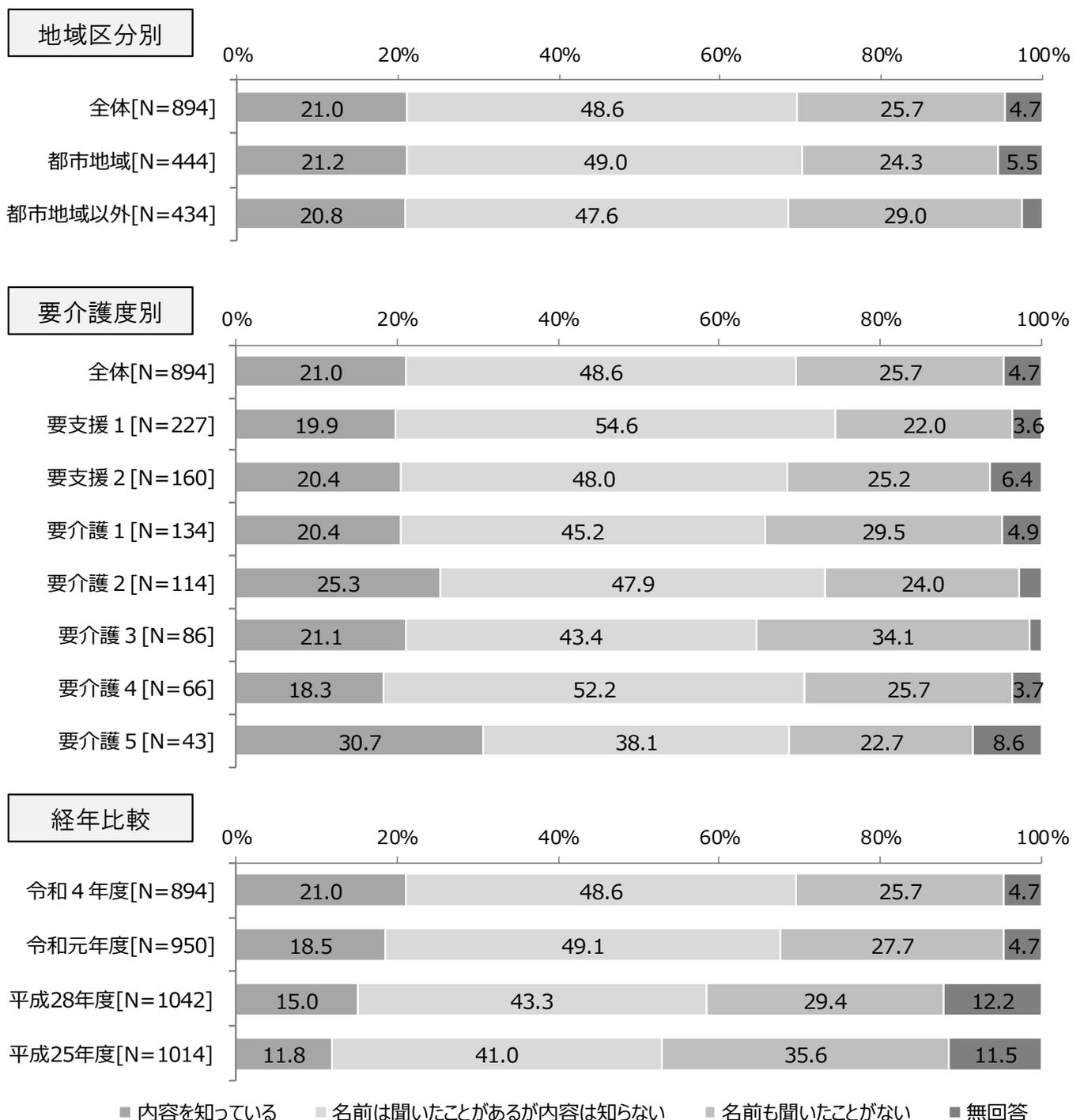
問41 あなたは、判断能力が十分でない高齢者等を対象にした「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」があることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」を知っているかどうかを聞いたところ、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」が48.6%、「名前も聞いたことがない」が25.7%、「内容を知っている」が21.0%となっています。

地域区別で違いは見受けられません。要介護度別では、要介護2・5の人で「内容を知っている」の割合が多くなっています。

経年比較では、「内容を知っている」の割合が増えています。

図表 43 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」の認知状況



(10) 介護者について

①本人の介護をしている人

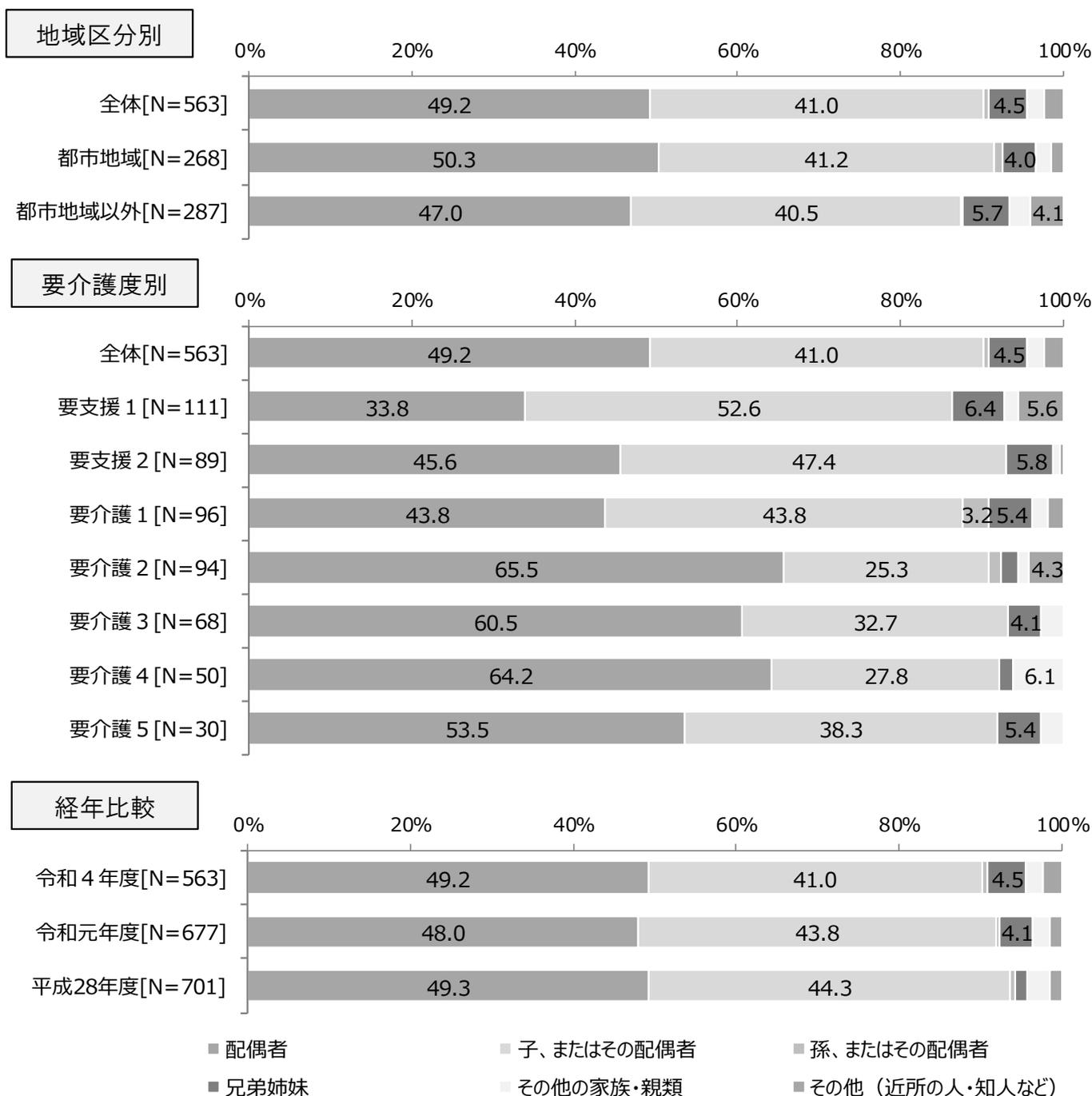
問42 ふだん、ご本人の介護やお世話をしているのはどなたですか。ご本人から見た続柄でご回答ください。
なお、ホームヘルパーや家政婦等は除きます。(おもに介護やお世話をしている方おひとりに○)

本人の介護や世話をしている人については、「配偶者」が49.2%、「子、またはその配偶者」が41.0%と多くなっています。

地域区分別では都市地域は都市地域に比べて「配偶者」の割合が多くなっています。要介護度別では、要介護2～5の人で「配偶者」が多く、要支援1・2の人で「子、またはその配偶者」の割合が多くなっています。

経年比較では、大きな違いは見受けられません。

図表 44 本人の介護をしている人



②おもな介護者の年齢

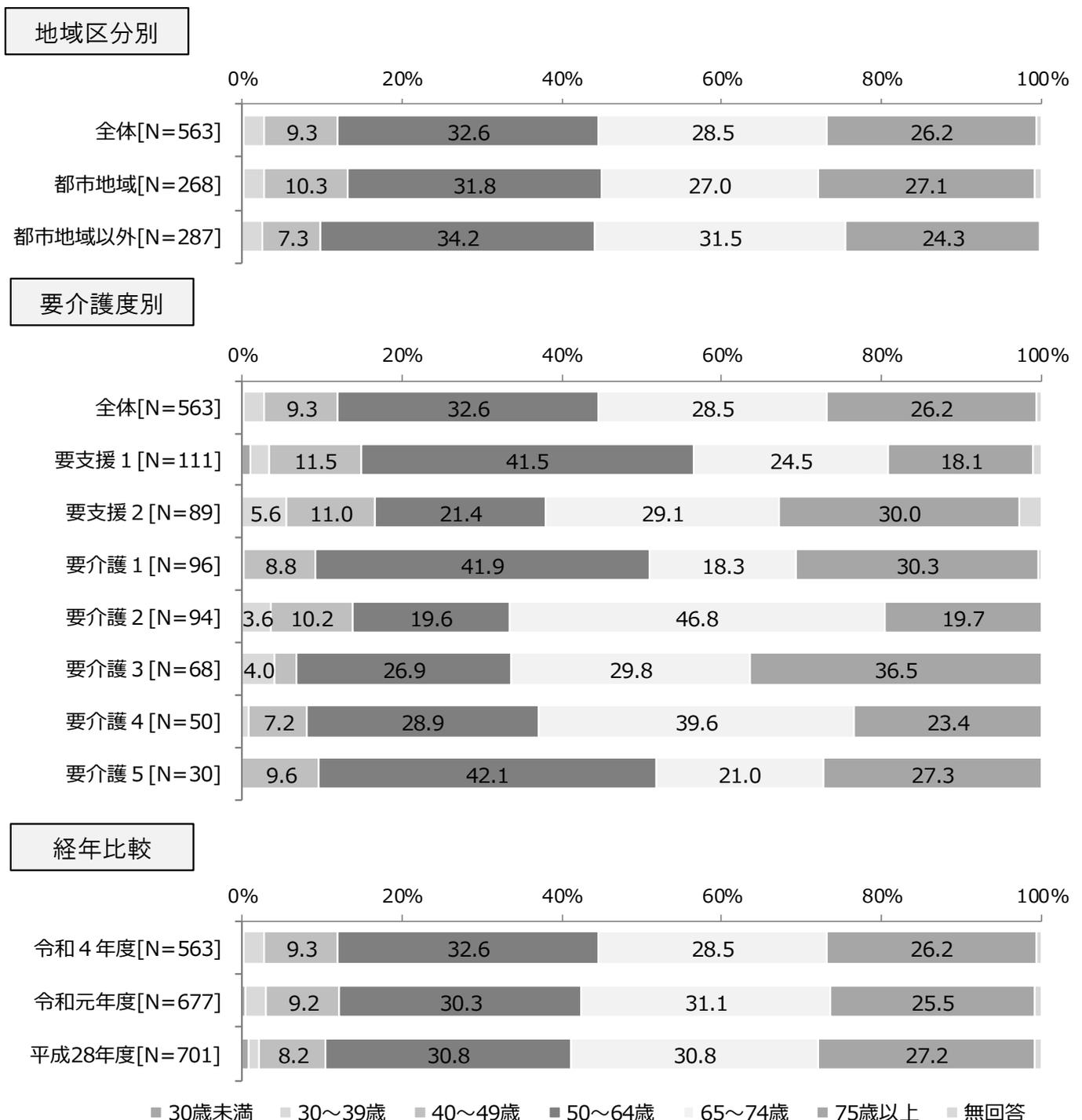
問43 あなた(おもな介護者)の年齢をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

おもな介護者の年齢について聞いたところ、「50～64歳」が32.6%、「65～74歳」が28.5%、「75歳以上」が26.2%等となっています。

地域区分別では、大きな違いは見受けられません。要介護度別では、要支援1や要介護1・5で「50～64歳」の割合が多く、要介護2・4で「65～74歳」の割合が多くなっています。

経年比較では、大きな違いは見受けられません。

図表 45 おもな介護者の年齢



③おもな介護者の性別

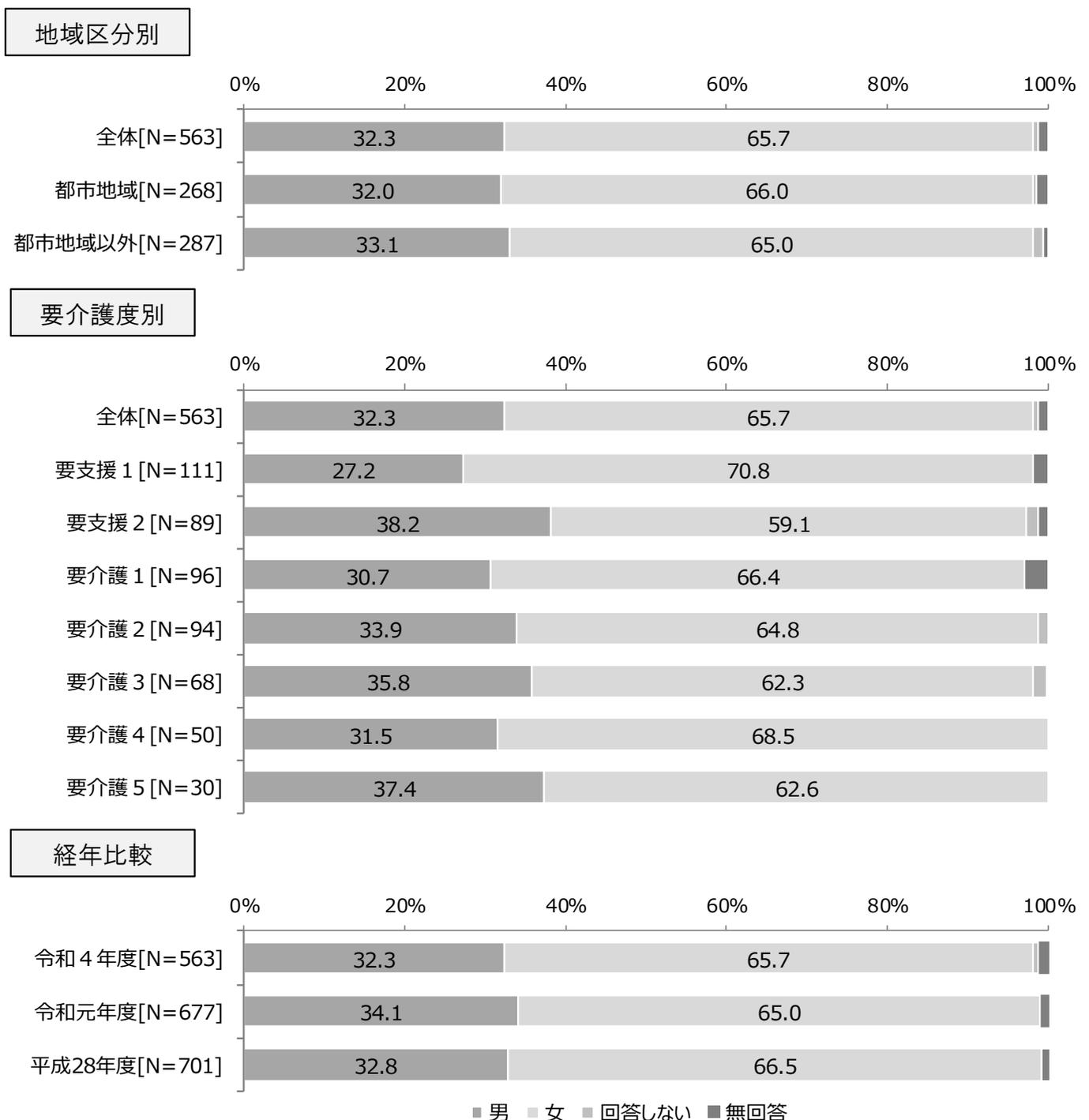
問44 あなた(おもな介護者)の性別をお答えください。(いずれか1つに○)

おもな介護者の性別は、「女」が65.7%、「男」が32.3%となっています。

地域区別で違いは見受けられません。要介護度別では、要支援2・要介護5の人で「女性」の割合が少なくなっています。

経年比較では、大きな違いは見受けられません。

図表 46 おもな介護者の性別



④本人との同居の状況

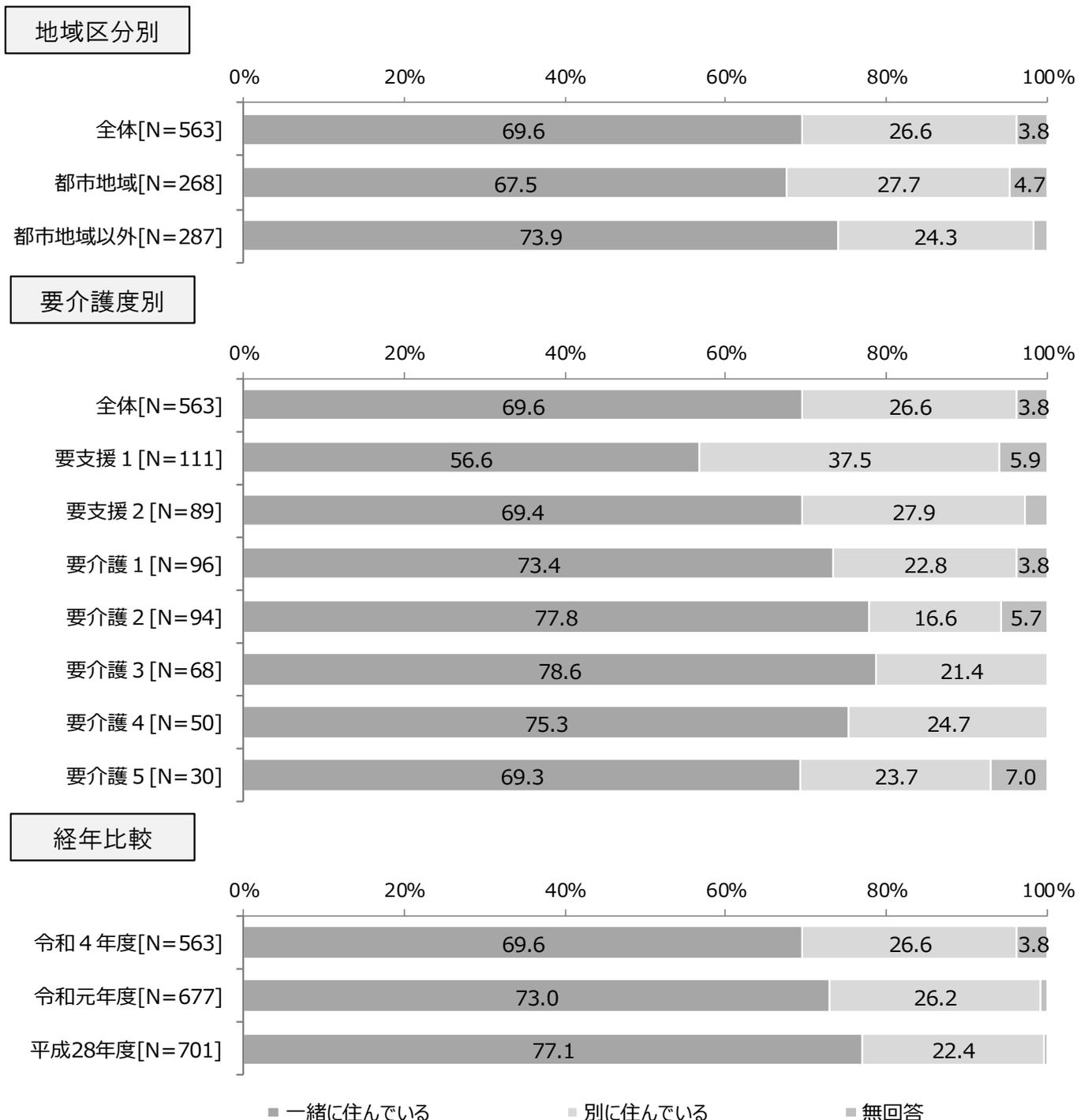
問45 ご本人との同居の状況についてお答えください。(いずれか1つに○)

本人との同居の状況については、「一緒に住んでいる」が69.6%、「別に住んでいる」が26.6%となっています。

地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「一緒に住んでいる」の割合が多くなっています。要介護度別では、要介護2～4の人で「一緒に住んでいる」の割合が多くなっています。

経年比較では、「一緒に住んでいる」が減っています。

図表 47 本人との同居の状況



⑤おもな介護者の健康状態

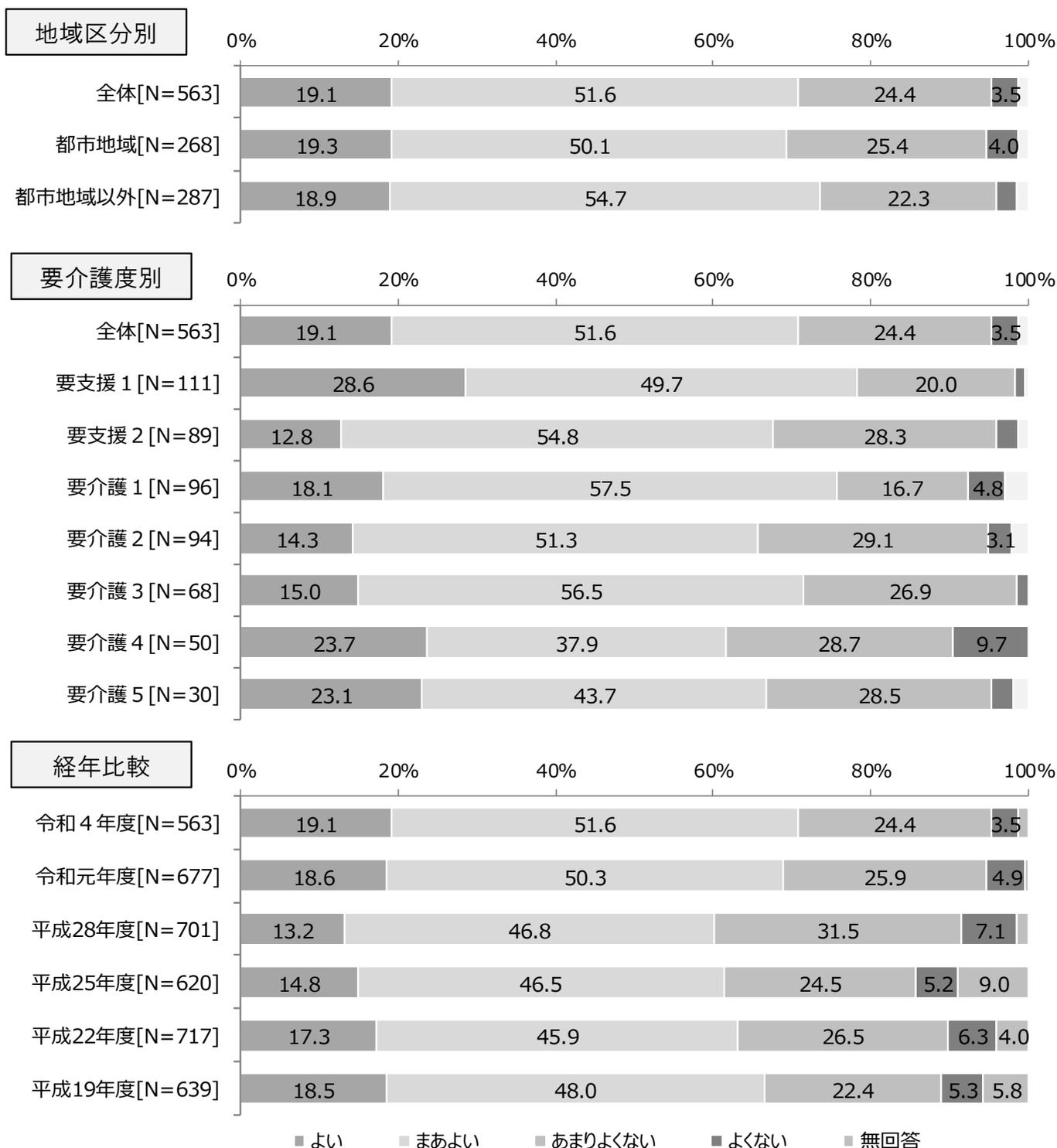
問46 あなた(おもな介護者)の健康状態はいかがですか。(あてはまるもの1つに○)

おもな介護者の健康状態としては、「まあよい」が51.6%、「あまりよくない」が24.4%、「よい」が19.1%、「よくない」が3.5%となっています。

地域区別では、都市地域以外は都市地域に比べて「まあよい」の割合が多くなっています。要介護度別では、「あまりよくない」の割合が要支援1や要介護1の人で少なく、要支援2や要介護2・4～5の人で多くなっています。

経年比較では、「よい」「まあよい」の合計がやや増えています。

図表 48 おもな介護者の健康状態



⑥本人に対する介護年数

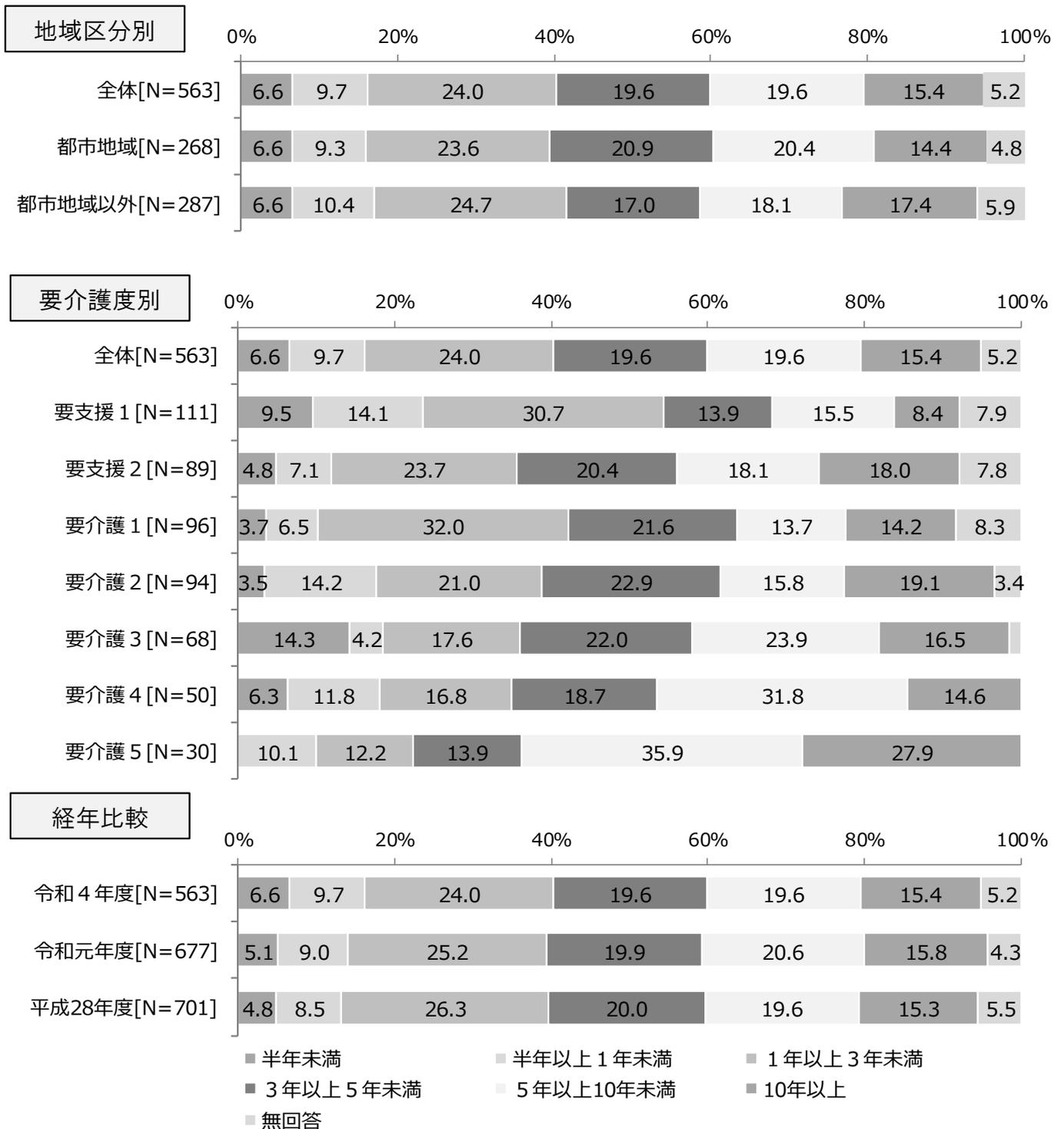
問47 ご本人に対する介護年数についてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

本人に対する介護年数について聞いたところ、「1年以上3年未満」が24.0%、「3年以上5年未満」「5年以上10年未満」がそれぞれ19.6%、「10年以上」が15.4%等となっています。

地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「10年以上」の割合が多くなっています。要介護度別では、要介護2～5の「5年以上」の割合が多くなっています。

経年比較では、大きな違いは見受けられません。

図表 49 本人に対する介護年数



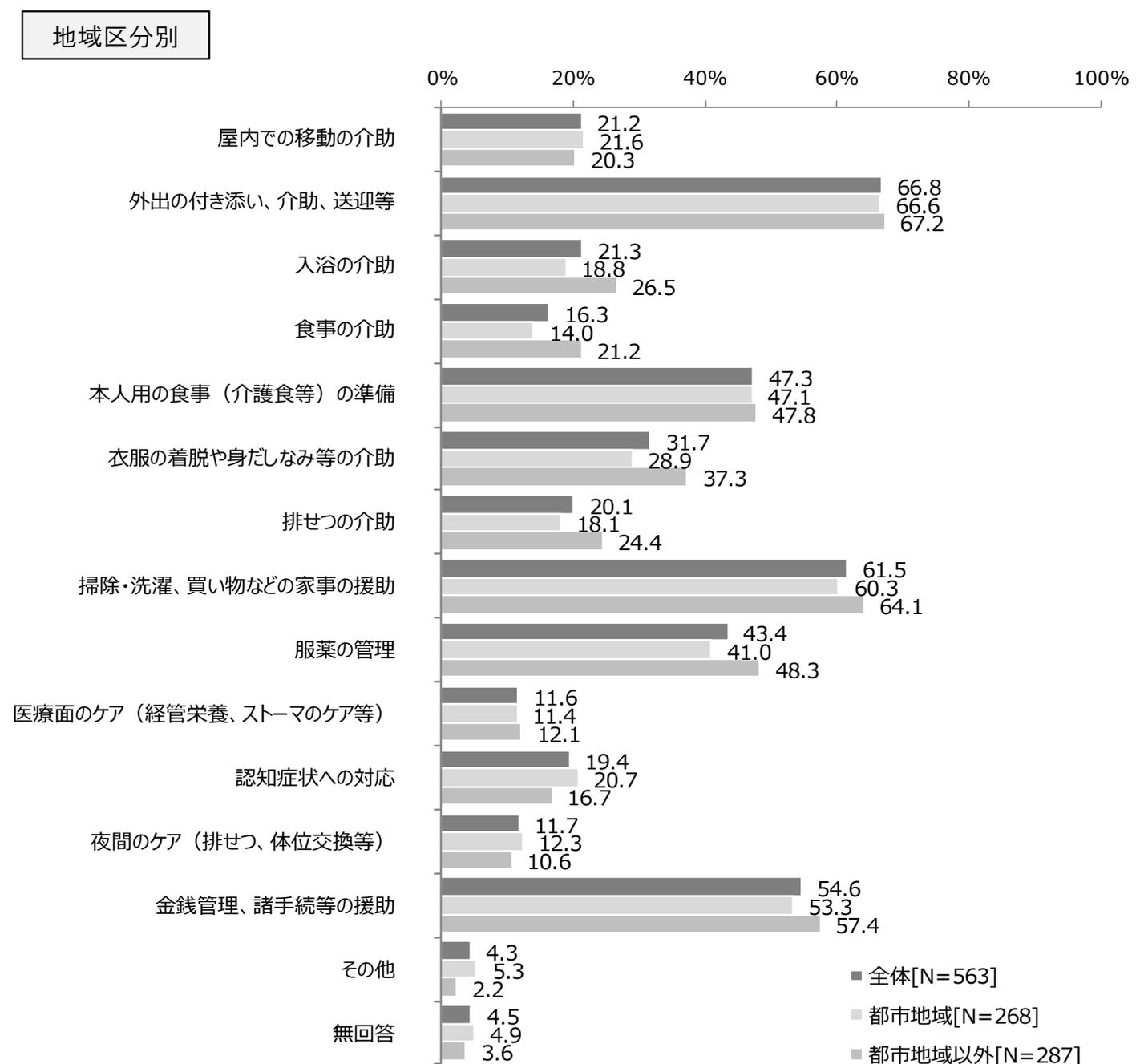
⑦おもな介護者が行っている介護等

問48 あなた(おもな介護者)が行っている介護等についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

おもな介護者が行っている介護等としては、「外出の付き添い、介助、送迎等」が66.8%、「掃除・洗濯、買い物などの家事の援助」が61.5%、「金銭管理、諸手続等の援助」が54.6%等と多くなっています。

地域区別では、都市地域以外は都市地域に比べて「掃除・洗濯、買い物などの家事の援助」「金銭管理、諸手続等の援助」の割合が多くなっています。要介護度別では、要介護1～5で「掃除・洗濯、買い物などの家事の援助」「金銭管理、諸手続等の援助」等の割合が多くなっています。

図表 50 おもな介護者が行っている介護等（複数回答）



要介護度別	全体 [N=563]	要支援1 [N=111]	要支援2 [N=89]	要介護1 [N=96]	要介護2 [N=94]	要介護3 [N=68]	要介護4 [N=50]	要介護5 [N=30]
屋内での移動の介助	21.2	6.9	11.1	10.6	36.2	30.3	39.0	48.4
外出の付き添い、介助、送迎等	66.8	55.4	74.2	72.7	73.1	65.5	65.5	70.2
入浴の介助	21.3	10.1	19.2	12.6	34.1	46.5	24.7	13.2
食事の介助	16.3	6.5	10.0	9.1	9.1	25.5	34.6	60.0
本人用の食事（介護食等）の準備	47.3	21.5	36.7	48.9	56.7	66.7	72.5	72.2
衣服の着脱や身だしなみ等の介助	31.7	9.8	21.6	15.1	46.5	52.3	57.3	72.4
排せつの介助	20.1	4.0	4.3	6.9	22.6	38.9	50.3	68.4
掃除・洗濯、買い物などの家事の援助	61.5	46.0	61.1	67.8	68.5	73.8	69.9	63.3
服薬の管理	43.4	16.2	23.4	49.9	57.5	56.2	63.7	80.5
医療面のケア（経管栄養、ストーマのケア等）	11.6	5.6	6.6	8.8	7.6	11.1	20.1	43.7
認知症状への対応	19.4	5.9	1.3	33.6	24.9	24.2	21.6	40.9
夜間のケア（排せつ、体位交換等）	11.7	1.0	1.4	2.3	13.3	16.0	35.2	54.8
金銭管理、諸手続等の援助	54.6	34.0	41.9	60.1	58.0	65.6	68.2	93.6
その他	4.3	6.1	1.4	1.5	3.5	4.0	4.3	3.1
無回答	4.5	6.5	4.2	6.8	2.1	0.0	7.2	0.0

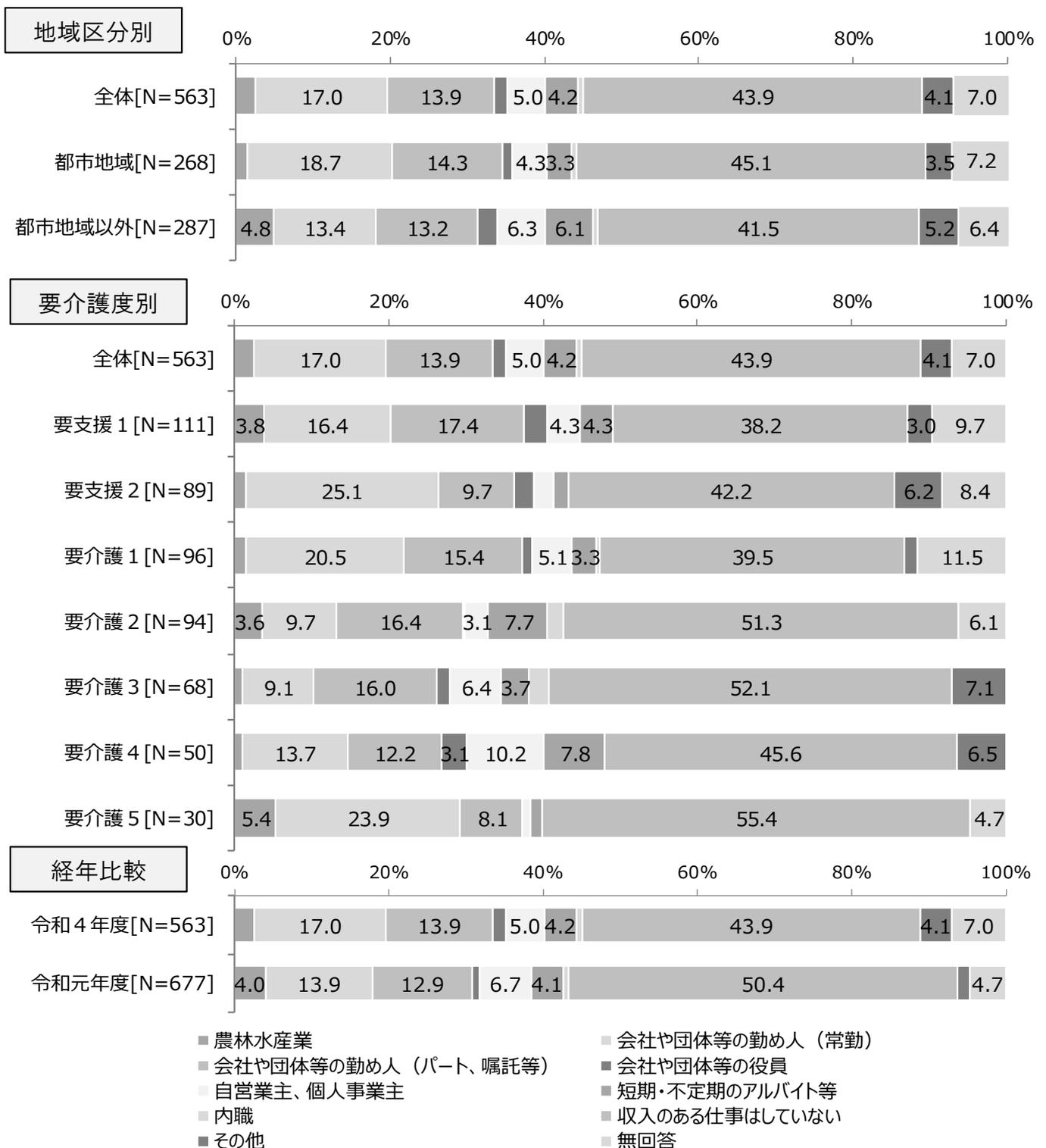
⑧おもな介護者の就業状況

問49 あなた(おもな介護者)は収入のあるお仕事をされていますか。(あてはまるもの1つに○)

おもな介護者の就業状況について聞いたところ、「収入のある仕事はしていない」が43.9%と多くなっています。就業している人では、「会社や団体等の勤め人（常勤）」が17.0%、「会社や団体等の勤め人（パート、嘱託等）」が13.9%等となっています。

地域区別では、都市地域以外は都市地域に比べて「収入のある仕事はしていない」の割合が少なくなっています。要介護度別では、要支援1～2や要介護1で「収入のある仕事はしていない」が少なくなっています。

図表 51 おもな介護者の就業状況



⑨おもな介護者が介護のために仕事を辞めたり転職をした経験の有無

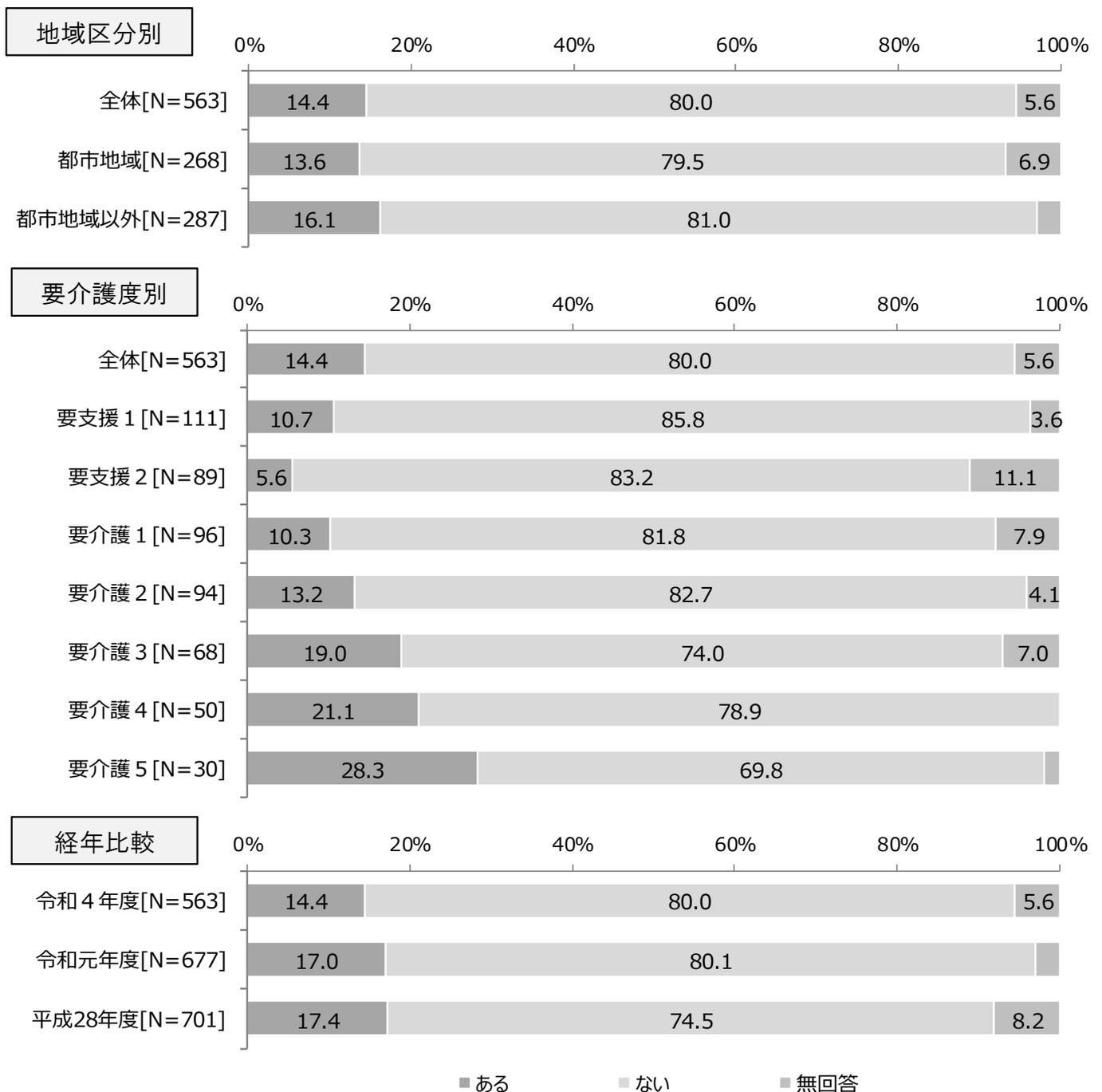
問50 あなた(おもな介護者)は、これまでに、介護のために仕事を辞めたり、転職をした経験がありますか。
(あてはまるもの1つに○)

おもな介護者が、介護のために仕事を辞めたり転職をした経験があるかどうかを聞いたところ、「ない」が80.0%、「ある」が14.4%となっています。

地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「ある」の割合がやや多くなっています。要介護度別では、要介護では介護度が上がるにつれ、「ある」の割合が多くなっています。

経年比較では、「ある」が減っています。

図表 52 おもな介護者が介護のために仕事を辞めたり転職をした経験の有無



⑩おもな介護者が介護をするにあたっての働き方の調整状況

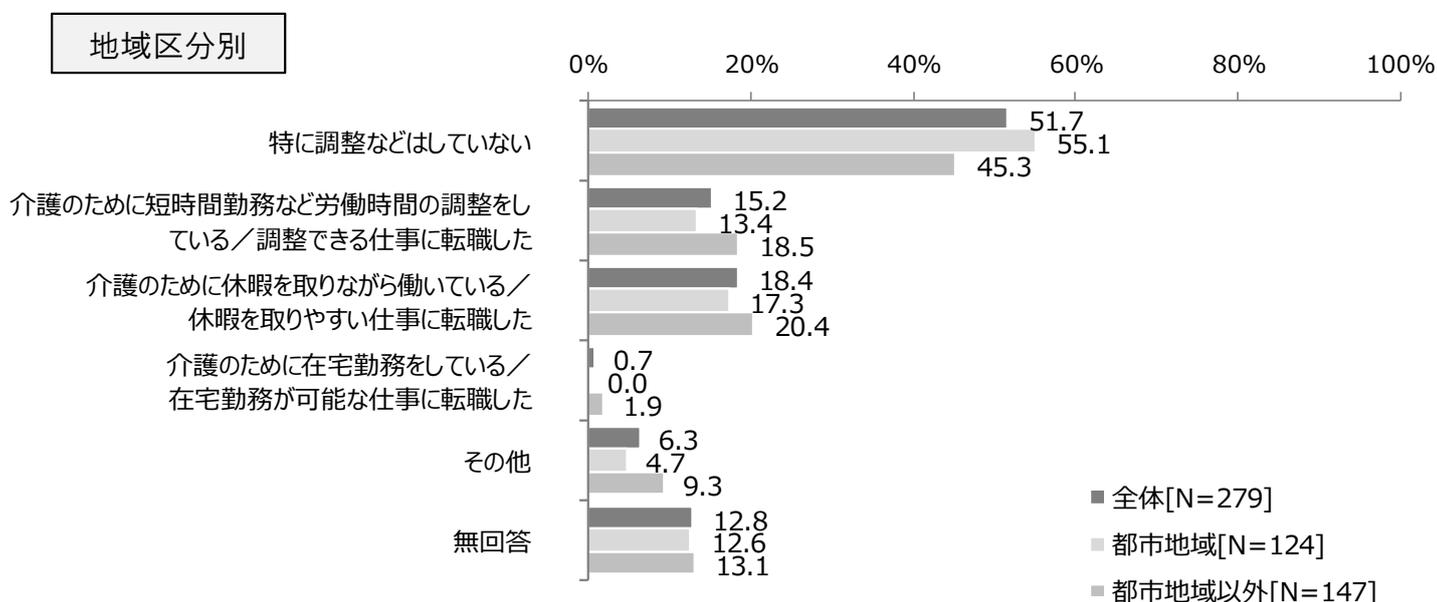
問51 現在お仕事をされている方にお聞きします。

(1)あなた(おもな介護者)は、介護をするにあたり、働き方の調整などを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

就業をしている人に、介護をするにあたっての働き方の調整状況について聞いたところ、「特に調整などはしていない」が51.7%と多くなっています。

地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「特に調整などはしていない」の割合が少なくなっています。要介護度別では、要介護の中では要介護1の人で「特に調整などはしていない」の割合が多くなっています。

図表 53 おもな介護者が介護をするにあたっての働き方の調整状況（複数回答）



要介護度別	全体 [N=279]	要支援1 [N=59]	要支援2 [N=45]	要介護1 [N=49]	要介護2 [N=35]	要介護3 [N=38]	要介護4 [N=23]	要介護5 [N=13]
特に調整などはしていない	51.7	60.8	45.0	71.5	31.4	33.4	41.7	63.5
介護のために短時間勤務など労働時間の調整をしている／調整できる仕事に転職した	15.2	8.0	20.0	11.4	27.8	12.3	11.3	20.4
介護のために休暇を取りながら働いている／休暇を取りやすい仕事に転職した	18.4	14.0	18.2	13.5	25.7	22.0	32.1	18.0
介護のために在宅勤務をしている／在宅勤務が可能な仕事に転職した	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4	0.0	0.0
その他	6.3	11.1	5.9	1.9	11.0	9.2	0.0	0.0
無回答	12.8	9.3	16.3	4.3	12.4	28.9	15.0	7.7

⑪おもな介護者が今後も仕事をしながら介護を続けていけると思うか

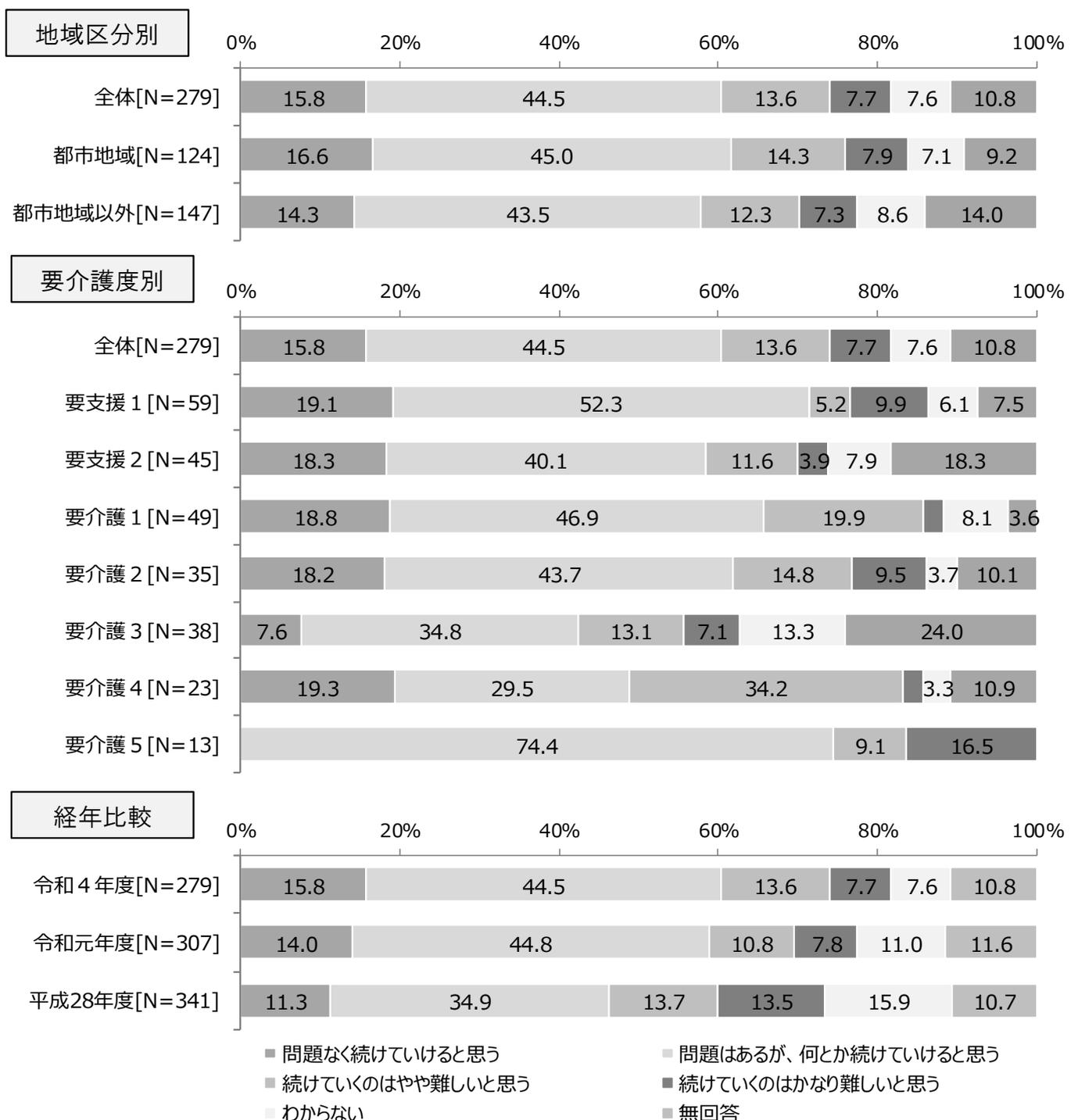
問51 現在お仕事をされている方にお聞きします。

(2)あなた(おもな介護者)は、今後も仕事をしながら介護を続けていけるとおもいますか。(あてはまるもの1つに○)

今後も仕事をしながら介護を続けていけると思うかどうかを聞いたところ、「問題はあるが、何とか続けていけると思う」が44.5%、「問題なく続けていけると思う」が15.8%、「続けていくのはやや難しいと思う」が13.6%等となっています。

地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「問題なく続けていけると思う」「問題はあるが、何とか続けていけると思う」の合計が少なくなっています。

図表 54 おもな介護者が今後も仕事をしながら介護を続けていけると思うか



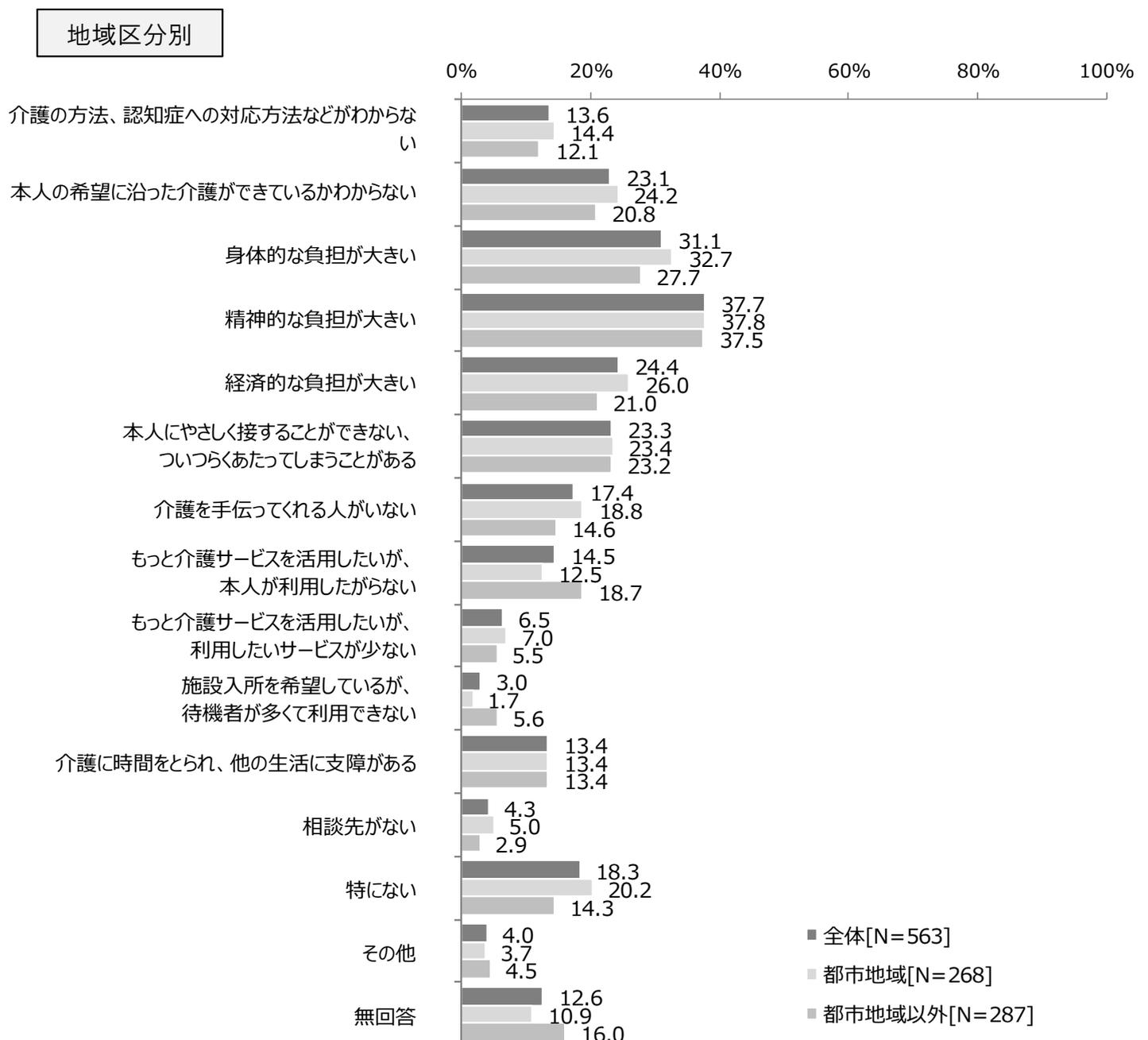
⑫介護で困っていること、感じること

問52 介護で困っていること、感じることなどがありましたらお答えください。(あてはまるものすべてに○)

介護で困っていること、感じることについて聞いたところ、「精神的な負担が大きい」が37.7%と最も多く、次いで、「身体的な負担が大きい」が31.1%、「経済的な負担が大きい」が24.4%、「本人にやさしく接することができない、つつらくあたってしまうことがある」が23.3%、「本人の希望に沿った介護ができていない」23.1%等と続いています。

地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「もっと介護サービスを活用したいが、本人が利用したがない」の割合が多くなっています。要介護度別では、要介護1～5で「精神的な負担が大きい」の割合が、要介護4～5で「経済的な負担が大きい」の割合が多くなっています。

図表 55 介護で困っていること、感じること（複数回答）



要介護度別	全体 [N=563]	要支援1 [N=111]	要支援2 [N=89]	要介護1 [N=96]	要介護2 [N=94]	要介護3 [N=68]	要介護4 [N=50]	要介護5 [N=30]
介護の方法、認知症への対応方法などがわからない	13.6	4.8	9.1	19.4	21.9	12.7	31.0	4.8
本人の希望に沿った介護ができているかわからない	23.1	14.4	22.2	20.8	35.1	20.2	36.4	27.8
身体的な負担が大きい	31.1	13.7	19.9	27.9	32.0	38.4	59.3	63.7
精神的な負担が大きい	37.7	14.8	30.8	44.3	46.3	42.8	53.6	59.8
経済的な負担が大きい	24.4	11.7	15.3	25.9	25.0	21.7	46.8	52.9
本人にやさしく接することができない、ついつらくあたってしまうことがある	23.3	8.9	26.3	28.7	34.0	23.5	30.4	18.8
介護を手伝ってくれる人がいない	17.4	12.5	18.9	11.5	18.2	19.2	31.1	18.4
もっと介護サービスを活用したいが、本人が利用したがるらない	14.5	10.2	12.2	14.6	18.8	19.4	23.1	7.0
もっと介護サービスを活用したいが、利用したいサービスが少ない	6.5	5.4	10.9	6.4	2.4	9.7	10.3	2.3
施設入所を希望しているが、待機者が多くて利用できない	3.0	1.4	1.0	2.9	4.0	2.8	8.0	5.4
介護に時間をとられ、他の生活に支障がある	13.4	4.8	5.1	6.8	16.9	20.0	23.9	45.3
相談先がない	4.3	3.9	9.4	4.0	3.0	4.5	1.2	2.3
特にない	18.3	34.0	20.6	12.4	10.5	14.9	10.2	12.0
その他	4.0	0.2	1.0	5.2	6.1	6.4	0.0	7.4
無回答	12.6	21.5	16.6	14.4	10.4	7.3	1.7	0.0

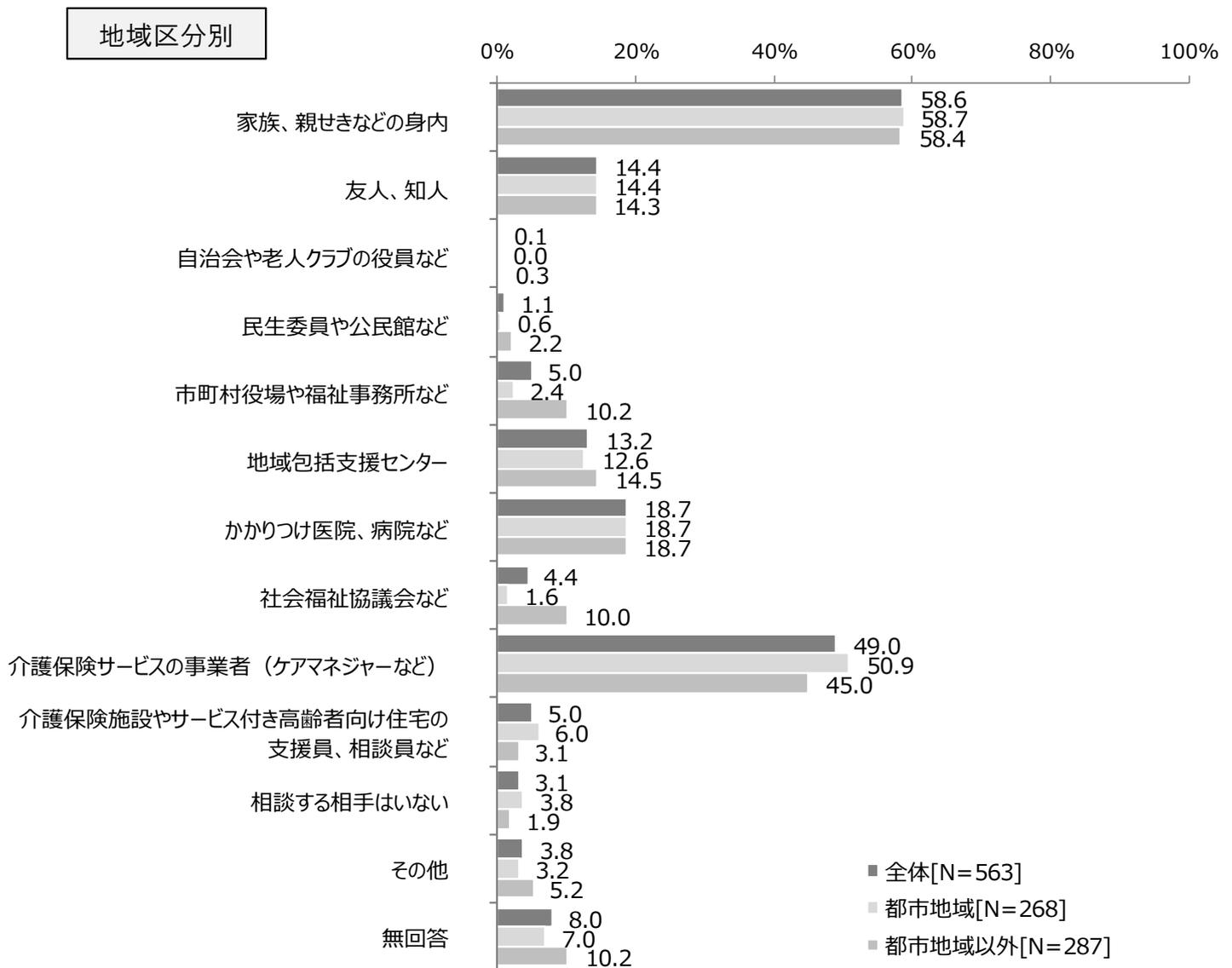
⑬おもな介護者が介護のことで困ったときの相談相手

問53 あなた(おもな介護者)は、介護のことで困ったとき、誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

おもな介護者が介護のことで困ったときの相談相手としては、「家族、親せきなどの身内」が58.6%と最も多く、次いで、「介護保険サービスの事業者（ケアマネジャーなど）」が49.0%、「かかりつけ医院、病院など」が18.7%、「友人・知人」が14.4%、「地域包括支援センター」が13.2%等と続いています。

地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「市町村役場や福祉事務所など」「社会福祉協議会など」等の割合が多くなっています。要介護度別では、要介護2～5の人で「介護保険サービスの事業者（ケアマネジャーなど）」の割合が多くなっています。

図表 56 おもな介護者が介護のことで困ったときの相談相手（複数回答）



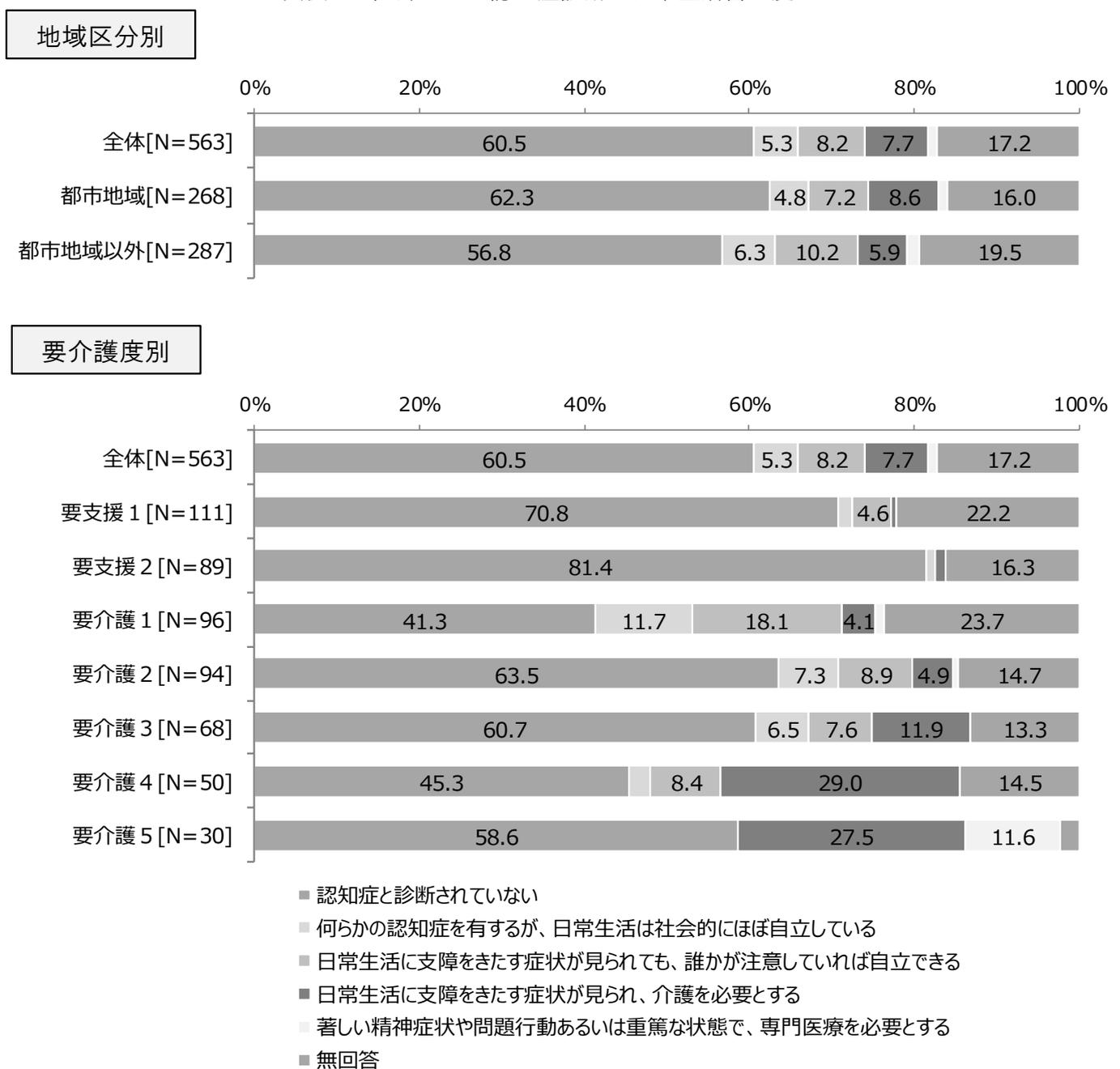
要介護度別	全体 [N=563]	要支援1 [N=111]	要支援2 [N=89]	要介護1 [N=96]	要介護2 [N=94]	要介護3 [N=68]	要介護4 [N=50]	要介護5 [N=30]
家族、親せきなどの身内	58.6	51.2	52.0	62.4	62.2	67.6	51.1	66.2
友人、知人	14.4	17.6	8.1	12.3	19.8	18.3	15.7	9.7
自治会や老人クラブの役員など	0.1	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
民生委員や公民館など	1.1	0.0	1.5	2.1	1.1	1.6	1.8	0.0
市町村役場や福祉事務所など	5.0	5.3	6.7	5.5	3.4	2.7	7.8	2.9
地域包括支援センター	13.2	18.3	18.7	10.3	13.7	8.5	14.6	3.4
かかりつけ医院、病院など	18.7	12.0	18.4	26.3	24.2	11.3	11.8	22.7
社会福祉協議会など	4.4	3.8	3.0	5.6	8.3	0.9	6.6	1.0
介護保険サービスの事業者（ケアマネジャーなど）	49.0	24.4	46.2	45.6	59.7	61.8	72.9	67.5
介護保険施設やサービス付き高齢者向け住宅の支援員、相談員など	5.0	2.4	2.0	1.0	9.2	0.0	15.5	17.9
相談する相手(はいない)	3.1	6.2	2.9	5.4	0.5	2.9	0.0	0.0
その他	3.8	1.5	6.2	0.0	2.7	5.5	1.1	19.1
無回答	8.0	16.2	7.3	9.5	8.3	0.0	2.7	0.0

⑭医師からの認知症診断・日常生活自立度

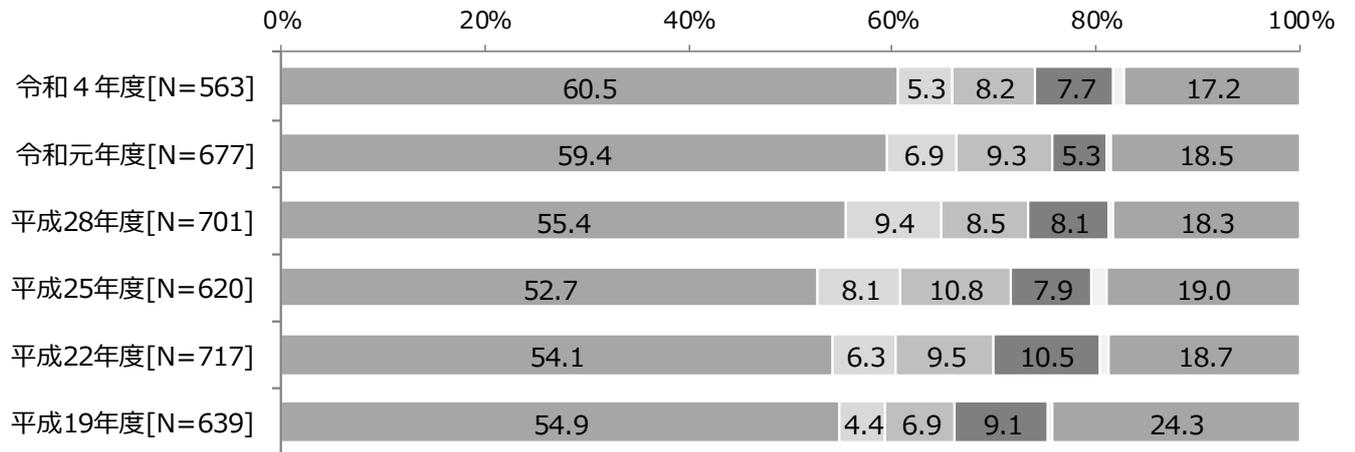
問54 認知症についておたずねします。ご本人は、医師から認知症と診断されていますか。また、診断されている場合は、その日常生活自立度はどの程度ですか。(あてはまるもの1つに○)

おもな介護者が介護をしている高齢者について、医師からの認知症診断・日常生活自立度の状況を聞いたところ、「認知症と診断されていない」が60.5%と最も多くなっています。認知症の診断を受けている人では、「日常生活に支障をきたす症状が見られても、誰かが注意していれば自立できる」が8.2%、「日常生活に支障をきたす症状が見られ、介護を必要とする」が7.7%、「何らかの認知症を有するが、日常生活は社会的にほぼ自立している」が5.3%等となっています。

図表 57 医師からの認知症診断・日常生活自立度



経年比較



- 認知症と診断されていない
- 何らかの認知症を有するが、日常生活は社会的にほぼ自立している
- 日常生活に支障をきたす症状が見られても、誰かが注意していれば自立できる
- 日常生活に支障をきたす症状が見られ、介護を必要とする
- 著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な状態で、専門医療を必要とする
- 無回答

⑮認知症により自身の変化に気づいてから受診に至るまでの期間

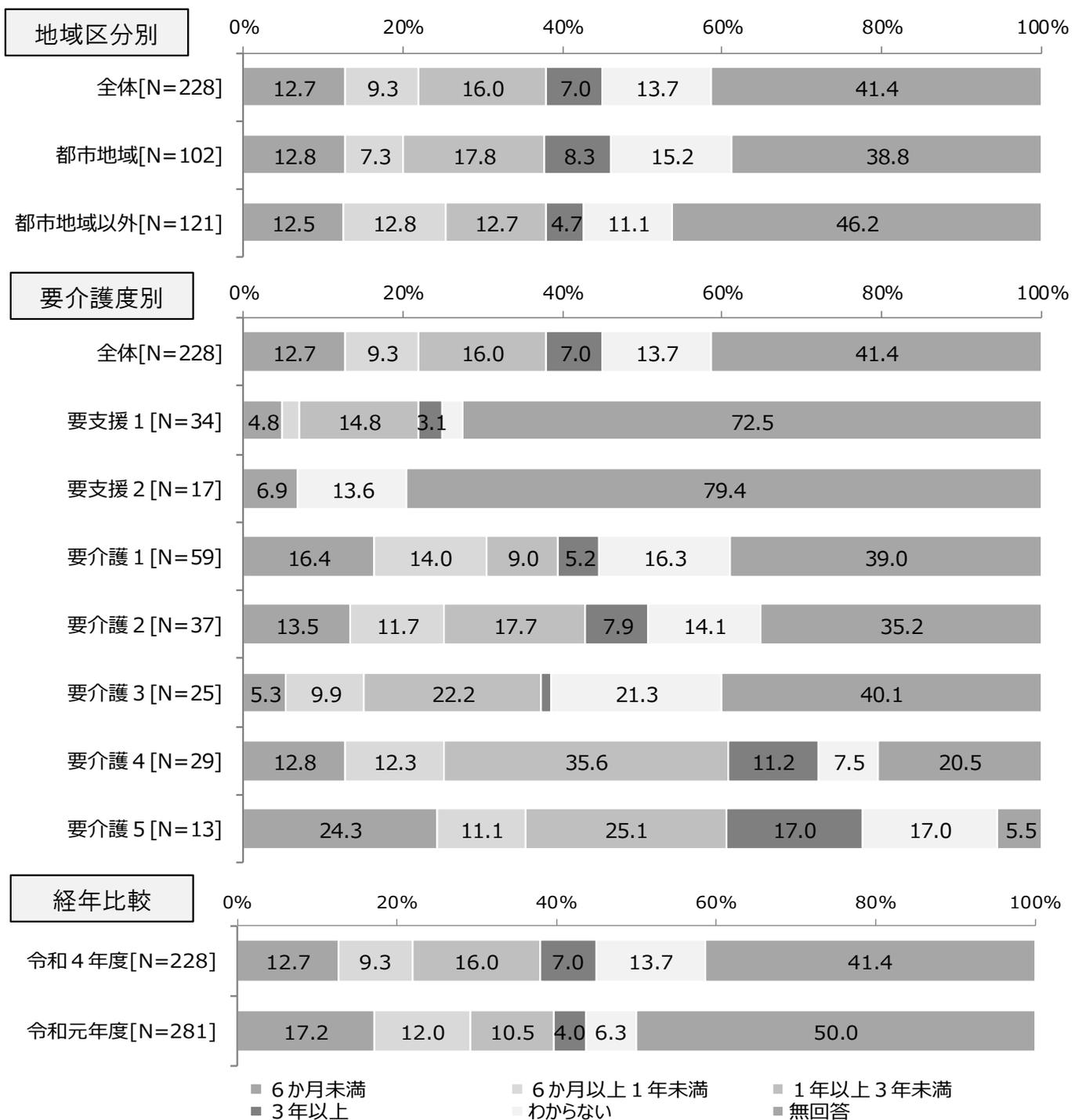
問55 前の問で認知症と診断されていると答えた方におたずねします。ご本人の変化に気づいてから、最初の受診までの期間はどれくらいかかりましたか。(あてはまるもの1つに○)

認知症により自身の変化に気づいてから受診に至るまでの期間については、「1年以上3年未満」が16.0%、「6か月未満」が12.7%、「6か月以上1年未満」が9.3%等と続いています。

地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「1年以上3年未満」「3年以上」の合計の割合が少なく、「6か月以上1年未満」の割合が多くなっています。

経年比較では、「6か月未満」「6か月以上1年未満」の割合が減って、「1年以上3年未満」「3年以上」の割合が増えています。

図表 58 認知症により自身の変化に気づいてから受診に至るまでの期間



⑩受診までに期間を要した理由

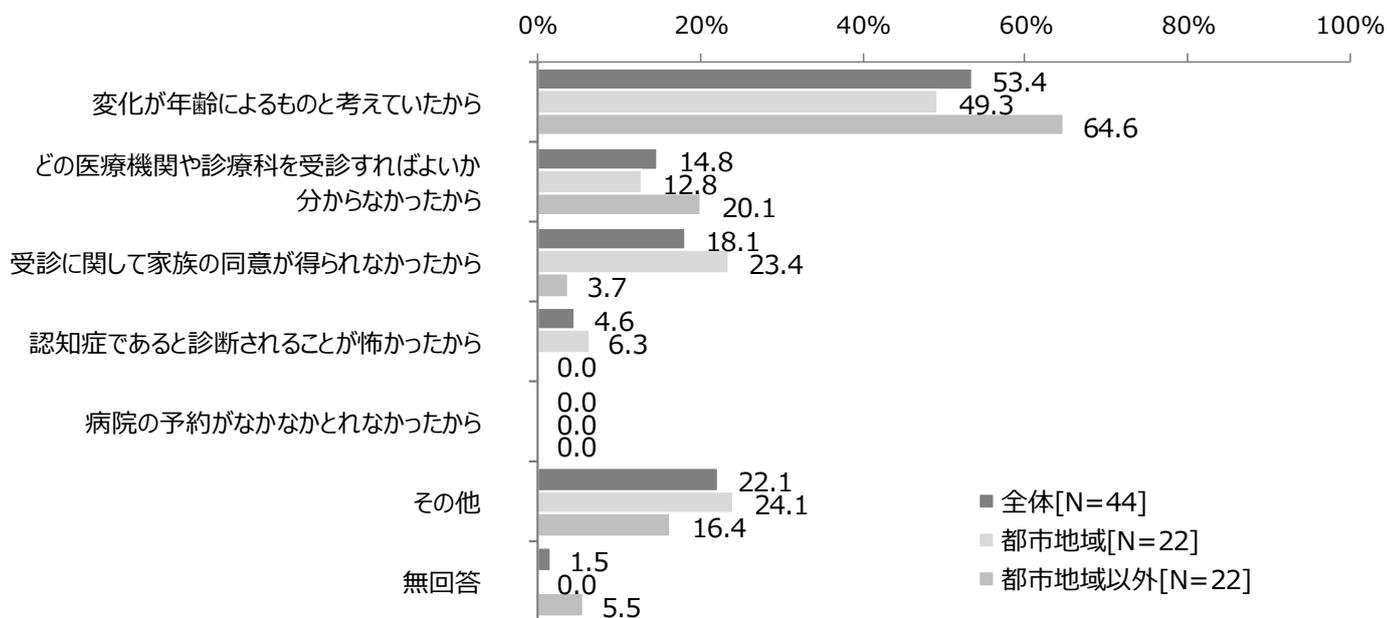
問56 前の問で「3. 1年以上3年未満」「4. 3年以上」と答えた方におたずねします。受診までに期間を要したのは、どのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

受診までに期間を要した理由としては、「変化が年齢によるものと考えていたから」が最も多く53.4%、次いで、「受診に関して家族の同意が得られなかったから」が18.1%、「どの医療機関や診療科を受診すればよいか分からなかったから」が14.8%等と続いています。「その他」も22.1%見られます。

地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「変化が年齢によるものと考えていたから」の割合が多くなっています。

図表 59 受診までに期間を要した理由（複数回答）

地域区分別



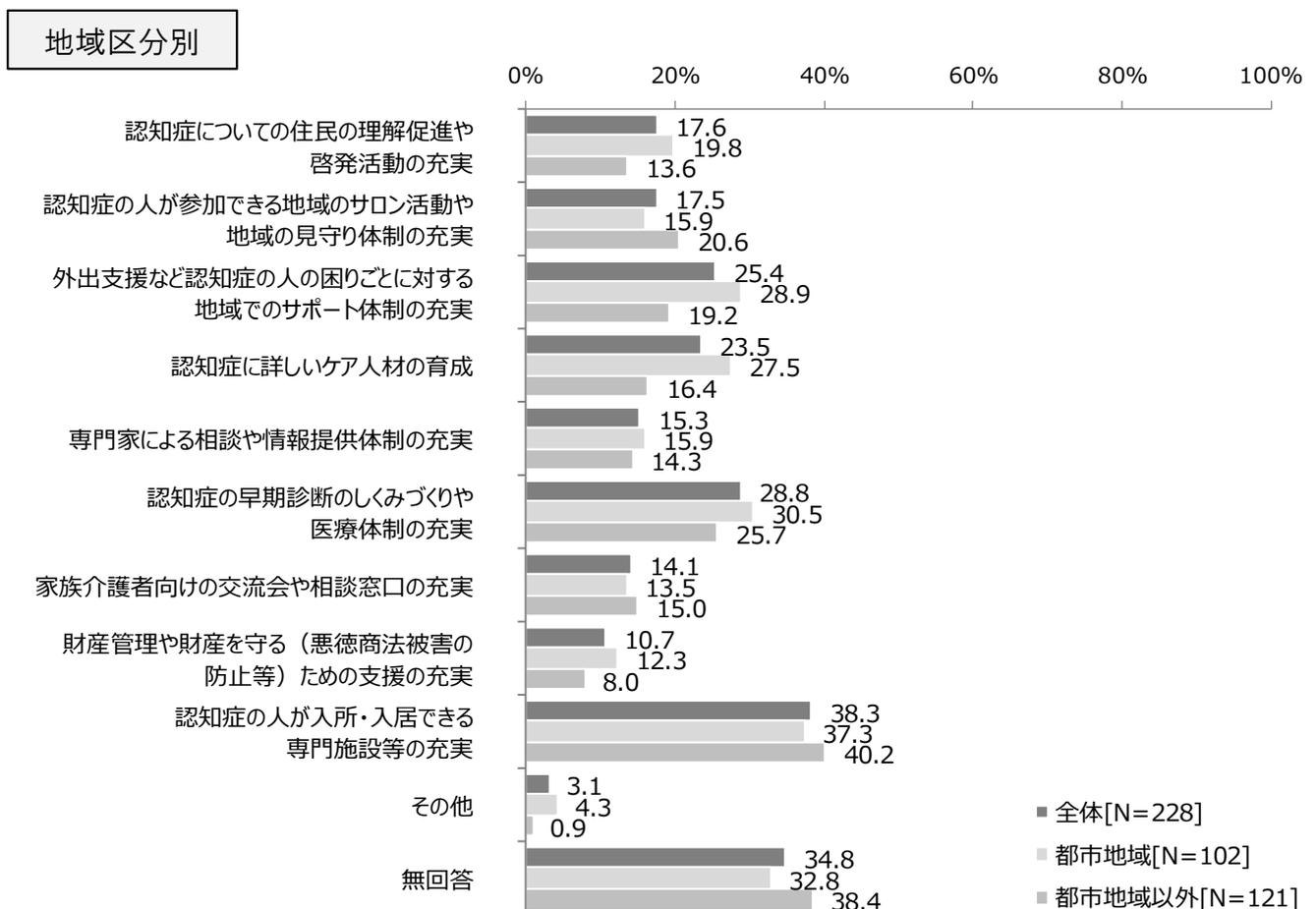
⑰認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援

問57 認知症の高齢者や家族介護者などに、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援について聞いたところ、「認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実」が38.3%と最も多く、次いで、「認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実」が28.8%、「外出支援など認知症の人の困りごとに対する地域でのサポート体制の充実」が25.4%等となっています。

地域区分別では、都市地域は都市地域以外に比べて「外出支援など認知症の人の困りごとに対する地域でのサポート体制の充実」「認知症に詳しいケア人材の育成」の割合が多くなっています。

図表 60 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援（複数回答）



要介護度別	全体 [N=228]	要支援1 [N=34]	要支援2 [N=17]	要介護1 [N=59]	要介護2 [N=37]	要介護3 [N=25]	要介護4 [N=29]	要介護5 [N=13]
認知症についての住民の理解促進や啓発活動の充実	17.6	6.6	5.5	12.6	27.0	14.0	24.1	43.2
認知症の人が参加できる地域のサロン活動や地域の見守り体制の充実	17.5	8.9	16.1	16.8	20.8	20.2	22.8	17.0
外出支援など認知症の人の困りごとに対する地域でのサポート体制の充実	25.4	23.6	6.9	25.9	35.0	25.2	30.0	22.5
認知症に詳しいケア人材の育成	23.5	13.0	15.8	20.3	29.4	29.5	27.5	37.7
専門家による相談や情報提供体制の充実	15.3	13.3	14.2	15.7	21.1	17.7	7.9	27.3
認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実	28.8	18.5	3.9	25.7	41.5	44.5	27.1	59.1
家族介護者向けの交流会や相談窓口の充実	14.1	10.2	0.0	8.1	24.4	22.9	11.1	36.5
財産管理や財産を守る（悪徳商法被害の防止等）ための支援の充実	10.7	9.1	5.5	2.4	15.7	7.0	19.5	39.5
認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実	38.3	27.5	4.1	44.4	34.9	29.2	77.4	60.8
その他	3.1	0.0	0.0	3.5	0.0	0.0	4.9	19.7
無回答	34.8	61.4	69.2	38.1	31.0	14.2	11.8	0.0

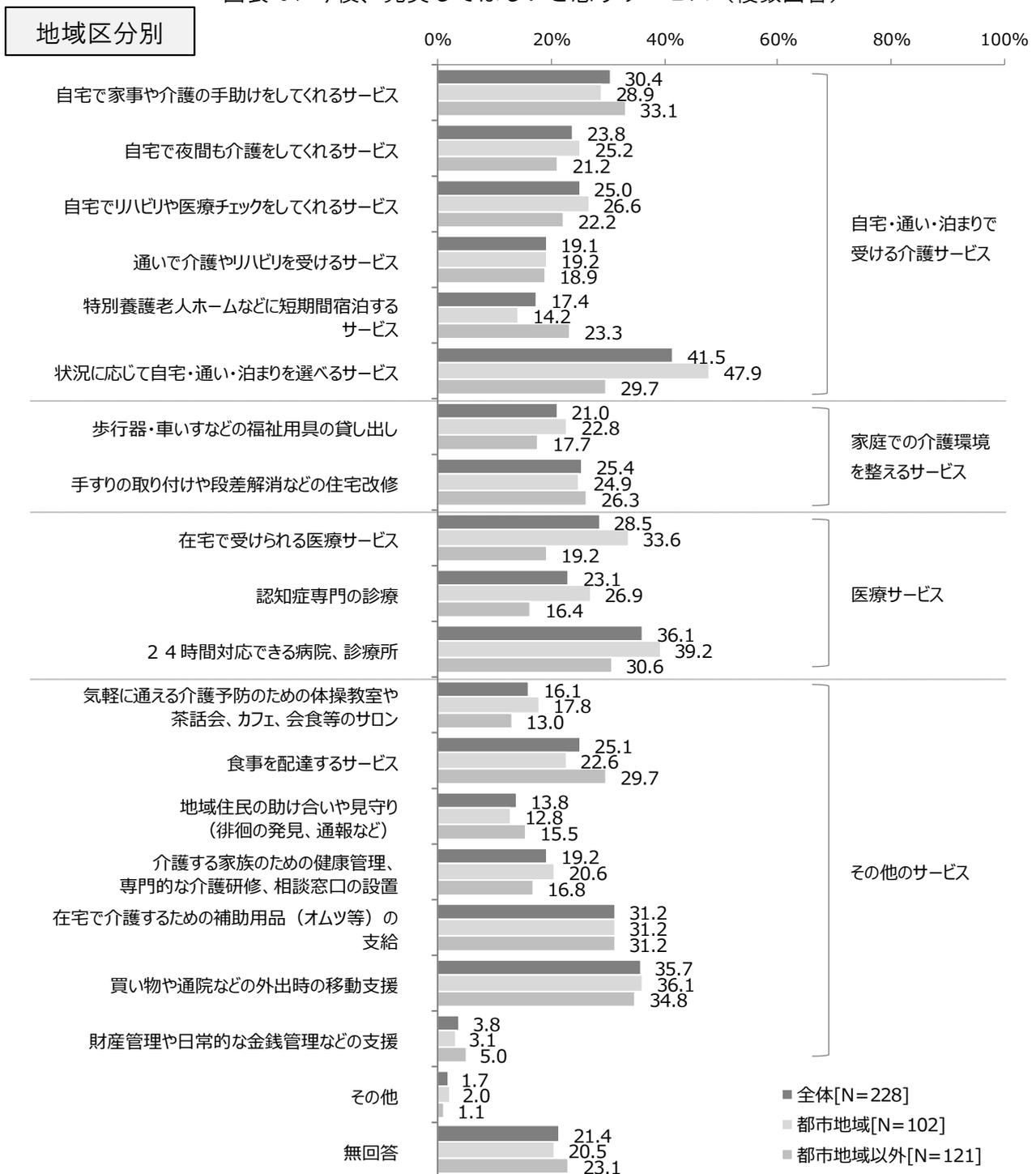
⑱ 今後、充実してほしいと思うサービス

問58 ご本人を在宅で介護していくために、今後、充実してほしいと思うサービスがありますか。（充実してほしいものすべてに○）

今後、充実してほしいと思うサービスについて聞いたところ、「状況に応じて自宅・通い・泊まりを選べるサービス」が41.5%と最も高く、次いで、「24時間対応できる病院、診療所」が36.1%、「買い物や通院などの外出時の移動支援」が35.7%、「在宅で介護するための補助用品（オムツ等）の支給」が31.2%、「自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス」が30.4%等と続いています。

地域区分別では、都市地域は都市地域以外に比べて「状況に応じて自宅・通い・泊まりを選べるサービス」「在宅で受けられる医療サービス」「認知症専門の診療」の割合が多くなっています。要介護度別は、要介護2～5の人で「在宅で介護するための補助用品（オムツ等）の支給」の割合が多くなっています。

図表 61 今後、充実してほしいと思うサービス（複数回答）

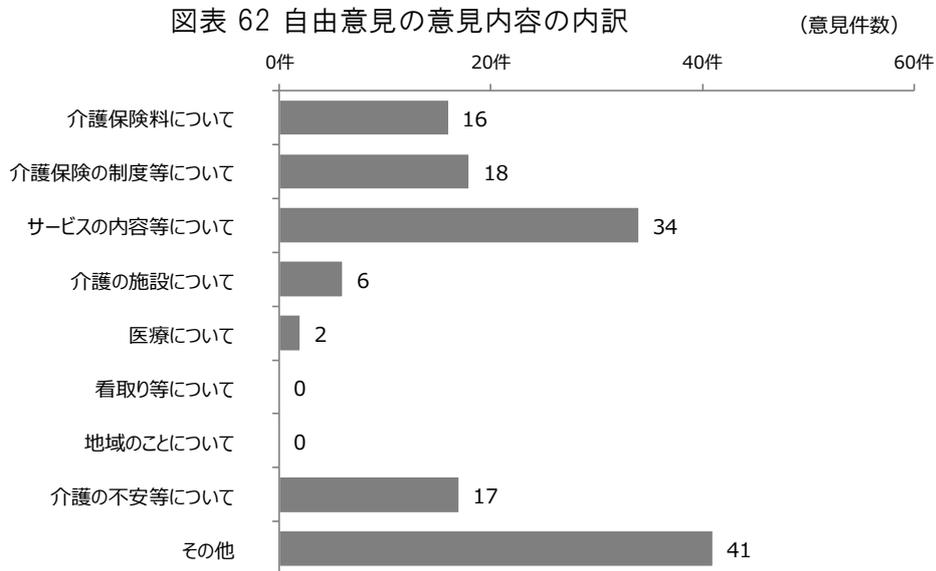


要介護度別		全体 [N=228]	要支援1 [N=34]	要支援2 [N=17]	要介護1 [N=59]	要介護2 [N=37]	要介護3 [N=25]	要介護4 [N=29]	要介護5 [N=13]
自宅・通い・泊まりで受ける介護サービス	自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス	30.4	15.4	34.0	27.3	40.3	38.7	31.0	32.7
	自宅で夜間も介護をしてくれるサービス	23.8	15.9	20.5	22.8	39.6	11.6	40.4	30.6
	自宅でリハビリや医療チェックをしてくれるサービス	25.0	25.2	11.3	18.4	33.7	29.4	21.0	45.0
	通いで介護やリハビリを受けるサービス	19.1	11.2	0.0	24.5	21.2	18.7	21.2	37.7
	特別養護老人ホームなどに短期間宿泊するサービス	17.4	12.2	17.0	12.4	29.3	10.0	44.0	9.3
	状況に応じて自宅・通い・泊まりを選べるサービス	41.5	25.9	5.4	42.9	57.8	35.1	65.3	39.0
家庭での介護環境を整えるサービス	歩行器・車いすなどの福祉用具の貸し出し	21.0	8.6	38.1	19.3	28.1	18.1	18.9	30.6
	手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修	25.4	19.8	25.8	33.1	26.6	14.7	30.5	19.5
医療サービス	在宅で受けられる医療サービス	28.5	17.8	16.2	28.6	37.5	17.3	33.1	48.7
	認知症専門の診療	23.1	10.3	0.0	29.9	32.7	11.4	37.8	28.0
	24時間対応できる病院、診療所	36.1	36.1	32.4	22.1	37.6	35.9	45.5	56.0
その他のサービス	気軽に通える介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロン	16.1	20.5	0.0	20.7	20.8	10.6	17.0	0.0
	食事を配達するサービス	25.1	31.4	19.9	23.3	25.0	5.2	50.3	19.2
	地域住民の助け合いや見守り（徘徊の発見、通報など）	13.8	7.8	9.0	14.9	26.0	11.4	13.2	2.6
	介護する家族のための健康管理、専門的な介護研修、相談窓口の設置	19.2	27.8	18.4	9.1	25.7	13.5	12.5	37.3
	在宅で介護するための補助用品（オムツ等）の支給	31.2	13.5	21.6	22.2	47.3	36.7	35.1	69.9
	買い物や通院などの外出時の移動支援	35.7	27.3	22.4	34.3	50.9	20.2	46.5	53.6
	財産管理や日常的な金銭管理などの支援	3.8	9.9	5.5	1.5	6.1	0.0	1.6	5.5
その他	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	17.0	
無回答	21.4	34.4	26.8	19.4	14.9	30.3	5.1	8.5	

(11) 自由意見

問59 高齢者の生活支援（見守り、外出支援、買い物・調理・掃除などの家事支援など）、介護保険制度（介護保険料、要介護認定、介護保険サービスの内容など）、保健福祉サービス（介護予防教室、家族介護者教室など）などについて、ご意見がございましたら、自由にご記入ください。

自由意見は、134件の記入がありました。意見内容の内訳は次のようになっています。サービスの内容や介護保険の制度等についての意見が多くなっています。



【主な意見】

(介護保険料について)

- 自身のように一度もサービスを受けていないのに保険料を納付するもどうかと思う。制度のあり方に疑問。
- 保険料の支払いをしているにもかかわらず、制度を使った場合の利用料の負担は、年金生活者にとっては苦しいです。
- 介護のため仕事を変わり、収入が減少しています。介護サービスの向上や維持はしてほしいですが、生活がしていけなくなるのは困ります。
- 保険料を安くして、誰もが安心して老後生活ができるようにするべきです。現在の国のお金の使い方は間違っています。無駄な国費などを削り、国民の目線に立った政治を望みます。

(介護保険の制度等について)

- 介護保険事業者の事業も成り立たなくなると困ると思うが、必要最低限のサービスを介護保険制度で受ける、それ以上のサービスについては個人で負担してもらう等の制度の切り替えが必要と思う。精査するべきところはするようになると良い事業者が生き残っていけるようになると思う。収入がなくても個人の資産があると思うので、担保にしてサービスを受けられるようにしたらどうか。
- 介護保険制度は結局、家族や本人の自己責任という制度だと思います。高齢に備えての介護保険は高すぎて家計の負担は重く本人の介護が必要になればなるほど、介護サービスの料金は高くなります。値段の安い特養は常にいっぱい、空き待ち。きれいでサービス満点の老人ホームは高すぎてとても無理です。家庭でみれる家族にはサービスの内容は充実していますが、いずれにしてもお金お金です。
- 要介護認定。調査員のスキルがバラバラ。客観的であるべきなのに主観が強く影響しているように思います。介護保険サービスの入り口なので、公平かつ正確であるべきと考えます。

(サービスの内容等について)

- 家事支援は、ヘルパーをお手伝いさんと勘違いされている利用者が多い。ヘルパーはできないことの支援なので、ヘルパー一人が動くのではなく、利用者参加型の支援をすべきだと思う。ヘルパーも利用者のできることを考え、手伝ってもらおう。リハビリにもなり、新たな会話が出てくるようになります。
- 要介護1以上でなければ通院介助は不可。小さな町、柔軟な対応をしてほしいと思いました。
- 自宅から送迎してくれる体操教室や茶話会カフェ、会食等のサロンがあればうれしいです。
- 山間部のため、人口も少なく、車なしでは生活できないところです。買い物をお願いできるヘルパー事業所が少ない。私どもの地域には来てくれない事業所も多く、今のところ週末に家族が買い物をして運んでおりますが、とても不便を感じております。
- 高齢者が利用しやすい交通機関がまったく充実されていない。買い物に行くにもタクシー（家族はいつも送迎不可能）代がかさむうえ不便。友人と会うのも交通費がかかるのであきらめ、結果コミュニケーション不足になる。
- 高齢者の生活支援を充実してほしい。介護認定を受けるほどでない人でも、日々の生活で健康的に生活するためには少しの手助けでもありがたいと思う。買い物や家事など。そのことにより介護を受けなくてもよい人が家で生活できることが一番良いと思う。

(介護の施設について)

- なるべく子供に迷惑をかけないように年金で入れる施設を希望します。
- 信頼のできる介護施設、安心してショートステイをお願いできたら介護者も息抜きできます。たまにニュースに出てくるような高齢者虐待には心が痛みます。
- コロナ禍で施設での様子がほとんど分からない。面会も玄関先の短時間で、部屋での生活の実態がつかめず、病気の時などはとても心配でした。離れている分、家族の不安に寄り添った支援もお願いしたい。

(医療について)

- 認知症の早期発見、早期診療ができるような定期的な検査や薬、70才から補助が受けれる制度があればいい。

(介護の不安等について)

- 大雨、地震等の災害時の場合にどうしたらと不安を持っています。
- 現在、買物、掃除等の支援を受けていますが、この先体調の変化など不安です。
- 外出支援は、日中はどうかになりますが、（救急車を使うほどではない）急病の場合、病院に行きたくてもタクシーなど田舎では営業していない。いろいろな事業も夜は営業してなく、不安が多い。
- 夫が動けなくなり夫婦ともども生活支援を受けなくてはならなくなった時が心配です。そのときのために低サービス料金で入室できる有料老人ホーム等の設置をお願いいたします。
- 今はショートステイ利用していませんが、緊急時に利用できるか心配です。介護度によって利用金額が変わりますが、利用金額が高いように思う。年金生活では不安です。
- これから5年先、10年先のことを考えますと、身体的、精神的に色々不安になることの多いこの頃です。費用も3割負担となっていますので、持ち出しの金額も最近大きくなってだんだん家計を圧迫しています。いろいろなサービスももっと利用したいですが費用負担が気になっています。
- 最終的にはお金です。賃金が発生するのは当たり前です。けれど、貯蓄の無い者を介護する身になれば、少しでも安く・・・いろんな面で協力していただければ幸いです。老後の資金を貯め始めたいのに介護することになり、出費が重なり、自分のための貯金ができないのが現実です。とても先の生活に不安を感じる毎日です。

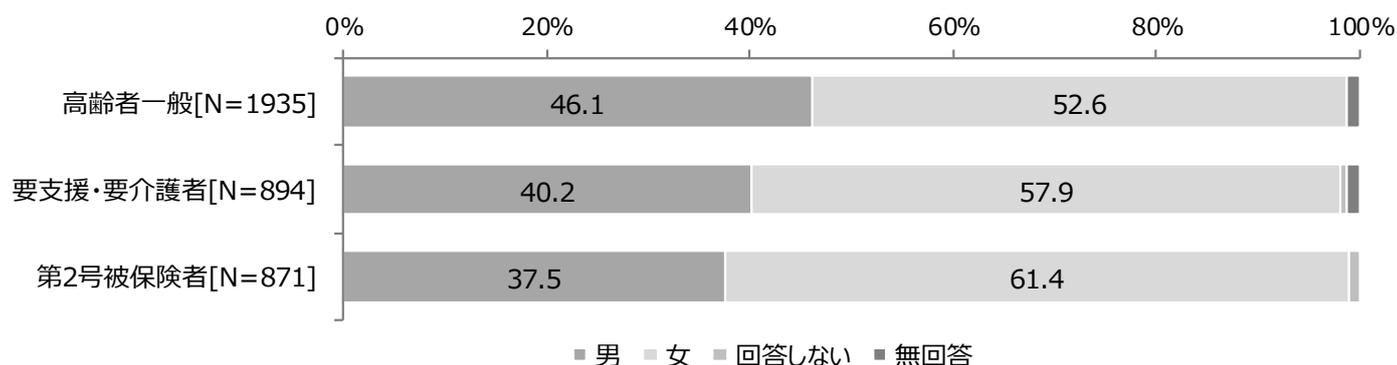
3 調査間の比較

(1) 回答者の属性

①性別

性別は、高齢者一般で「女」が52.6%、「男」が46.1%、要支援・要介護者で「女」が57.9%、「男」が40.2%、第2号被保険者で「女」が61.4%、「男」が37.5%となっています。いずれの調査も女性の比率が高くなっています。

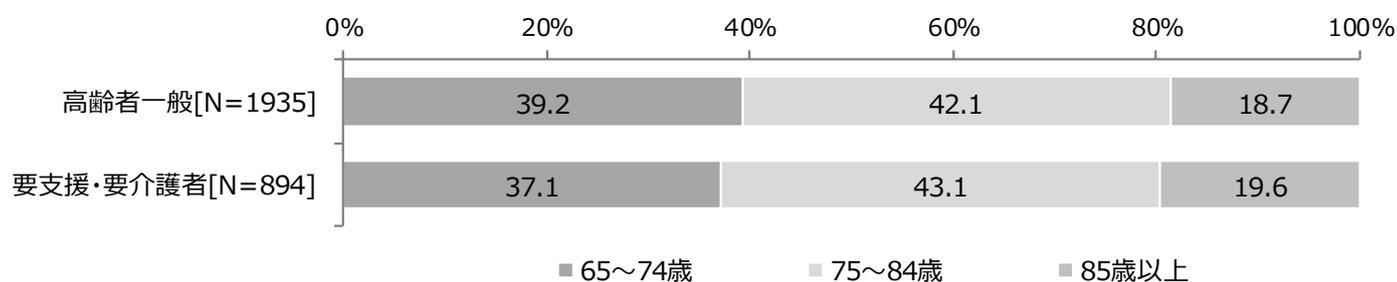
図表 63 性別



②年齢

年齢は、高齢者一般では「65～74歳」が39.2%、「75～84歳」が42.1%、「85歳以上」が18.7%となっています。要支援・要介護者では「65～74歳」が37.1%、「75～84歳」が43.1%、「85歳以上」が19.6%となっています。

図表 64 年齢

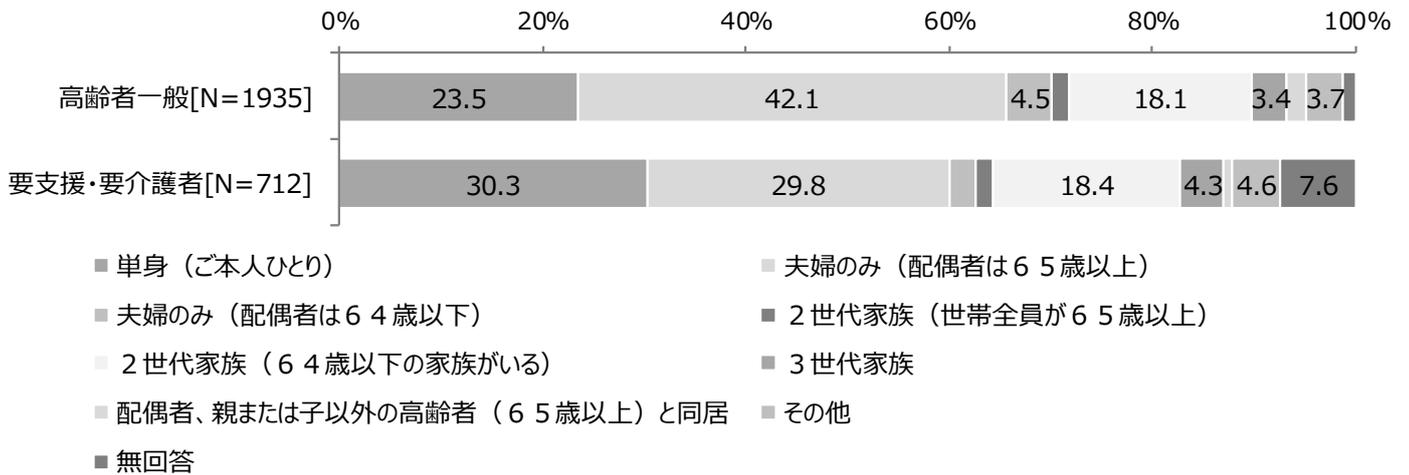


③世帯

世帯については、高齢者一般で「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」が42.1%、「単身（ご本人ひとり）」が23.5%、「2世代家族（64歳以下の家族がいる）」が18.1%等となっています。

また、要支援・要介護者の世帯で「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」が29.8%、「単身（ご本人ひとり）」が30.3%、「2世代家族（64歳以下の家族がいる）」が18.4%等となっています。高齢者一般に比べて要支援・要介護者は「単身（ご本人ひとり）」の比率が高く、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」の比率が低くなっています。

図表 65 世帯



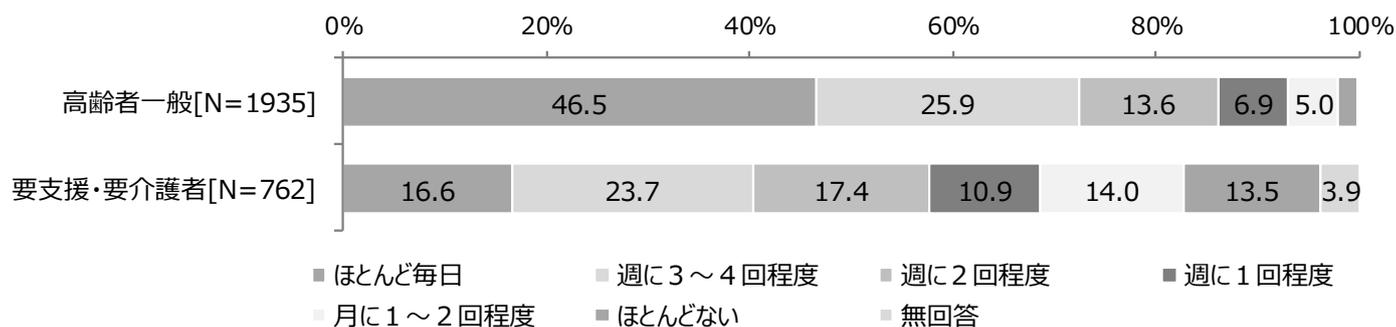
(2) 日常生活について

①外出の頻度

高齢者に対し、外出の程度を聞いたところ、高齢者一般では、「ほとんど毎日」が46.5%、「週に3～4回程度」が25.9%等となっています。

一方、在宅の要支援・要介護者では、「週に3～4回程度」が23.7%、「週に2回程度」が17.4%等となり、高齢者一般に比べて外出が少ない様子が見えます。

図表 66 外出の頻度

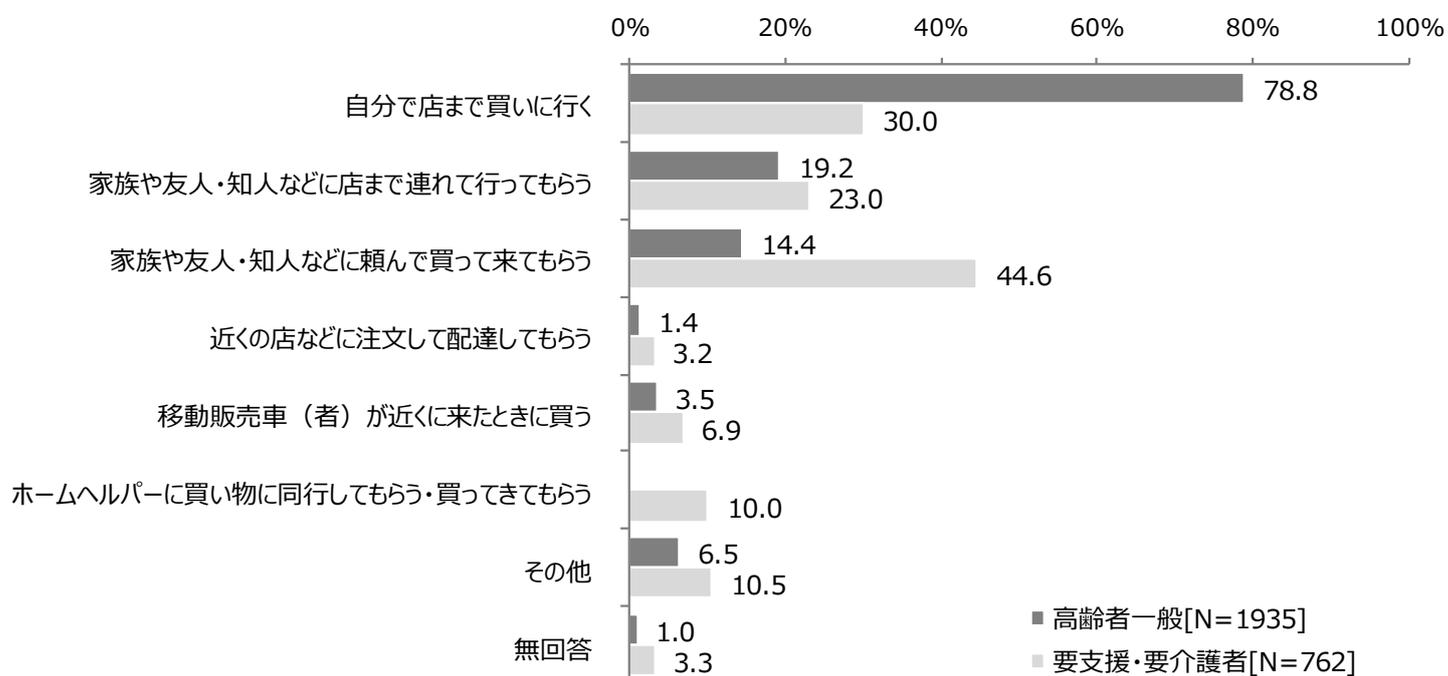


②買い物の状況

高齢者に対し、現在の買い物の方法を聞いたところ、高齢者一般では、「自分で店まで買いに行く」が78.8%と多くなっています。また、「家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう」が19.2%、「家族や友人・知人などに頼んで買って来てもらう」が14.4%等となっています。

一方、在宅の要支援・要介護者では、「家族や友人・知人などに頼んで買って来てもらう」が44.6%と多くなっています。次いで、「自分で店まで買いに行く」が30.0%、「家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう」が23.0%等となり、多くの人が家族等を頼って買い物をしている様子が見えます。

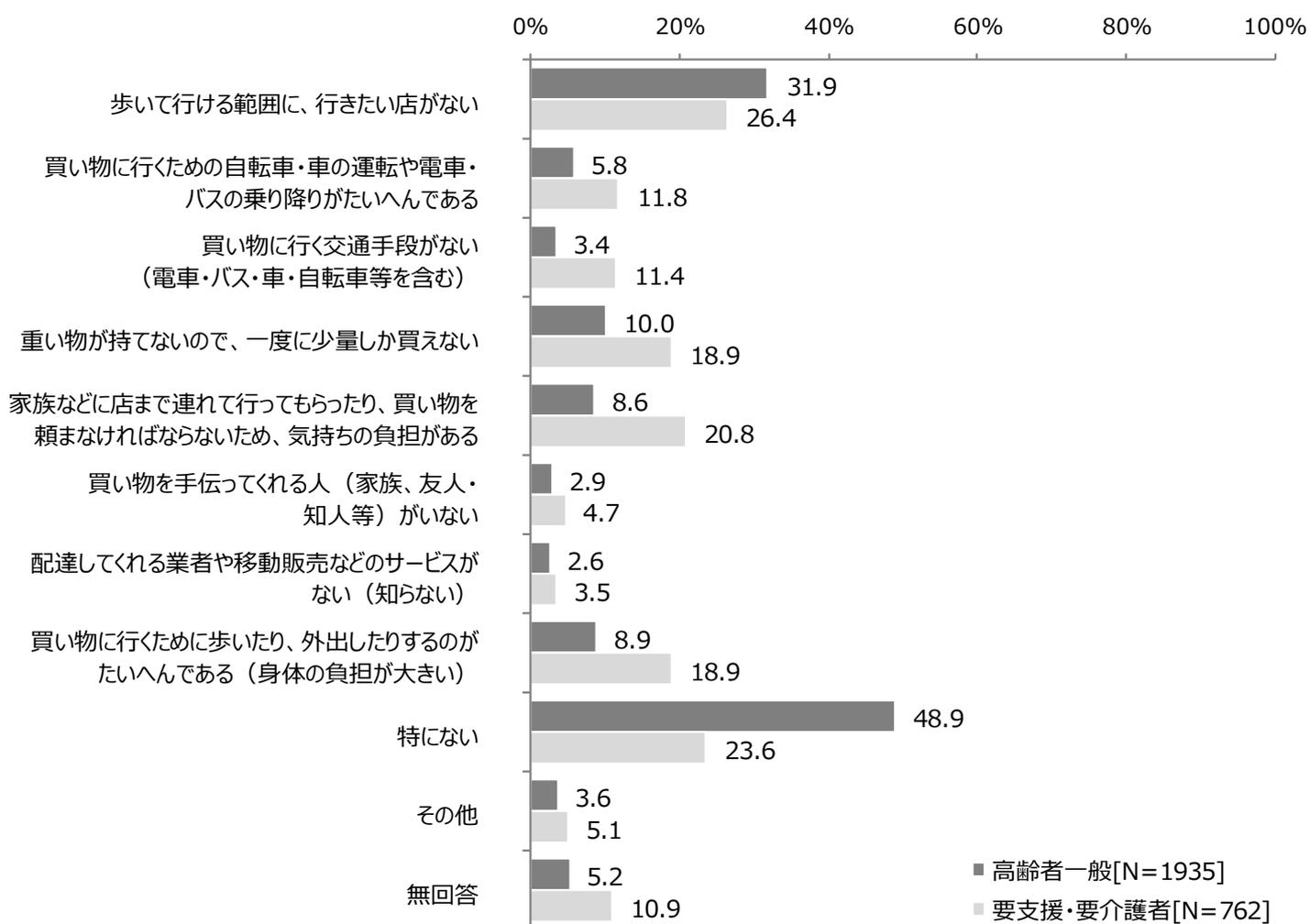
図表 67 買い物の方法（複数回答）



また、買い物で困っていることについては、高齢者一般では「特にない」が48.9%と半数近くを占め、また、「歩いていける範囲に、行きたい店がない」が31.9%等となっています。

一方、在宅の要支援・要介護者では、「歩いていける範囲に、行きたい店がない」が26.4%、「家族などに店まで連れて行ってもらったり、買い物を頼まなければならないため、気持ちの負担がある」が20.8%、「買い物に行くために歩いたり、外出したりするのがたいへんである（身体の負担が大きい）」「重い物が持てないので、一度に少量しか買えない」が18.9%等となっており、「特にない」という人は23.6%と高齢者一般に比べると低い比率になっています。

図表 68 買い物で困っていること（複数回答）

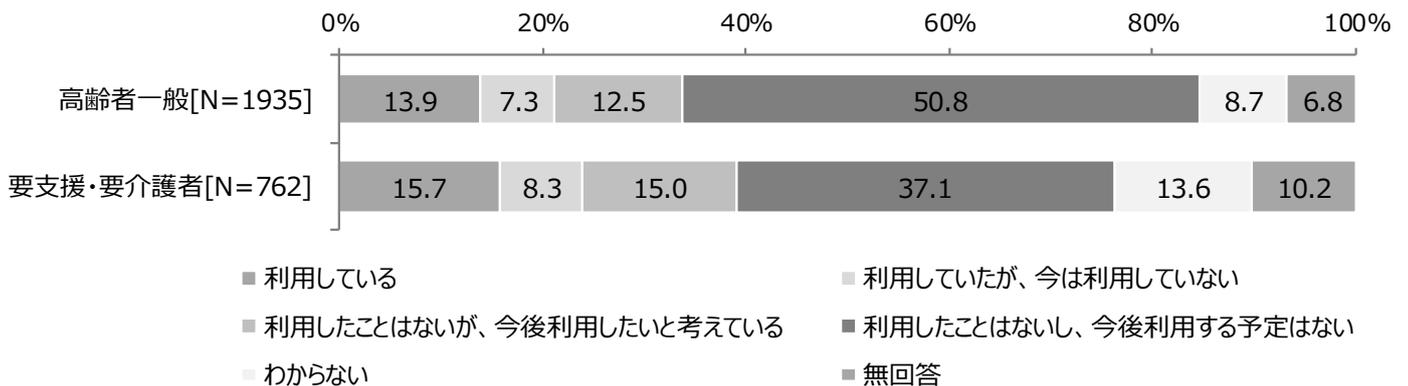


③介護予防で利用している介護予防サービス

介護予防のためのサービスの利用の有無については、高齢者一般では、「利用している」が13.9%、「利用したことはないが、今後利用したいと考えている」が12.5%、「利用していたが、今は利用していない」が7.3%となっています。一方で「利用したことはないし、今後利用する予定はない」は50.8%となっています。

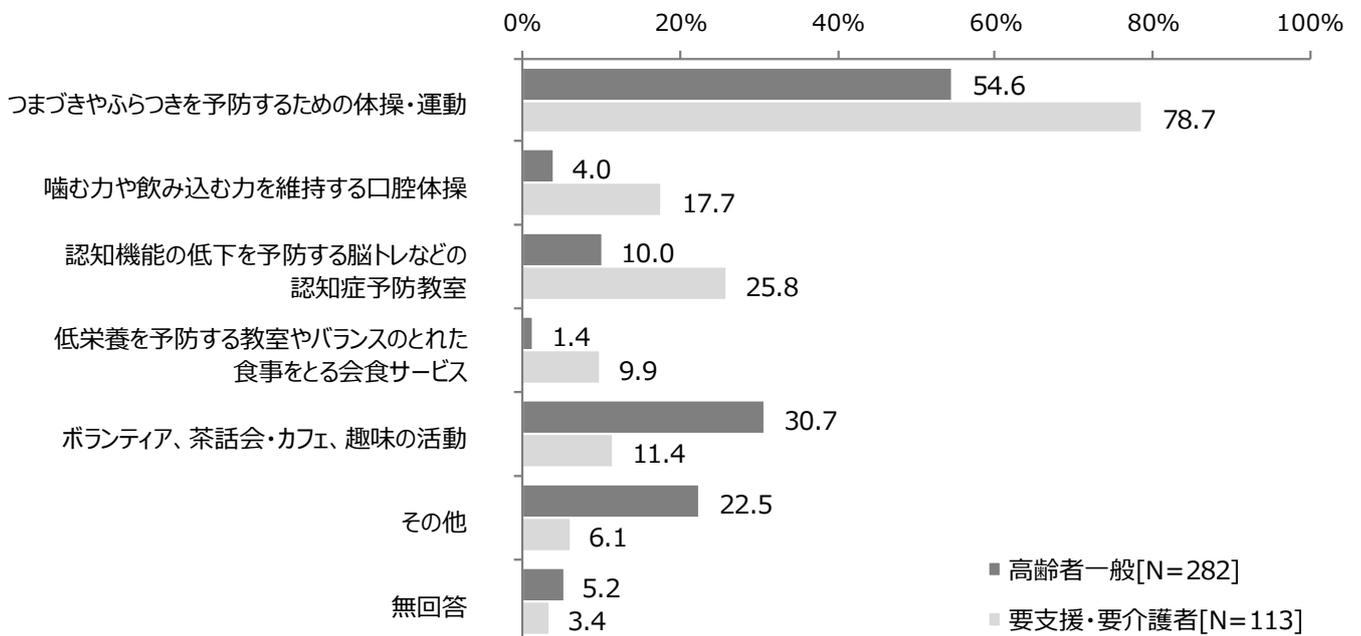
要支援・要介護者では、「利用している」が15.7%、「利用したことはないが、今後利用したいと考えている」が15.0%、「利用していたが、今は利用していない」が8.3%となっています。「利用したことはないし、今後利用する予定はない」については37.1%となっています。

図表 69 介護予防のためのサービス利用の有無



利用している介護予防サービスについては、高齢者一般では「つまづきやふらつきを予防するための体操・運動」が54.6%、「ボランティア、茶話会・カフェ、趣味の活動」が30.7%、「脳トレなどの認知症予防教室」が10.0%等となっています。要支援・要介護者については、「つまづきやふらつきを予防するための体操・運動」が78.7%、「脳トレなどの認知症予防教室」が25.8%、「噛む力や飲み込む力を維持する口腔体操」が17.7%等となっています。

図表 70 利用している介護予防サービス（複数回答）

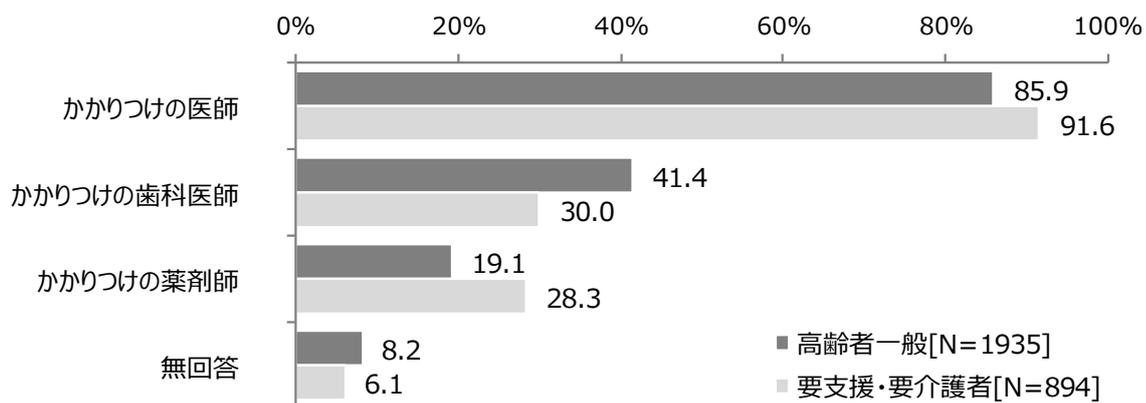


(3) 医療等の状況について

① かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無

高齢者に対し、かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無について聞いたところ、「かかりつけの医師」がいる人は、高齢者一般で85.9%、要支援・要介護者で91.6%となっており、多くの高齢者にかかりつけの医師がいます。

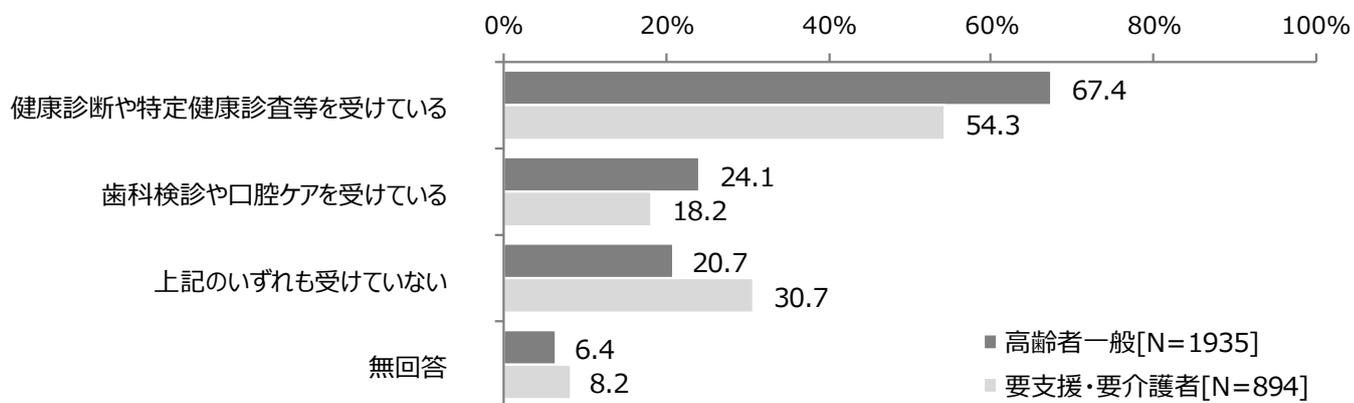
図表 71 かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無（複数回答）



② 健康診断の受診状況について

高齢者に対し、健康診断の受診状況について聞いたところ、「健康診断や特定健康診査等を受けている」人は、高齢者一般で67.4%、要支援・要介護者で54.3%となっており、要支援・要介護者では健康診断を受ける人が高齢者一般に比べると少なくなっています

図表 72 健康診断の受診状況について（複数回答）

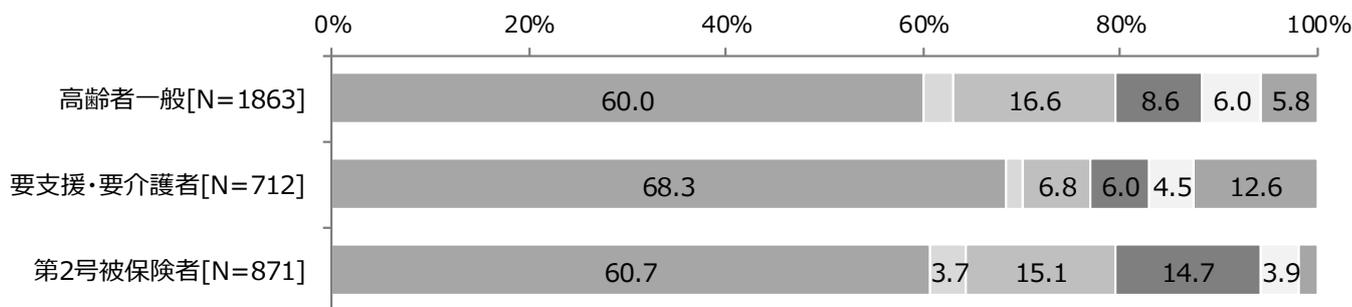


(4) 住まい、住み替えなどについて

①住み替えの希望

将来の住み替えの希望は、高齢者一般、要支援・要介護者、第2号被保険者の全てで、「自宅で、在宅サービスを利用しながら住み続けようと思う」が多くなっており、要支援・要介護者ではとくに多く、現在の場所に住み続けたいという人が多くなっています。

図表 73 住み替えの希望

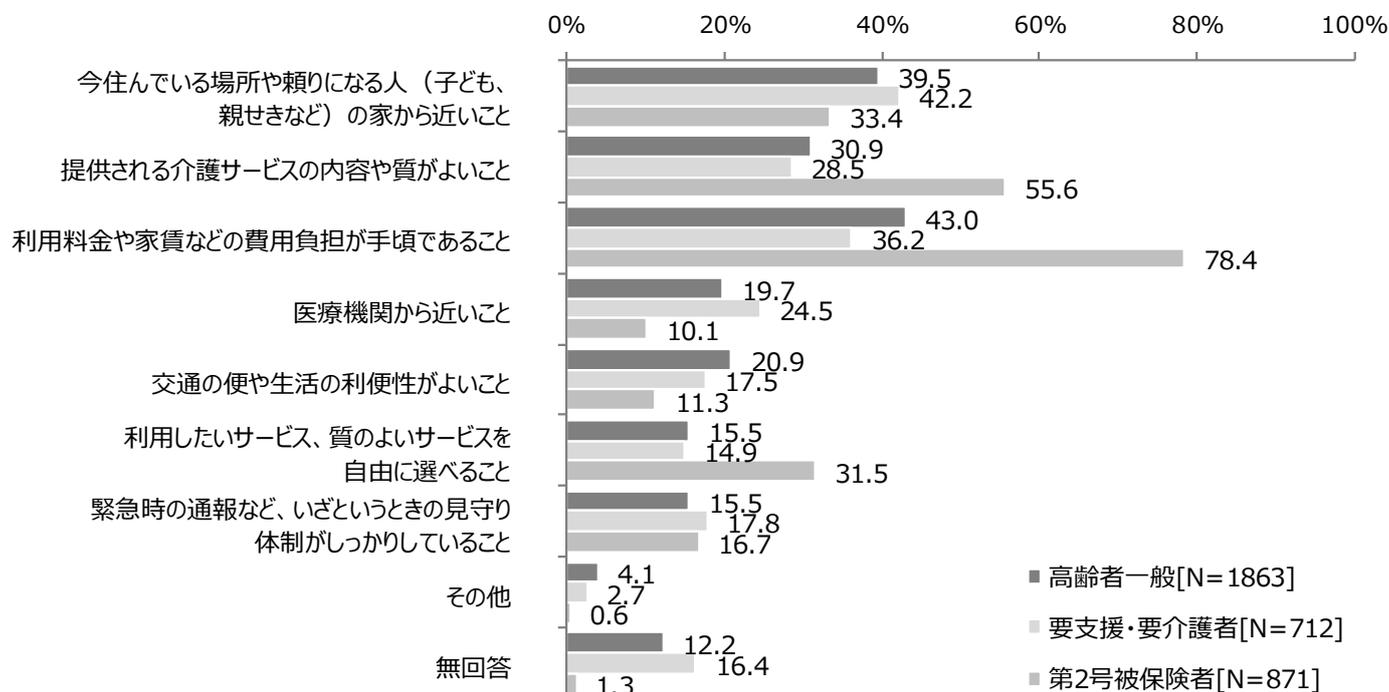


- 自宅で、在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う
- 子や孫、親類宅へ移り住むか、同居してもらおうと思う
- 介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所しようと思う
- 介護保険施設までは考えていないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居しようと思う
- その他
- 無回答

②住み替えで重視すること

住み替えで重視することとしては、高齢者一般、要支援・要介護者では、「今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと」が多くなっています。一方、第2号被保険者では、「利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること」や「提供される介護サービスの内容や質が良いこと」の割合が多くなっており、第2号被保険者で費用負担やサービスの質を重視する人が多くなっています。

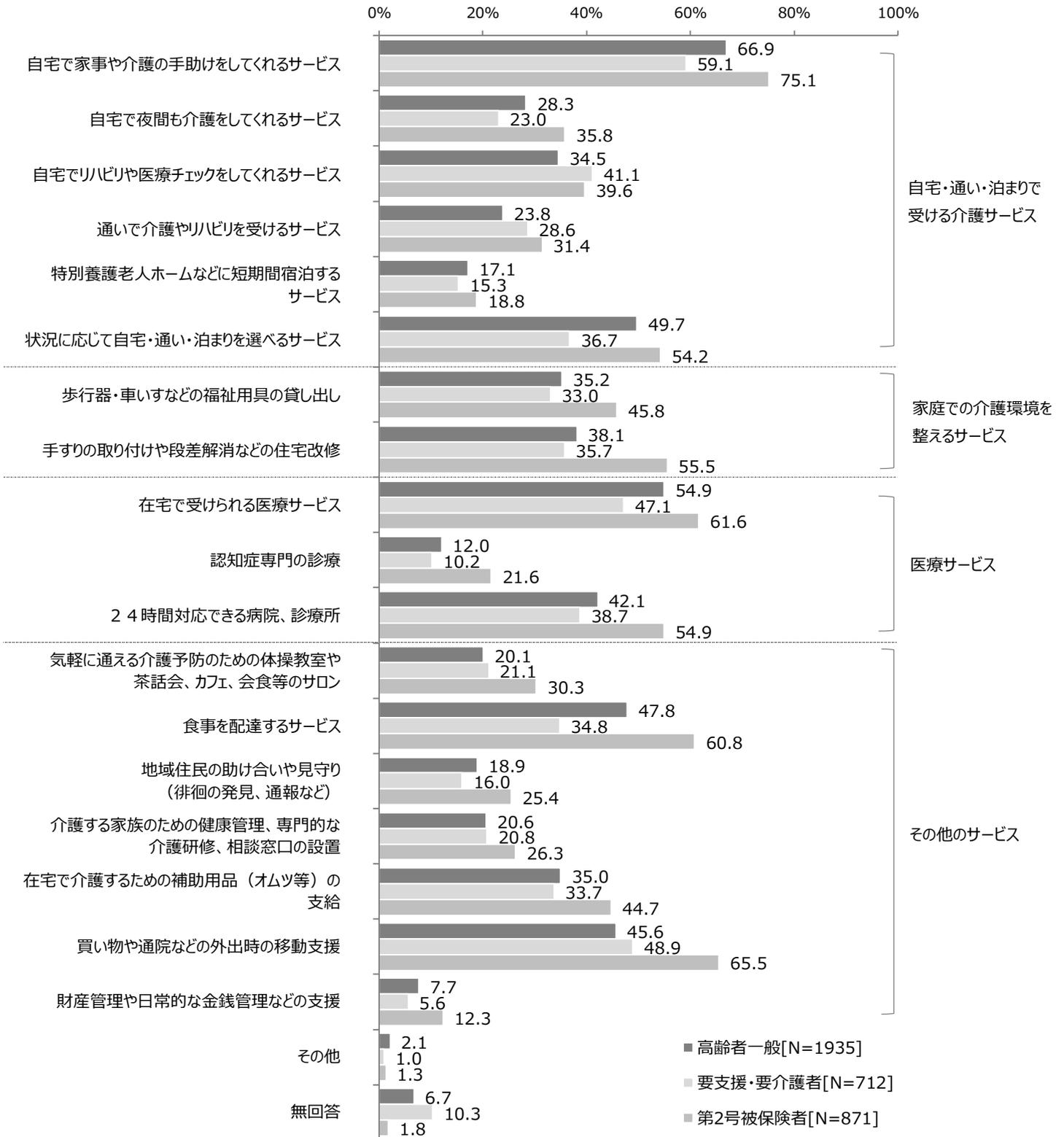
図表 74 住み替えで重視すること（複数回答）



③在宅生活に必要なサービス

在宅生活のために必要と思うサービスについて聞いたところ、高齢者一般に比べ、第2号被保険者で必要と思う割合が全般的に多くなっています。また、高齢者一般、要支援・要介護者、第2号被保険者いずれも「自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス」の割合が最も多くなっています。

図表 75 在宅生活に必要なサービス（複数回答）

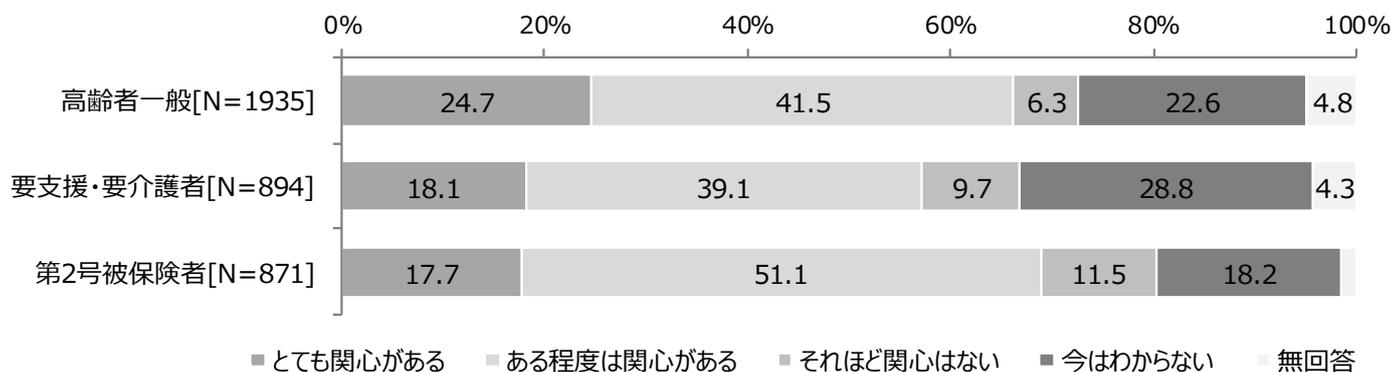


(5) 看取りなどについて

①延命治療等への関心

延命治療等への関心について聞いたところ、「関心のある人」は高齢者一般が66.2%、第2号被保険者が68.8%となっています。一方、要支援・要介護者では関心のある人が57.2%となっています。

図表 76 延命治療等への関心

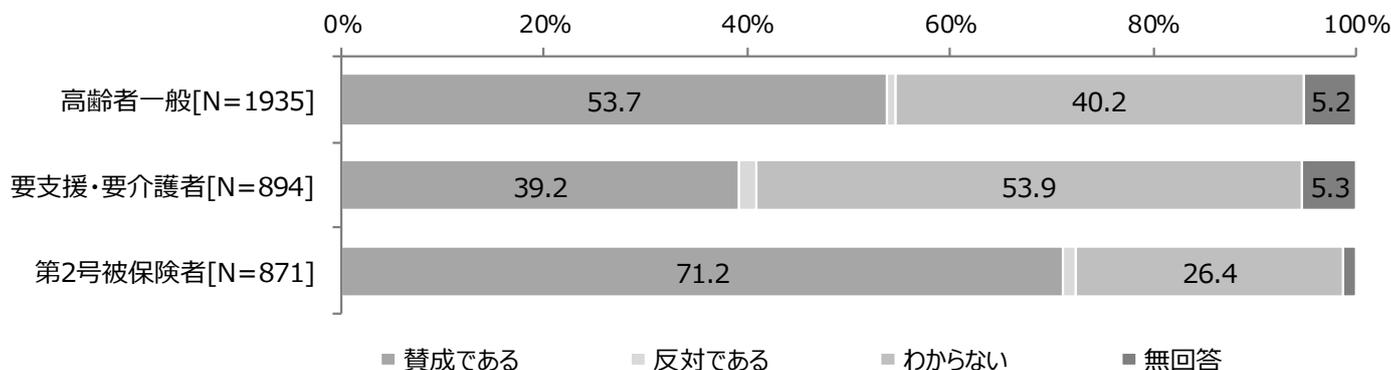


②リビング・ウィルに対する意見

リビング・ウィルに対する意見を見ると、高齢者一般、第2号被保険者で延命治療に「賛成である」人が5～7割台と多くなっています。要支援・要介護者では「わからない」と答える人が53.9%と半数を占めています。

※リビング・ウィルとは、「自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておく」こと。

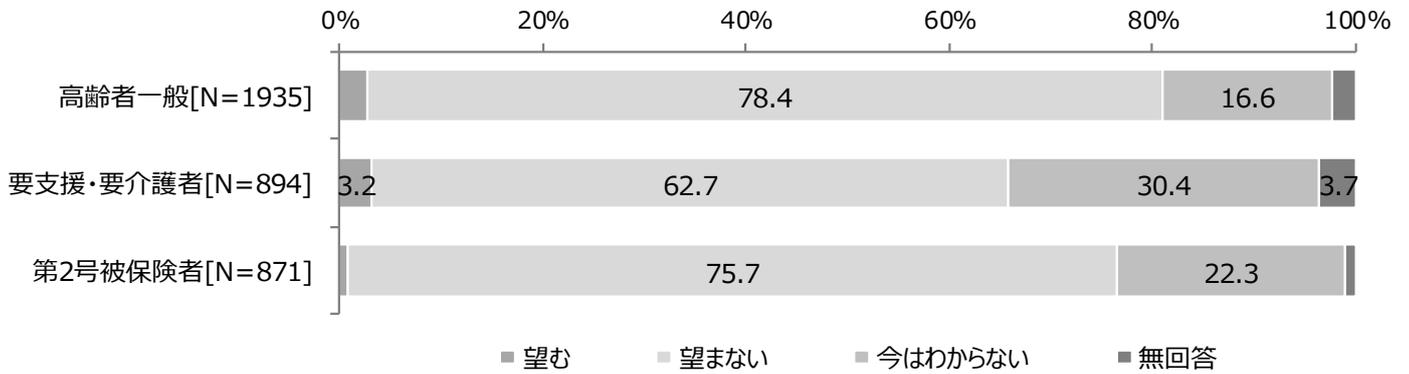
図表 77 リビング・ウィルに対する意見



③延命治療に対する希望

延命治療に対する希望を見ると、延命治療は「望まない」という人が6～7割台でいずれも多くなっています。要支援・要介護者では「今はわからない」という人も高齢者一般や第2号被保険者に比べて多くなっています。

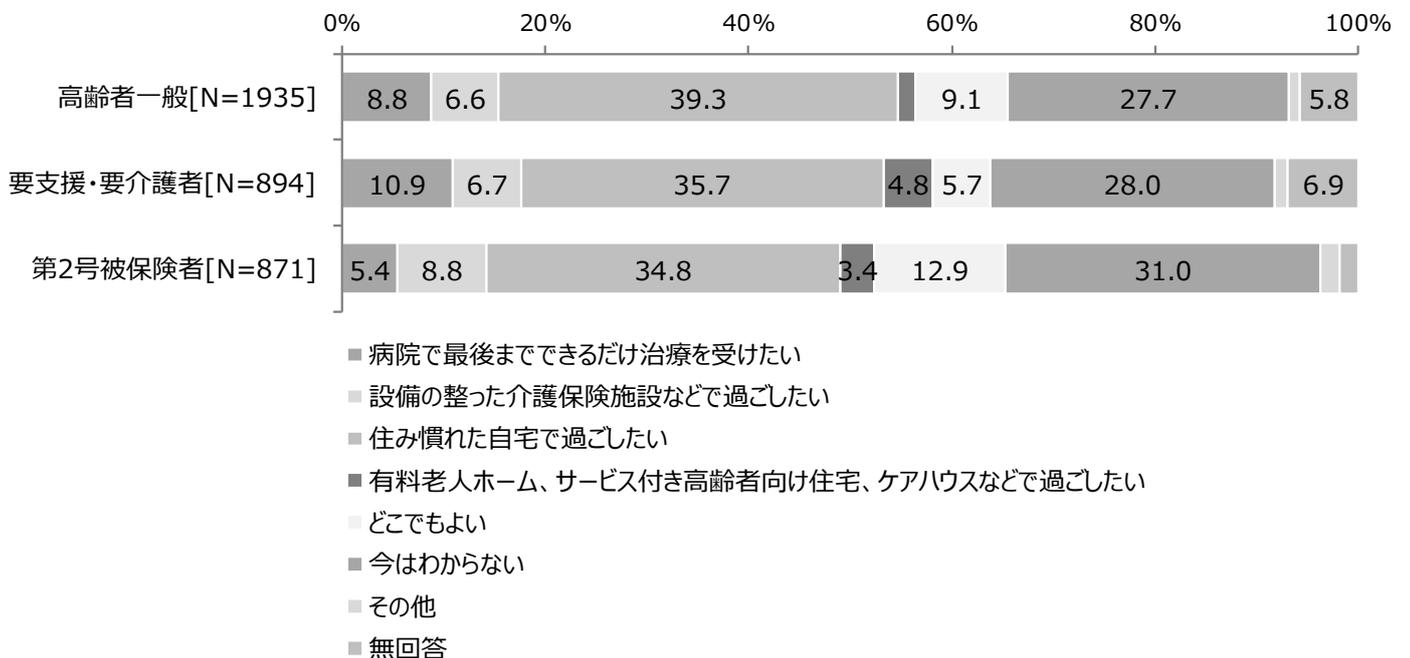
図表 78 延命治療に対する希望



④最期を迎えたい場所

最期を迎えたい場所については、「住み慣れた自宅で過ごしたい」という人がいずれも3割台と多くなっています。一方、「今はわからない」という人も3割前後見られます。

図表 79 最期を迎えたい場所



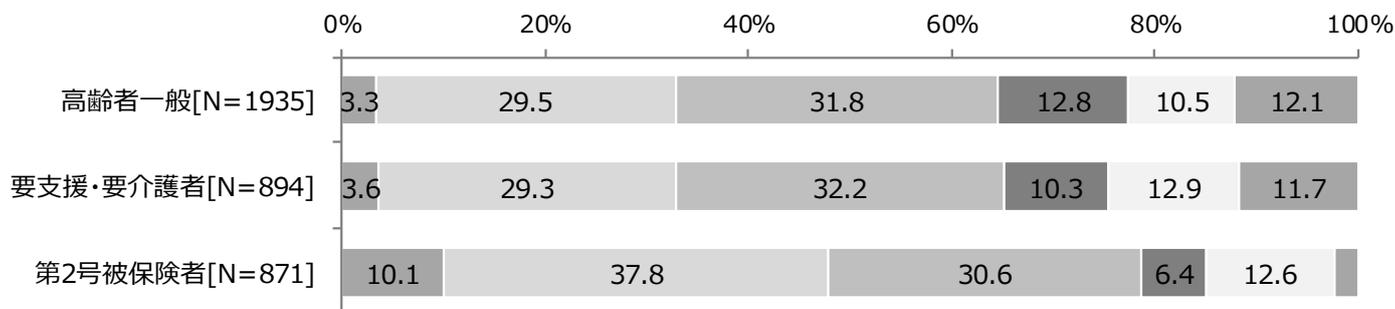
(6) 介護保険制度について

①介護保険のサービスと介護保険料負担の考え方

サービスと保険料負担についての考え方を聞いたところ、高齢者一般、要支援・要介護者では、「さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない」が最も多くなっています。また、高齢者一般、要支援・要介護者では、次いで「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」が多くなっています。

一方、第2号被保険者では、「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」が37.8%と最も多くなっています。第2号被保険者では介護保険料については、介護保険料が上がってもよい・仕方ないという人が多くなっています。

図表 80 介護保険のサービスと介護保険料負担の考え方

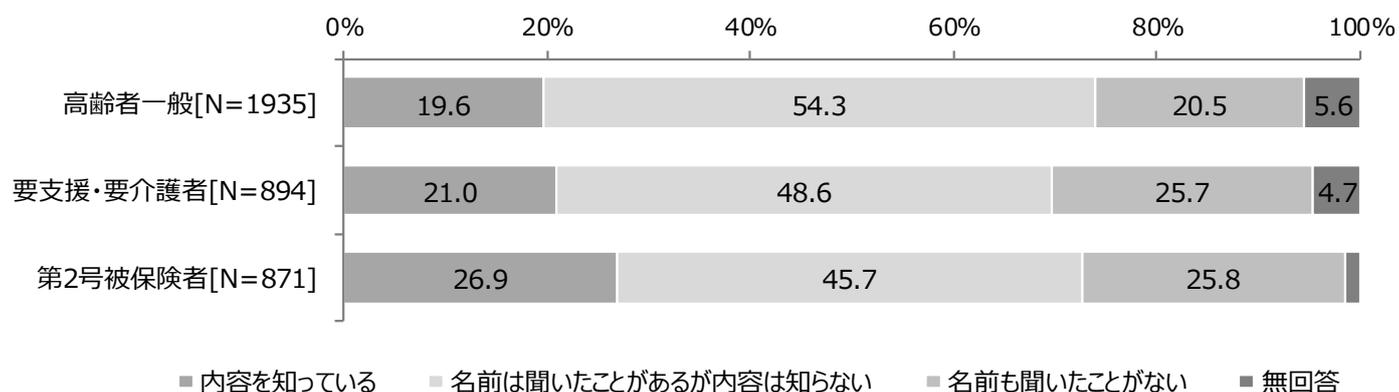


- 今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実するべき
- さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
- さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスの利用が制限されても仕方がない
- サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くするべき
- その他
- 無回答

② 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」の認知

福祉サービス利用援助や成年後見制度等を知っているかどうかを聞いたところ、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」という人が、高齢者一般では54.3%、要支援・要介護者では48.6%、第2号被保険者では45.7%となっています。福祉サービス利用援助や成年後見制度等があることを知ってはいても、内容まで知っている人は少ないことが見てとれます。

図表 81 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」の認知

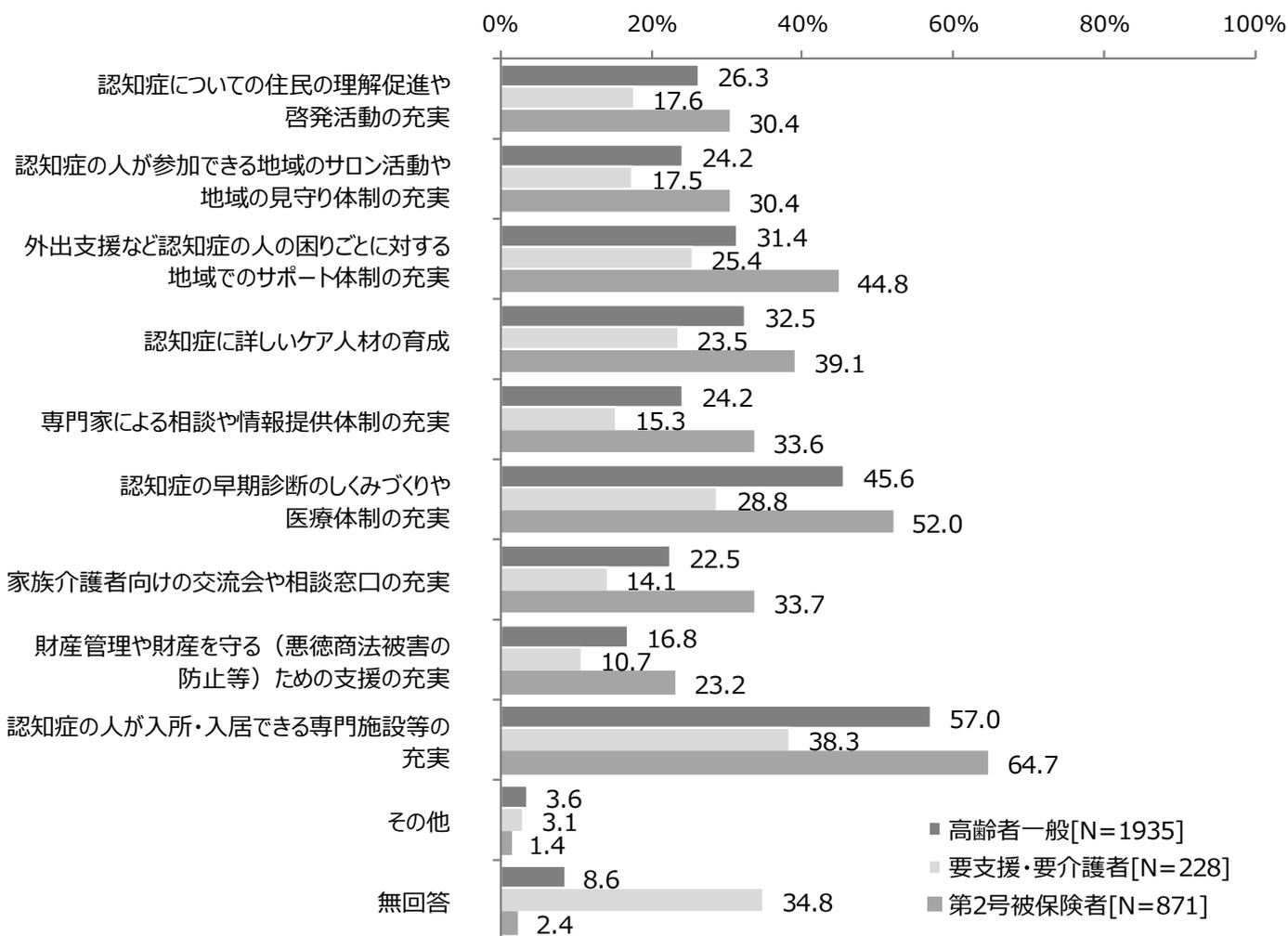


(7) 認知症について

①認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援

認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援について聞いたところ、高齢者一般、要支援・要介護者、第2号被保険者すべてで「認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実」が最も多くなっています。また、第2号被保険者では、「認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実」が半数強見られ、高齢者一般に比べて全般的に多い傾向があります。

図表 82 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援



参考資料：アンケート調査票

ちょう さ ひょう 調 査 票

■この調査の対象者は、令和4年8月1日現在、県内にお住まいの65歳以上の方で、
介護保険で「要支援」または「要介護」と認定されている方です。

■この調査票は、あて名のご本人がご回答ください。ただし、ご本人が回答することが難しい場合は、代わりにご家族の方などがご本人の立場に立ってお答えください。

※一部の質問（問42～58）で、ご本人を介護しているご家族などにご回答いただくものがあります。

■ご回答いただきましたら、調査票を折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま、ポストに投函してください。（切手は不要です。）

※次のような場合は、ご回答いただく必要はありません。あてはまる番号に○をつけ、そのまま、ポストに投函してください。（切手は不要です。）

- 1 県外に転居した
- 2 要支援・要介護認定が非該当になった
- 3 事情により回答できず、代わりに回答できる人もいない

★★ 11月2日までにご投函ください ★★

【ここからご回答ください】

この調査票にご回答いただいた方は、どなたですか。（あてはまるもの1つに○）

1. あて名のご本人が回答（ご本人が回答して他の方が代筆した場合も含む）
2. ご家族がご本人の代わりに回答
3. ご家族以外の方がご本人の代わりに回答

→ 裏面にお進みください。

★あなたご自身やご家族のことについておたずねします。

問1 あなたの性別をお答えください。(いずれか1つに○)

1. 男 2. 女 3. 回答しない

問2 あなたの生まれた年月、年齢をお答えください。(ご記入ください)

明治・大正・昭和 年 月生まれ (満 歳)

問3 あなたがお住まいの市町村をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

※田辺市、新宮市、紀の川市の場合は、合併前の旧市町村を回答してください。

- | | | |
|----------------------|----------------------------|----------|
| 1. 和歌山市 | 2. 海南市 | 3. 橋本市 |
| 4. 有田市 | 5. 御坊市 | |
| 6. 田辺市 (旧田辺市) | 7. 田辺市 (旧龍神村・串辺路町・大塔村・本宮町) | |
| 8. 新宮市 (旧新宮市) | 9. 新宮市 (旧熊野川町) | |
| 10. 紀の川市 (旧打田町・貴志川町) | 11. 紀の川市 (旧粉河町・那賀町・桃山町) | |
| 12. 岩出市 | 13. 紀美野町 | |
| 14. かつらぎ町 | 15. 九度山町 | 16. 高野町 |
| 17. 湯浅町 | 18. 広川町 | 19. 有田川町 |
| 20. 美浜町 | 21. 白高町 | 22. 由良町 |
| 23. 印南町 | 24. みなべ町 | 25. 白高川町 |
| 26. 白浜町 | 27. 上富田町 | 28. すさみ町 |
| 29. 那智勝浦町 | 30. 太地町 | 31. 古座川町 |
| 32. 北山村 | 33. 串本町 | |

問4 あなたの要介護度は、次のうちどれですか。(あてはまるもの1つに○)

※有効期間が切れている場合は、切れる前の要介護度を記入してください。

- | | |
|----------|----------|
| 1. 要支援 1 | 2. 要支援 2 |
| 3. 要介護 1 | 4. 要介護 2 |
| 5. 要介護 3 | 6. 要介護 4 |
| 7. 要介護 5 | 8. わからない |

問5 あなたの要介護度は、1年前と比べて、どのように変化していますか。(あてはまるもの1つに○)

- 現在のほうが要介護度は上がっている (悪くなっている)
- 現在のほうが要介護度は下がっている (良くなっている)
- 同じ要介護度である
- 1年前は認定を受けていない
- わからない

問6 あなたは現在、どちらにいらっしゃいますか。(あてはまるもの1つに○)

※ショートステイで特別養護老人ホーム等におられる方は、ショートステイ利用前の所在でご回答ください。

1. 一般の住宅
2. サービス付き高齢者向け住宅
3. 有料老人ホーム
4. 軽費老人ホーム(ケアハウス)
5. 認知症高齢者グループホーム
6. 生活支援ハウス、養護老人ホーム
7. 特別養護老人ホーム
8. 老人保健施設、介護医療院
9. 病院等に入院(医療保険、介護保険)

⇒問7～問13は回答不要です
6ページの問14に進んでください

⇒問7～問25は回答不要です
10ページの問26に進んでください

⇒問7から順番にご回答ください

問7 あなたの世帯は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 単身(ご本人ひとり)
2. 夫婦のみ(配偶者は65歳以上)
3. 夫婦のみ(配偶者は64歳以下)
4. 2世代家族(世帯全員が65歳以上)
5. 2世代家族(64歳以下の家族がいる)
6. 3世代家族
7. 配偶者、親または子以外の高齢者(65歳以上)と同居
8. その他()

問8 あなたは、昼間、ひとりきりになることがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. ほとんどない
2. ときどきある
3. 常にそうである

問9 あなたには、同居はしていないけれども生活を支援してくれる子や孫、親せきなどはいますか。(いずれか1つに○)

1. いる
2. いない

★お住まい、住み替えなどについておたずねします。

問10 あなたの現在の住まいの種類は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 戸建 (持ち家)
2. 戸建 (賃貸)
3. マンションなどの集合住宅 (持ち家)
4. マンションなどの集合住宅 (賃貸)
5. その他 ()

問11 あなたは、今後、現在の住まいから介護サービスが付いている住宅・施設等に住み替えたいと思いますか。(そう思うもの1つに○)

1. 自宅で、在宅サービス (ホームヘルプやデイサービスなど) を利用しながら住み続けようと思う
2. 子や孫、親類宅へ移り住むか、同居してもらおうと思う
3. 介護保険施設 (特別養護老人ホームなど) に入所しようと思う
4. 介護保険施設までは考えていないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居しようと思う
5. その他 ()

※施設名などの用語につきましては、依頼状裏面の補足説明もご参照ください。

問12 もし、住み替えを考えるとすれば、重視することは何でしょうか。(重視する項目3つ以内に○)

1. 今住んでいる場所や頼りになる人 (子ども、親せきなど) の家から近いこと
2. 提供される介護サービスの内容や質がよいこと
3. 利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること
4. 医療機関から近いこと
5. 交通の便や生活の利便性がよいこと
6. 利用したいサービス、質のよいサービスを自由に選べること
7. 緊急時の通報など、いざというときの見守り体制がしっかりしていること
8. その他 ()

問13 住み替えずに現在の住宅で生活を続けていくためには、どんなサービスが必要だと思えますか。(必要と思うものすべてに○)

※現在利用しているサービスも含みます。

【自宅・通い・泊まりで受ける介護サービス】

1. 自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス
2. 自宅で夜間も介護をしてくれるサービス
3. 自宅でリハビリや医療チェックをしてくれるサービス
4. 通いで介護やリハビリを受けるサービス
5. 特別養護老人ホームなどに短期間宿泊するサービス
6. 状況に応じて自宅・通い・泊まりを選べるサービス

【家庭での介護環境を整えるサービス】

7. 歩行器・車いすなどの福祉用具の貸し出し
8. 手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修

【医療サービス】

9. 在宅で受けられる医療サービス
10. 認知症専門の診療
11. 24時間対応できる病院、診療所

【その他のサービス】

12. 気軽に通える介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロン
13. 食事を配達するサービス
14. 地域住民の助け合いや見守り（徘徊の発見、通報など）
15. 介護する家族のための健康管理、専門的な介護研修、相談窓口の設置
16. 在宅で介護するための補助用品（オムツ等）の支給
17. 買い物や通院などの外出時の移動支援
18. 財産管理や日常的な金銭管理などの支援
19. その他（)

★介護サービスの利用状況等についておたずねします。

問14 あなたが、要介護認定を受けられたのは、どのような理由からですか。(主にあてはまるもの1つに○)

1. ホームヘルプ、デイサービスなどの在宅サービスを利用するため
2. 特別養護老人ホームなどの施設に入所するため
3. 歩行器・車いすなどの福祉用具の貸し出しや購入、住宅改修を利用するため
4. 将来に備えて、とりあえず認定を受けておいた方がよいと自分で思ったため
5. 知人や家族から申請を勧められたため
6. 医療福祉関係者から申請を勧められたため
7. その他 ()

問15 あなたは、この1か月の間に、介護保険のサービスを利用しましたか。また、どのようなサービスを利用しましたか。(もっとも利用日数の多かったもの1つに○)

1. ホームヘルプ、デイサービスなどの在宅サービスを利用
2. 特別養護老人ホームや老人保健施設などのショートステイを利用
3. 以前は利用していたが、この1か月は利用していない(利用を中断している)
4. 要介護認定を受けてから、一度も利用していない
5. その他 () →問17へ

問16 前の問で「3. 以前は利用していたが、この1か月は利用していない(利用を中断している)」または「4. 要介護認定を受けてから、一度も利用していない」と答えた方におたずねします。

あなたが介護保険のサービスを利用していないのはどのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

1. どうすればサービスが利用できるのかわからない
2. 病気やけがで、身体の状態が悪化したため
3. 家族等が介護しているので、サービスを利用する必要がない
4. 自分の身体状況にふさわしいサービスがない
5. 利用したいと思うサービスがない
6. サービスを利用することに何となく抵抗感がある
7. 身内や知人以外に、家に入ってきてほしくない
8. サービスを利用していてトラブルがあり、利用をやめた
9. サービス利用時の自己負担が経済的に負担である
10. その他 ()

問19 あなたは、介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロンを利用している、または利用していましたか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. 利用している
 - 2. 利用していたが、今は利用していない
 - 3. 利用したことはないが、今後利用したいと考えている
 - 4. 利用したことはないし、今後利用する予定はない
 - 5. わからない
- 問21へ
→問22へ

問20 前の問で「1. 利用している」と答えた方にお聞きます。次の(1)、(2)をご回答ください。

(1)現在、どのようなサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. つまづきやふらつきを予防するための体操・運動
- 2. 噛む力や飲み込む力を維持する口腔体操
- 3. 認知機能の低下を予防する脳トレなどの認知症予防教室
- 4. 低栄養を予防する教室やバランスのとれた食事をとる会食サービス
- 5. ボランティア、茶話会・カフェ、趣味の活動
- 6. その他 ()

(2)現在利用している回数をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- 1. 週に2回以上
- 2. 週に1回程度
- 3. 月に2～3回程度
- 4. 月に1回程度
- 5. その他 ()

→問22へ

問21 問19で「2. 利用していたが、今は利用していない」、「3. 利用したことはないが、今後利用したいと考えている」、「4. 利用したことはないし、今後利用する予定はない」と答えた方にお聞きます。

体操教室やサロンを利用しない、または利用していない理由をご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 自宅の近くに体操教室やサロンがないから
- 2. 知らない人ばかりいそうだから
- 3. 健康や体力面に心配があるから
- 4. 体操教室やサロンの場所や活動などの情報がないから
- 5. 時間的な余裕がないから
- 6. 興味・関心がないから
- 7. その他 ()

★買い物などの日常の状況、不便を感じていることなどについておたずねします。

問22 あなたは、日頃、どの程度外出をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

※散歩、買い物、外食、通院などを含みます。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週に3～4回程度 |
| 3. 週に2回程度 | 4. 週に1回程度 |
| 5. 月に1～2回程度 | 6. ほとんどない |

問23 あなたは、日頃、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 自動車(自ら運転) | 2. 自動車(家族等が運転) |
| 3. バス、電車 | 4. タクシー |
| 5. 福祉移送サービス(介護タクシーなど) | 6. バイク、スクーター |
| 7. 自転車(電動アシスト付き自転車を含む) | 8. 徒歩 |
| 9. 車椅子、電動車椅子 | 10. 医療機関による無料送迎(通院時のみ) |
| 11. 外出は困難(寝たきりなど) | 12. その他() |

問24 あなたは、日頃、食料品や日用品など生活に必要な買い物は、どのような方法で購入していますか。

(よく使う方法すべてに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 自分で店まで買いに行く |
| 2. 家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう |
| 3. 家族や友人・知人などに頼んで買って来てもらう |
| 4. 近くの店などに注文して配達してもらう |
| 5. 移動販売車(著)が近くに来たときに買う |
| 6. ホームヘルパーに買い物に同行してもらう・買ってきてもらう |
| 7. その他() |

問25 ふだんの買い物で不便なことや困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 歩いて行ける範囲に、行きたい店がない |
| 2. 買い物に行くための自転車や車の運転や電車・バスの乗り降りがたいへんである |
| 3. 買い物に行く交通手段がない(電車・バス・車・自転車等を含む) |
| 4. 重い物が持てないので、一度に少量しか買えない |
| 5. 家族などに店まで連れて行ってもらったり、買い物を頼まなければならないため、気持ちの負担がある |
| 6. 買い物を手伝ってくれる人(家族、友人・知人等)がいない |
| 7. 配達してくれる業者や移動販売などのサービスがない(知らない) |
| 8. 買い物に行くための外出が困難・外出できない |
| 9. 特にない |
| 10. その他() |

※ここからは、^{みなさま}皆様におたずねします。

問26 あなたは、日頃の理・美容(散髪やカット・パーマ)で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 理・美容所まで行くのが困難・外出できない
2. 家族などに理・美容所に連れてってもらわなければならないため、気持ちの負担がある
3. 訪問理・美容を利用したいが、利用できない(地域にサービスがないなど)
4. 訪問理・美容を利用しているが、利用しにくい(予約がとりづらい、料金が^{たか}高いなど)
5. 特にない
6. その他()

問27 あなたは、現在の暮らしにどの程度満足していますか。今の生活環境や国・県の福祉サービスなどを総合的に考えてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1. とても満足している
2. まあ満足している
3. どちらともいえない
4. あまり満足していない
5. まったく満足していない

★^{しんたいじょうきょう}身体状況や^{いりよう}医療などについておたずねします。

問28 あなたは日頃、ご自分の心身の変化(足腰のおとろえ、^{まりよく}気力が^{なに}わかず何もしたくなくなるなど)に^{きくば}気を配り、^{はやめ}早目に^{かいぜん}改善していますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 日頃からよく^き気をつけて、^{かいぜん}改善に取り組んでいる
2. ^き気をつけてはいるが、^{てきせつ}適切に^{たいおう}対応できているかわからない
3. あまり^き気をつけていない
4. まったく^き気をつけていない

問29 あなたは、日頃、どの程度通院(医療機関の^{じゆしん}受診)をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. めったにない(年に1回あるかないか)
2. 年に数回程度
3. 月に1回程度
4. 月に2～3回程度
5. 週に1回程度
6. 週に数回程度
7. ほほ毎日

問30 あなたには、日頃から身近に診療、健康相談、薬の説明などを受けることができる、かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. かかりつけの医師
2. かかりつけの歯科医師
3. かかりつけの薬剤師

問31 あなたは、定期的(年に1回以上)に健康診断等を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 健康診断や特定健康診査等を受けている
2. 歯科検診や口腔ケアを受けている
3. 1, 2のいずれも受けていない

★リハビリなどについておたずねします。

問32 あなたは現在、リハビリによる機能回復などを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

※マッサージ、はり・灸、電気・温熱治療は除きます

1. 病院、診療所でリハビリを受けている
2. 老人保健施設でリハビリを受けている
3. 病院、診療所から訪問リハビリを受けている
4. 老人保健施設から訪問リハビリを受けている
5. その他 ()
6. 特にリハビリは受けていない →問35へ

問33 現在受けているリハビリの回数をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1. 週に3回以上
2. 週に2回程度
3. 週に1回程度
4. 月に1～3回程度

問34 あなたは、現在受けているリハビリに満足していますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 満足している
2. おおむね満足している
3. ふつうである →問35へ
4. 少し不満である
5. 不満である

どのような点で満足または不満を感じていますか。具体的にご記入ください。

★**自宅での看取りの考え方などについておたずねします。**

問35 現在、わが国では、多くの人が病院で亡くなっていますが、近年、延命治療(※)の是非や、住み慣れた自宅での看取り・最期を迎えることなどについて、関心が高まっています。あなたは、こうしたことについて、関心がありますか。(最も近いもの1つに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. とても関心がある | 2. ある程度は関心がある |
| 3. それほど関心はない | 4. 今はわからない |

※ここでいう「延命治療」は、治る見込みがなく死期が迫っている方に対し、人工呼吸器や中心静脈栄養、胃ろうなどを生命の維持のためのみに行うものを指します(問37も同様)。

問36 あなたは、自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくこと(リビング・ウィル)について、どう思いますか。(最も近いもの1つに○)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 賛成である | 2. 反対である | 3. わからない |
|----------|----------|----------|

問37 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、延命治療(※)を望みますか。(最も近いもの1つに○)

- | | | |
|-------|---------|------------|
| 1. 望む | 2. 望まない | 3. 今はわからない |
|-------|---------|------------|

問38 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、最期をどこで迎えたいと思われませんか。(最も近いもの1つに○)

- | |
|--|
| 1. 病院で最後までできるだけ治療を受けたい |
| 2. 設備の整った介護保険施設などで過ごしたい |
| 3. 住み慣れた自宅で過ごしたい |
| 4. 有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、ケアハウスなどで過ごしたい |
| 5. どこでもよい |
| 6. 今はわからない |
| 7. その他 () |

★ **介護保険制度などについておたずねします。**

問39 今後、さらに高齢化が進み、介護保険制度を支えるための負担が増えていくことが予想されます。あなたは、介護保険のサービスと介護保険料の負担について、どのように考えますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実すべき
2. さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
3. さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスの利用が制限されても仕方がない
4. サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くすべき
5. その他 ()

問40 介護保険のサービスを利用する時に支払う利用者の負担割合(1～3割負担)についておたずねします。あなたにとって利用料の負担感はどうですか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|----------|----------|---------------------|
| 1. 大きい | 2. やや大きい | 3. 普通 |
| 4. やや小さい | 5. 小さい | 6. 利用したことがないのでわからない |

問41 あなたは、判断能力が十分でない高齢者等を対象にした「福祉サービス利用援助」※1や「成年後見制度」※2があることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 内容を知っている
2. 名前は聞いたことがあるが内容は知らない
3. 名前も聞いたことがない

※1 「福祉サービス利用援助」は、判断能力が十分でない高齢者等の権利をまもるため、県・市町村社会福祉協議会等との協働により、福祉サービスの利用や日常生活上の手続きに関する援助、日常の金銭管理や書類などの預かりサービス等を行うものです。

※2 「成年後見制度」は、判断能力が十分でない高齢者等(認知症高齢者等)を保護するため、本人の代わりに法律行為を行い、または本人による法律行為を助ける者を選定する制度です。

★ご本人を介護している方についておたずねします。

※以降の質問は、ご本人を介護しているご家族などにお聞きするものです。ご本人が施設に入所しているなど、介護しているご家族などがいない場合は、回答は不要です。

※ここからは、質問文の中の「あなた」とは、あて名のご本人をおもに介護されている方を指します。あて名のご本人は、「ご本人」と表記します。

問42 ふだん、ご本人の介護やお世話をしているのはどなたですか。ご本人から見た続柄でご回答ください。
なお、ホームヘルパーや家政婦等は除きます。(おもに介護やお世話をしている方おひとりに○)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 子、またはその配偶者 |
| 3. 孫、またはその配偶者 | 4. 兄弟姉妹 |
| 5. その他の家族・親類 | 6. その他(近所の人・知人など) |

問43 あなた(おもな介護者)の年齢をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 30歳未満 | 2. 30～39歳 | 3. 40～49歳 |
| 4. 50～64歳 | 5. 65～74歳 | 6. 75歳以上 |

問44 あなた(おもな介護者)の性別をお答えください。(いずれか1つに○)

- | | | |
|------|------|----------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. 回答しない |
|------|------|----------|

問45 ご本人との同居の状況についてお答えください。(いずれか1つに○)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 一緒に住んでいる | 2. 別に住んでいる |
|-------------|------------|

問46 あなた(おもな介護者)の健康状態はいかがですか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | | |
|-------|---------|------------|---------|
| 1. よい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|-------|---------|------------|---------|

問47 ご本人に対する介護年数についてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 半年未満 | 2. 半年以上1年未満 |
| 3. 1年以上3年未満 | 4. 3年以上5年未満 |
| 5. 5年以上10年未満 | 6. 10年以上 |

問48 あなた(おもな介護者)が行っている介護等についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 1. 屋内での移動の介助 | 2. 外出の付き添い、介助、送迎等 |
| 3. 入浴の介助 | 4. 食事の介助 |
| 5. 本人用の食事(介護食等)の準備 | 6. 衣服の着脱や身だしなみ等の介助 |
| 7. 排せつの介助 | 8. 掃除・洗濯、買い物などの家事の援助 |
| 9. 服薬の管理 | 10. 医療面のケア(経管栄養、ストーマのケア等) |
| 11. 認知症状への対応 | 12. 夜間のケア(排せつ、体位交換等) |
| 13. 金銭管理、諸手続等の援助 | |
| 14. その他() | |

問49 あなた(おもな介護者)は収入のあるお仕事をされていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 会社や団体等の勤め人(常勤) |
| 3. 会社や団体等の勤め人(パート、嘱託等) | 4. 会社や団体等の役員 |
| 5. 自営業主、個人事業主 | 6. 短期・不定期のアルバイト等 |
| 7. 内職 | 8. 収入のある仕事はしていない |
| 9. その他() | |

問50 あなた(おもな介護者)は、これまでに、介護のために仕事を辞めたり、転職をした経験がありますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問51 現在お仕事をされている方にお聞きます。

(1)あなた(おもな介護者)は、介護をするにあたり、働き方の調整などを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 特に調整などはしていない |
| 2. 介護のために短時間勤務など労働時間の調整をしている/調整できる仕事に転職した |
| 3. 介護のために休暇を取りながら働いている/休暇を取りやすい仕事に転職した |
| 4. 介護のために在宅勤務をしている/在宅勤務が可能な仕事に転職した |
| 5. その他() |

(2)あなた(おもな介護者)は、今後も仕事をしながら介護を続けていけるとおもいますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 問題なく続けていけると思う | 2. 問題はあるが、何とか続けていけると思う |
| 3. 続けていくのはやや難しいと思う | 4. 続けていくのはかなり難しいと思う |
| 5. わからない | |

問52 介護で困っていること、感じるなどがありましたらお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護の方法、認知症への対応方法などがわからない
2. 本人の希望に沿った介護ができているかわからない
3. 身体的な負担が大きい
4. 精神的な負担が大きい
5. 経済的な負担が大きい
6. 本人にやさしく接することができない、ついつらくあたってしまうことがある
7. 介護を手伝ってくれる人がいない
8. もっと介護サービスを活用したいが、本人が利用したがない
9. もっと介護サービスを活用したいが、利用したいサービスが少ない
10. 施設入所を希望しているが、待機者が多くて利用できない
11. 介護に時間をとられ、他の生活に支障がある
12. 相談先がない
13. 特にない
14. その他 ()

問53 あなた(お主な介護者)は、介護のことで困ったとき、誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族、親せきなどの身内
2. 友人、知人
3. 自治会や老人クラブの役員など
4. 民生委員や公民館など
5. 市町村役場や福祉事務所など
6. 地域包括支援センター
7. かかりつけ医院、病院など
8. 社会福祉協議会など
9. 介護保険サービスの事業者(ケアマネジャーなど)
10. 介護保険施設やサービス付き高齢者向け住宅の支援員、相談員など
11. 相談する相手はいない
12. その他 ()

問54 認知症についておたずねします。ご本人は、医師から認知症と診断されていますか。また、診断されている場合は、その日常生活自立度はどの程度ですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 認知症と診断されていない →問57へ
2. 何らかの認知症を有するが、日常生活は社会的にほぼ自立している
3. 日常生活に支障をきたす症状が見られても、誰かが注意していれば自立できる(たびたび道に迷う、買い物や金銭管理にミスが目立つ、服薬管理ができない)
4. 日常生活に支障をきたす症状が見られ、介護を必要とする(着替え、食事、排便が上手にできない、口に物を入れる、徘徊等)
5. 著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な状態で、専門医療を必要とする

問55 前の間で認知症と診断されていると答えた方におたずねします。ご本人の変化に気づいてから、最初の受診までの期間はどれくらいかかりましたか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 6か月未満 | 2. 6か月以上1年未満 |
| 3. 1年以上3年未満 | 4. 3年以上 |
| 5. わからない | |

問56 前の間で「3. 1年以上3年未満」「4. 3年以上」と答えた方におたずねします。受診までに期間を要したのは、どのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 変化が年齢によるものと考えていたから
2. どの医療機関や診療科を受診すればよいか分からなかったから
3. 受診に関して家族の同意が得られなかったから
4. 認知症であると診断されることが怖かったから
5. 病院の予約がなかなかとれなかったから
6. その他 ()

問57 認知症の高齢者や家族介護者などに、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症についての住民の理解促進や啓発活動の充実
2. 認知症の人が参加できる地域のサロン活動や地域の見守り体制の充実
3. 外出支援など認知症の人の困りごとに対する地域でのサポート体制の充実
4. 認知症に詳しいケア人材の育成
5. 専門家による相談や情報提供体制の充実
6. 認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実
7. 家族介護者向けの交流会や相談窓口の充実
8. 財産管理や財産を守る(悪徳商法被害の防止等)ための支援の充実
9. 認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実
10. その他 ()

問58 ご本人を在宅で介護していくために、今後、充実してほしいと思うサービスがありますか。(充実してほしいものすべてに○)

【自宅・通い・泊まりで受ける介護サービス】

1. 自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス
2. 自宅で夜間も介護をしてくれるサービス
3. 自宅でリハビリや医療チェックをしてくれるサービス
4. 通いで介護やリハビリを受けるサービス
5. 特別養護老人ホームなどに短期間宿泊するサービス
6. 状況に応じて自宅・通い・泊まりを選べるサービス

【家庭での介護環境を整えるサービス】

7. 歩行器・車いすなどの福祉用具の貸し出し
8. 手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修

【医療サービス】

9. 在宅で受けられる医療サービス
10. 認知症専門の診療
11. 24時間対応できる病院、診療所

【その他のサービス】

12. 気軽に通える介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロン
13. 食事を配達するサービス
14. 地域住民の助け合いや見守り(徘徊の発見、通報など)
15. 介護する家族のための健康管理、専門的な介護研修、相談窓口の設置
16. 在宅で介護するための補助用品(オムツ等)の支給
17. 買い物や通院などの外出時の移動支援
18. 財産管理や日常的な金銭管理などの支援
19. その他()

**和歌山県高齢者等生活意識調査
(要支援・要介護者調査)
報告書**

令和5年3月

発行：和歌山県 福祉保健部 福祉保健政策局 長寿社会課
〒640-8585 和歌山市小松原通1-1